

感染症発生動向調査事業報告書

- 感染症発生動向調査

（結核及び新型コロナウイルス感染症を除く）

- エイズ対策

- インフルエンザ対策

- その他

- 参考資料

令和 4 年

名古屋市健康福祉局

表章記号の規約

計数のない場合 —

統計項目のありえない場合 ・

発行 名古屋市健康福祉局

編集 名古屋市健康福祉局健康部感染症対策課
名古屋市衛生研究所

発行年月 令和6年4月

目 次

I 感染症発生動向調査

1

1	事業の概要	1
2	患者情報	9
(1)	一類～五類感染症（全数把握）の発生状況（令和4年）	9
表1	一類・二類・三類感染症年次・疾病別発生状況	14
表2	一類・二類・三類感染症月別発生状況	15
表3	一類・二類・三類感染症区別発生状況	16
表4	一類・二類・三類感染症年齢・性別発生状況	17
表5	過去10年間の一類・二類・三類感染症集団発生状況	19
表6	過去5年間の細菌性赤痢の菌型	19
表7	三類感染症発生状況	20
表8	腸管出血性大腸菌感染症の月別・菌型別発生状況	21
表9	腸管出血性大腸菌感染症の年次別・菌型別発生状況	21
表10	四類感染症発生状況	22
表11	四類感染症月別発生状況	23
表12	四類感染症区別発生状況	24
表13	五類感染症（全数把握）発生状況	25
表14	五類感染症（全数把握）月別発生状況	26
表15	五類感染症（全数把握）区別発生状況	26
(2)	五類感染症（定点把握）の発生状況（令和4年）	27
ア	五類感染症（定点把握）の各月毎の発生状況	27
イ	五類感染症（定点把握）発生状況の推移等	34
表1	週報対象疾病週別患者発生状況	45
表2-1	週報対象疾病（インフルエンザ・小児科定点）年齢階層別患者発生状況	47
表2-2	週報対象疾病（眼科・基幹定点）年齢階層別患者発生状況	47
表3	月報対象疾病月別患者発生状況	48
表4-1	月報対象疾病（性感染症定点）月別・年齢階層別患者発生状況	49
表4-2	月報対象疾病（基幹定点）月別・年齢階層別患者発生状況	50
表5-1	月報対象疾病（性感染症定点）月別・年齢階層別患者発生状況（男性）	51
表5-2	月報対象疾病（性感染症定点）月別・年齢階層別患者発生状況（女性）	52
表5-3	月報対象疾病（基幹定点）月別・年齢階層別患者発生状況	53
表6	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（インフルエンザ）	55
表7	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（RSウイルス感染症）	56
表8	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（咽頭結膜熱）	57
表9	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（A群溶血性レンサ球菌咽頭炎）	58
表10	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（感染性胃腸炎）	59
表11	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（水痘）	60
表12	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（手足口病）	61
表13	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（伝染性紅斑）	62

表14	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（突発性発しん）	63
表15	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（ヘルパンギーナ）	64
表16	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（流行性耳下腺炎）	65
表17	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（急性出血性結膜炎）	66
表18	週報対象疾病区別・週別患者発生状況（流行性角結膜炎）	67
表19-1	月報対象疾病区別・月別患者発生状況（性器クラミジア感染症）	68
表19-2	月報対象疾病区別・月別患者発生状況（性器ヘルペスウイルス感染症）	68
表19-3	月報対象疾病区別・月別患者発生状況（尖圭コンジローマ）	68
表19-4	月報対象疾病区別・月別患者発生状況（淋菌感染症）	68
表20	週報対象疾病年次別発生状況	69
3	検査情報	70
(1)	月別ウイルス分離・検出状況	71
(2)	年齢別ウイルス分離・検出状況	72
(3)	診断名別ウイルス分離・検出状況	73

Ⅱ エイズ対策 74

1	概況	74
2	名古屋市におけるH I V感染者・A I D S患者報告件数等	74
(1)	H I V感染者報告件数（令和4年）	74
(2)	A I D S患者報告件数（令和4年）	75
(3)	H I V感染者・A I D S患者累積報告件数（令和4年）	76
(4)	H I V感染者・A I D S患者報告件数の推移（令和4年）	77
(5)	A I D S患者指標疾病別内訳（令和4年）	78
3	日本におけるH I V感染者・A I D S患者報告件数（累計）（令和4年エイズ発生動向委員会）	78
4	本市のエイズ対策（令和4年度）	80
(1)	エイズ対策の概要	80
(2)	エイズ相談件数・H I V検査採血件数	81
(3)	H I V抗体検査採血件数年度別（次記(4)を除く。）	82
(4)	臨時検査実施状況	83
(5)	HIV啓発事業	83

Ⅲ インフルエンザ対策 84

1	区別措置状況	84
2	施設別患者数等	84
3	検査結果	84
4	過去の集団かぜ発生状況	85

Ⅳ その他 87

1	感染性胃腸炎の集団発生	87
2	浸水被害発生状況	88
3	疫学調査等実施状況	89

○ HIV/性感染症検査アンケート結果	90
○ 附属機関の会議開催状況	112
1 名古屋市感染症予防協議会	112
2 名古屋市感染症診査協議会感染症部会	112
3 関係条例等	112
(1) 名古屋市感染症予防協議会条例	113
(2) 名古屋市感染症診査協議会条例	115
(3) 名古屋市感染症診査協議会に置く感染症部会等に関する規則	116
(4) 名古屋市感染症予防協議会委員名簿	118
(5) 名古屋市感染症診査協議会感染症部会委員名簿	119

感染症発生動向調査

(結核及び新型コロナウイルス感染症を除く)

I 感染症発生動向調査

1 事業の概要

(1) 患者情報の把握

情報収集の対象となる感染症は、その分類と特性に応じて全数把握を行うものと定点把握を行うものとに分類されている。定点把握感染症は、小児科定点、インフルエンザ定点、眼科定点、性感染症定点、基幹定点及び疑似症定点の6種類の指定医療機関から届出される。

7 全数把握

(7) 対象疾病【令和4年12月末時点】

・一類感染症（7疾病）

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱

・二類感染症（7疾病）

急性灰白髄炎（ポリオ）、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る。）、中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る。）、鳥インフルエンザ（H5N1）、鳥インフルエンザ（H7N9）

・三類感染症（5疾病）

コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス

・四類感染症（44疾病）

E型肝炎、ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む。）、A型肝炎、エキノコックス症、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林病、Q熱、狂犬病、コクシジオイデス症、サル痘、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属 SFTS ウイルスであるものに限る。）、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ（H5N1 及び H7N9 を除く。）、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、マラリア、野兎病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱

・五類感染症（24疾病）

アメーバ赤痢、ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）、急性脳炎（ウエストナイル熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）、クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲

性肺炎球菌感染症、水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る。）、先天性風しん症候群、梅毒、播種性クリプトコックス症、破傷風、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、百日咳、風しん、麻しん、薬剤耐性アシネトバクター感染症

・新型インフルエンザ等感染症（4 疾病）

新型インフルエンザ、再興型インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、再興型コロナウイルス感染症

・指定感染症（0 疾病）

該当なし

イ 定点把握

(7) 対象疾病 【令和4年12月末時点】

・五類感染症（24 疾病）

R S ウイルス感染症、咽頭結膜熱、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）、急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎、性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症、クラミジア肺炎（オウム病を除く。）、細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。）、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

・法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症

発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの

(イ) 患者定点

・インフルエンザ・小児科定点	70
・眼科定点	11
・STD定点	15
・基幹定点	3
・疑似症定点	16
合 計	115

(2) 病原体検査

患者定点のうちインフルエンザ・小児科定点7か所及び眼科医療機関1か所の計8か所を病原体定点として、検体採取を行った。

(3) 情報の収集及び還元

全数把握対象疾病及び定数把握対象疾病の発生状況等について、週単位及び月単位に患者数等を収集・集計した後、市情報としてまとめ、報道機関、市医師会、各定点等関係機関等へ還元した。

(令和4年12月末時点)

一類感染症	四類感染症	五類感染症
		全数把握対象
(1) エボラ出血熱 (2) クリミア・コンゴ出血熱 (3) 痘そう (4) 南米出血熱 (5) ペスト (6) マールブルグ病 (7) ラッサ熱	(20) E型肝炎 (21) ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。) (22) A型肝炎 (23) エキノコックス症 (24) 黄熱 (25) オウム病 (26) オムスク出血熱 (27) 回帰熱 (28) キヤサヌル森林病 (29) Q熱 (30) 狂犬病 (31) コクシジオイデス症 (32) サル痘 (33) ジカウイルス感染症 (34) 重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。) (35) 腎症候性出血熱 (36) 西部ウマ脳炎 (37) ダニ媒介脳炎 (38) 炭疽 (39) チクングニア熱 (40) つつが虫病 (41) デング熱 (42) 東部ウマ脳炎	(64) アメーバ赤痢 (65) ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。) (66) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 (67) 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。) (68) 急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。) (69) クリプトスポリジウム症 (70) クロイツフェルト・ヤコブ病 (71) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (72) 後天性免疫不全症候群 (73) ジアルジア症 (74) 侵襲性インフルエンザ菌感染症 (75) 侵襲性髄膜炎菌感染症 (76) 侵襲性肺炎球菌感染症 (77) 水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る。) (78) 先天性風しん症候群 (79) 梅毒 (80) 播種性クリプトコックス症 (81) 破傷風 (82) バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (83) バンコマイシン耐性腸球菌感染症 (84) 百日咳 (85) 風しん (86) 麻しん (87) 薬剤耐性アシネトバクター感染症
二類感染症		
(8) 急性灰白髄炎 (9) 結核 (10) ジフテリア (11) 重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。) (12) 中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。) (13) 鳥インフルエンザ(H5N1) (14) 鳥インフルエンザ(H7N9)	(43) 鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。) (44) ニパウイルス感染症 (45) 日本紅斑熱 (46) 日本脳炎 (47) ハンタウイルス肺症候群 (48) Bウイルス病 (49) 鼻疽 (50) ブルセラ症 (51) ベネズエラウマ脳炎 (52) ヘンドラウイルス感染症 (53) 発しんチフス (54) ボツリヌス症 (55) マラリア (56) 野兔病 (57) ライム病 (58) リッサウイルス感染症 (59) リフトバレー熱 (60) 類鼻疽 (61) レジオネラ症 (62) レプトスピラ症 (63) ロッキー山紅斑熱	(88) RSウイルス感染症 (89) 咽頭結膜熱 (90) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (91) 感染性胃腸炎 (92) 水痘 (93) 手足口病 (94) 伝染性紅斑 (95) 突発性発しん (96) ヘルパンギーナ (97) 流行性耳下腺炎 (98) インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。) (99) 急性出血性結膜炎 (100) 流行性角結膜炎 (101) 性器クラミジア感染症 (102) 性器ヘルペスウイルス感染症 (103) 尖圭コンジローマ (104) 淋菌感染症 (105) クラミジア肺炎(オウム病を除く。) (106) 細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。) (107) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 (108) マイコプラズマ肺炎 (109) 無菌性髄膜炎 (110) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (111) 薬剤耐性緑膿菌感染症
三類感染症		
(15) コレラ (16) 細菌性赤痢 (17) 腸管出血性大腸菌感染症 (18) 腸チフス (19) パラチフス		
新型インフルエンザ等感染症		
(112) 新型インフルエンザ (113) 再興型インフルエンザ (114) 新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。) (115) 再興型コロナウイルス感染症		
指定感染症		
該当なし		
法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症		
(116) 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。		

○指定届出機関名簿（定点医療機関）（令和4年1月～令和4年12月）

注…小：小児科定点、イ：インフルエンザ定点

	医療機関名	定点種別 ^注						所在地	備考
		小・イ	眼科	S T D	基 幹	疑 似 症	病 原 体		
千 種 保 健 セ ン タ ー	名古屋市立大学医学部附属 東 部 医 療 セ ン タ ー	○				○	○	千種区若水1-2-23	
	すずこどもクリニック	○						千種区若水3-27-15	
	みずたにこどもクリニック	○						千種区茶屋が坂1-12-23	
	江 口 医 院	○						千種区神田町24-1	
	松 永 小 児 科 医 院	○						千種区今池5-24-20	
	鈴 木 眼 科		○					千種区内山3-10-17	
	野 口 ク リ ニ ッ ク			○				千種区仲田2-13-8	
東 保 健 セ ン タ ー	A O I 名 古 屋 病 院	○						東区泉2-2-5	
	しらかべ耳鼻科・小児科	○						東区芳野1-2-1	
	近 藤 医 院	○						東区出来町1-10-27	
	出 来 町 ク リ ニ ッ ク	○						東区新出来2-6-7	
北 保 健 セ ン タ ー	名古屋市立大学医学部附属 西 部 医 療 セ ン タ ー	○		○	○	○	○	北区平手町1-1-1	
	うわとこクリニック	○						北区大曾根2-7-18	
	あさみクリニック	○						北区上飯田通1-22	
	ま き 小 児 科	○						北区如意2-99-1	
	津 村 こ ど も ク リ ニ ッ ク	○						北区長喜町2-33-2	
	あじま眼科クリニック		○					北区楠味鉦2-1704	
	上飯田泌尿器科内科 ク リ ニ ッ ク			○				北区八龍町1-56	
西 保 健 セ ン タ ー	名 鉄 病 院	○				○		西区栄生2-26-11	
	FamilyClinic みわた小児科	○						西区城西2-11-3	
	きとう小児科医院	○						西区香呑町4-28	
	やまかわこどもクリニック	○						西区八筋町158-1	
	玉 井 眼 科		○					西区南川町9	
	こざき女性クリニック			○				西区上名古屋2-26-7	

注…小：小児科定点、イ：インフルエンザ定点

	医療機関名	定点種別 ^注						所在地	備考
		小・イ	眼科	STD	基幹	疑似症	病原体		
中村保健センター	愛知医療センター名古屋第一病院	○				○		中村区道下町3-35	
	公園北クリニック	○						中村区本陣通5-112	
	森 医 院	○						中村区鳥居西通1-45	
	村 上 医 院	○						中村区岩塚本通4-46	
	臼 井 医 院	○						中村区大正町2-36	
	丹羽眼科医院		○					中村区鳥居西通2-50	
	サイ皮膚泌尿器科			○				中村区鳥居西通1-39-2	
中保健センター	かんばらクリニック	○						中区新栄3-8-26	
	セントラル小児科	○						中区新栄町1-3	
	奥田クリニック	○						中区錦1-4-28	
	としわ会診療センターレクリニックス	○						中区金山5-5-11	
	グレイスベルクリニック			○				中区大須3-16-25	R4.4.1～名称変更
	夏目泌尿器科			○				中区新栄町1-3	
	名城病院					○		中区三の丸1-3-1	
昭和保健センター	愛知医療センター名古屋第二病院	○			○	○	○	昭和区妙見町2-9	
	杉浦医院	○						昭和区山手通5-33-1	
	伊藤内科	○						昭和区白金2-13-4	
	内科・糖尿病内科学科前島医院	○						昭和区緑町1-15-1	
	立松医院	○						昭和区広見町5-55	
	みずの眼科		○					昭和区広路通7-14-1	
	成田クリニック			○				昭和区吹上町2-15	
瑞穂保健センター	名古屋大学医学部附属病院					○		昭和区鶴舞町65	
	名古屋市立大学病院	○				○	○	瑞穂区瑞穂町川澄1	
	かにクリニック	○						瑞穂区上山町2-20	
	可児医院	○						瑞穂区平郷町2-2-2	～R4.5.31
	ほまれクリニック	○						瑞穂区平郷町2-2-2	R4.6.1～
	久米クリニック	○						瑞穂区丸根町1-8	
	服部医院	○						瑞穂区柳ヶ枝町1-34	
浅野眼科クリニック	浅野眼科クリニック		○					瑞穂区八勝通2-30-1	
	産婦人科水野クリニック			○				瑞穂区牧町2-11	

注…小：小児科定点、イ：インフルエンザ定点

	医療機関名	定点種別 ^注						所在地	備考
		小・イ	眼科	S T D	基 幹	疑 似 症	病 原 体		
熱田保健センター	井 土 医 院	○						熱田区野立町3-60	
	森 本 医 院	○						熱田区大宝4-7-7	～R4.2.27
	あつたファミリーハート ク リ ニ ッ ク	○						熱田区二番2-25-46	R4.2.28～
	金 山ファミリークリニック	○						熱田区金山町1-503 トーフ金山ビル6階	
	重 工 記 念 病 院	○						熱田区外土居町7-8	
	加 藤 眼 科 医 院		○					熱田区金山町1-19-13	
	協 立 総 合 病 院					○		熱田区五番町4-33	
中川保健センター	藤 田 医 科 大 学 院	○				○		中川区尾頭橋3-6-10	
	名 古 屋 掖 済 会 病 院	○			○	○	○	中川区松年町4-66	
	福 井 医 院	○						中川区上脇町2-87	
	まつば公園こどもクリニック	○						中川区好本町3-15	
	名 古 屋 泌 尿 器 科 病 院			○				中川松葉町5-34	
港保健センター	今 井 医 院	○						港区港北町2-37	
	東 港 ク リ ニ ッ ク	○						港区港陽3-1-17	
	中 川 胃 腸 科 外 科	○						港区小賀須3-1612	
	ク リ ニ ッ ク お か だ	○						港区幸町2-25	
	まのレディースクリニック			○				港区七反野1-806-1	
	中 部 労 災 病 院					○		港区港明1-10-6	
南保健センター	大 同 病 院	○				○		南区白水町9	
	中 京 病 院	○				○	○	南区三条1-1-10	
	あ さ だ 医 院	○						南区芝町41	
	近 藤 医 院	○						南区浜田町2-17-2	
	横 瀬 医 院		○					南区戸部町3-1	
	伊藤しあわせクリニック			○				南区弥生町14	

注…小：小児科定点、イ：インフルエンザ定点

	医療機関名	定点種別 ^注						所在地	備考
		小・イ	眼科	S T D	基 幹	疑 似 症	病 原 体		
守山保健センター	おがたファミリークリニック	○						守山区緑ヶ丘107	
	せこ内科クリニック	○						守山区瀬古1-720	
	ハローキッズクリニック	○						守山区平池東805-1	
	川瀬クリニック	○						守山区小幡5-1-6	
	田中医院	○						守山区町南13-19	
緑保健センター	平岩病院	○						緑区鳴海町相原町26	
	ちはら小児科	○						緑区姥子山5-709	
	森の里クリニック	○						緑区森の里1-99-2	～R4.5.29
	もりかわファミリークリニック	○						緑区水広2-119	R4.5.30～
	緑こどもクリニック	○						緑区乗鞍1-404	
	吉山眼科クリニック		○					緑区鳴海町字本町28-1	
	川原医院			○				緑区鹿山3-10	
名東保健センター	若葉台クリニック	○						名東区若葉台502	
	佐々木こどもクリニック	○						名東区朝日が丘99	
	武井医院	○						名東区社口2-1001	
	朝日クリニック	○						名東区香南1-417	
	本郷眼科		○					名東区本郷2-83	
	まじま眼科						○	名東区藤が丘141藤が丘駅前ビル2階	
	くずやクリニック			○				名東区本郷2-94-1 みふくビル2階	
天白保健センター	くつなこどもクリニック	○					○	天白区原3-804	
	伊奈クリニック	○						天白区平針3-111	
	岩山小児科	○						天白区福池2-24	
	表山クリニック	○						天白区表山1-1760	
	鈴木眼科医院		○					天白区島田2-811	
	おととき山泌尿器皮フ科			○				天白区池見2-229	
	名古屋記念病院					○		天白区平針4-305	

2 患者情報

(1) 一類～五類感染症（全数把握）の発生状況（令和4年：診断日で集計）

ア 一類感染症

発生はなかった。

イ 二類感染症（結核を除く。）

発生はなかった。

ウ 三類感染症

30件の発生があった。内訳は、腸管出血性大腸菌感染症が30件で、コレラ、細菌性赤痢、腸チフス及びパラチフスの発生はなかった。

○腸管出血性大腸菌感染症

- ・診断した者の類型では、患者が28件、無症状病原体保有者が2件であった。以下、（ ）内に無症状病原体保有者を再掲。
- ・菌の型別では、O157が20件（2件）、O26が5件、O121が4件、不明が1件であった。
- ・性別では、男性が12件（1件）、女性が18件（1件）であった。
- ・年齢別では、10歳未満が5件、10～19歳が4件、20～29歳が9件、30～39歳が4件、40～49歳が4件（1件）、50～59歳が0件、60～69歳が2件（1件）、70歳以上が2件であった。
- ・診断月別では、8月の9件が最も多く、全体の30.0%を占めた。

エ 四類感染症

59件の発生があった。内訳は、E型肝炎が1件、A型肝炎が1件、重症熱性血小板減少症候群が1件、つつが虫病が3件、デング熱が2件、マラリアが3件、類鼻疽が1件、レジオネラ症が47件であった。

○E型肝炎

診断月	診断方法	類型	性別	年齢	感染地域 (推定含む)
6月	血清IgA抗体の検出	患者	女	58	市内

○A型肝炎

診断月	診断方法	類型	性別	年齢	感染地域 (推定含む)
2月	血清IgM抗体の検出	患者	女	91	市内

○重症熱性血小板減少症候群

診断月	診断方法	類型	性別	年齢	感染地域 (推定含む)

9 月	PCR 法（血液）	患者	男	35	三重県
-----	-----------	----	---	----	-----

○つつが虫病

診断月	診断方法	類型	性別	年齢	感染地域 (推定含む)
11 月	血清 IgM 抗体の検出	患者	男	23	沖縄県、福井県
12 月	ペア血清での抗体陽転	患者	男	43	三重県
12 月	PCR 法（血液、痂皮）	患者	男	52	愛知県内

○デング熱

診断月	診断方法	類型	性別	年齢	感染地域 (推定含む)
4 月	血液での非構造蛋白抗原 (NS 1) の検出	患者	女	65	ブラジル
9 月	血液での非構造蛋白抗原 (NS 1) の検出	患者	男	49	インド

○マラリア

診断月	診断方法	類型	性別	年齢	感染地域 (推定含む)
9 月	鏡検による病原体の検出(血液)	患者	女	40	エチオピア
9 月	鏡検による病原体の検出(血液)	患者	男	54	ガーナ
10 月	鏡検による病原体の検出(血液)	患者	女	43	ブラジル

○類鼻疽

診断月	診断方法	類型	性別	年齢	感染地域 (推定含む)
5 月	分離・同定による病原体の検出 (血液)	患者	男	51	国外

○レジオネラ症

- ・病型では、肺炎型が 45 件、ポンティアック熱型は 2 件だった。
- ・性別では、男性が 39 件、女性が 8 件であった。
- ・年齢別では、40～49 歳が 2 件、50～59 歳が 5 件、60～69 歳が 11 件、70～79 歳が 15 件、80 歳以上が 14 件であった。
- ・感染原因（推定含む）別では、水系感染が 15 件、不明が 32 件であった。

オ 五類感染症（全数把握）

629 件の発生があった。内訳は、アメーバ赤痢が 12 件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が 62 件、急性弛緩性麻痺が 1 件、急性脳炎が 3 件、クロイツフェルト・ヤコブ病が 3

件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症が 28 件、後天性免疫不全症候群が 57 件、侵襲性インフルエンザ菌感染症が 8 件、侵襲性髄膜炎菌感染症が 1 件、侵襲性肺炎球菌感染症が 36 件、水痘（入院例に限る。）が 3 件、梅毒が 409 件、播種性クリプトコックス症が 3 件、破傷風が 1 件、百日咳が 2 件であった。

○アメーバ赤痢

- ・性別では、男性が 11 件、女性が 1 件であった。
- ・年齢別では、20～29 歳が 1 件、40～49 歳が 2 件、50～59 歳が 4 件、60～69 歳が 2 件、70～79 歳が 2 件、80～89 歳が 1 件であった。
- ・感染原因（推定含む）別では、性的接触が 5 件、経口感染が 2 件、不明が 5 件であった。

○カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

- ・性別では、男性が 43 件、女性が 19 件であった。
- ・年齢別では、20～29 歳が 1 件、30～39 歳が 1 件、40～49 歳が 2 件、50～59 歳が 6 件、60～69 歳が 10 件、70～79 歳が 21 件、80 歳以上が 21 件であった。
- ・感染原因（推定含む）別では、以前からの保菌が 19 件、医療器具関連感染が 6 件、院内感染が 6 件、手術部位感染が 1 件、その他が 9 件、不明が 21 件であった。
- ・感染地域（推定含む）別では、市内が 42 件、愛知県内が 13 件、国内が 4 件、不明が 3 件であった。
- ・診断方法別では、イミペネム及びセフメタゾールの耐性を確認が 25 件、メロペネムのみ耐性を確認が 21 件、メロペネムとイミペネム及びセフメタゾールの耐性を確認が 16 件であった。

○急性弛緩性麻痺

- ・病型では、病原体不明が 1 件であった。
- ・性別では、男性が 1 件であった。
- ・年齢別では、10 歳未満が 1 件であった。

○急性脳炎

- ・病型では、病原体不明が 3 件であった。
- ・性別では、男性が 1 件、女性が 2 件であった。
- ・年齢別では、10 歳未満が 3 件であった。

○クロイツフェルト・ヤコブ病

- ・病型では、古典型が 3 件であった。
- ・性別では、男性が 2 件、女性が 1 件であった。
- ・年齢別では、70～79 歳が 2 件、80 歳以上が 1 件であった。

○劇症型溶血性レンサ球菌感染症

- ・病型では、A 群が 6 件、B 群が 6 件、G 群が 10 件、その他が 2 件、不明が 4 件であった。

- ・性別では、男性が 14 件、女性が 14 件であった。
- ・年齢別では、10～19 歳が 1 件、20～29 歳が 1 件、40～49 歳が 1 件、50～59 歳が 4 件、60～69 歳が 3 件、70～79 歳が 4 件、80 歳以上が 14 件であった。

○後天性免疫不全症候群

詳細は「Ⅱ エイズ対策」を参照。

○侵襲性インフルエンザ菌感染症

- ・性別では、男性が 4 件、女性が 4 件であった。
- ・年齢別では、10 歳未満が 1 件、10～19 歳が 1 件、50～59 歳が 1 件、60～69 歳が 1 件、70～79 歳が 1 件、80 歳以上が 3 件であった。
- ・ワクチン接種歴では、有り（4 回）が 1 件、無しまたは不明が 7 件であった。
- ・感染原因（推定含む）別では、飛沫・飛沫核感染が 1 件、その他が 2 件、不明が 5 件であった。

○侵襲性髄膜炎菌感染症

- ・性別では、男性が 1 件であった。
- ・年齢別では、40～49 歳が 1 件であった。
- ・ワクチン接種歴では、不明が 1 件であった。
- ・感染原因（推定含む）別では、その他が 1 件であった。

○侵襲性肺炎球菌感染症

- ・性別では、男性が 28 件、女性が 8 件であった。
- ・年齢別では、10 歳未満が 6 件、10～19 歳が 1 件、30～39 歳が 1 件、50～59 歳が 2 件、60～69 歳が 7 件、70～79 歳が 12 件、80 歳以上が 7 件であった。
- ・感染原因（推定含む）別では、飛沫・飛沫核感染が 12 件、その他が 6 件、不明が 18 件であった。
- ・感染地域（推定含む）別では、市内が 23 件、愛知県内が 11 件、不明が 2 件であった。

○水痘（入院例に限る。）

- ・病型では、検査診断例が 1 件、臨床診断例が 2 件であった。
- ・性別では、男性が 1 件、女性が 2 件であった。
- ・年齢別では、10 歳未満が 1 件、10～19 歳が 1 件、40～49 歳が 1 件であった。
- ・接種歴では、有り（1 回）が 1 件、無しまたは不明が 2 件であった。
- ・感染地域（推定含む）別では、市内が 2 件、愛知県内が 1 件であった。

○梅毒

- ・病型では、無症候（無症状病原体保有者）が 108 件、早期顕症梅毒（Ⅰ期）が 177 件、早期顕症梅毒（Ⅱ期）が 119 件、晩期顕症梅毒が 5 件であった。
- ・性別では、男性が 252 件、女性が 157 件であった。

- ・年齢別では、10～19 歳が 8 件、20～29 歳が 147 件、30～39 歳が 84 件、40～49 歳が 91 件、50～59 歳が 63 件、60～69 歳が 12 件、70～79 歳が 1 件、80 歳以上が 3 件であった。
- ・感染原因（推定含む）別では、性的接触が 374 件、不明が 35 件であった。
- ・感染地域（推定含む）別では、市内が 276 件、愛知県内が 55 件、国内が 43 件、国外が 2 件、不明が 33 件であった。

○播種性クリプトコックス症

- ・性別では、男性が 2 件、女性が 1 件であった。
- ・年齢別では、40～49 歳が 1 件、70～79 歳が 1 件、80 歳以上が 1 件であった。
- ・感染原因（推定含む）別では、免疫不全が 1 件、その他が 2 件であった。

○破傷風

- ・性別では、女性が 1 件であった。
- ・年齢別では、80 歳以上が 1 件であった。
- ・感染原因（推定含む）別では、その他が 1 件であった。

○百日咳

- ・性別では、男性が 1 件、女性が 1 件であった。
- ・年齢別では、10 歳未満が 1 件、30～39 歳が 1 件であった。
- ・感染原因（推定含む）別では、不明が 2 件であった。
- ・感染地域（推定含む）別では、市内が 1 件、愛知県内が 1 件であった。
- ・診断月別では、1 月が 1 件、5 月が 1 件であった。

表 1 一類・二類・三類感染症年次・疾病別発生状況（名古屋市）

疾病別 年次	総 数		急性灰白髄炎		ジフテリア		重症急性呼吸器 症候群		中東呼吸器症候 群		鳥インフルエン ザ（H5N1）	
	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者
9	98 (36)	-	-	-	-	-	・	・	・	・	・	・
10	54 (6)	-	-	-	-	-	・	・	・	・	・	・
11	67 (8)	-	-	-	-	-	・	・	・	・	・	・
12	139 (36)	1	-	-	-	-	・	・	・	・	・	・
13	82 (13)	-	-	-	-	-	・	・	・	・	・	・
14	48 (11)	-	-	-	-	-	・	・	・	・	・	・
15	42 (7)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	・	・
16	67 (11)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	・	・
17	63 (9)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	・	・
18	63 (21)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	・	・
19	40 (11)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	・	・
20	69 (10)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	-	-
21	63 (10)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	-	-
22	74 (16)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	-	-
23	48 (20)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	-	-
24	44 (9)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	-	-
25	62 (10)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	-	-
26	48 (9)	-	-	-	-	-	-	-	・	・	-	-
27	44 (9)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28	46 (13)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29	64 (8)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	56 (11)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
元	51 (10)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	42 (5)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	36 (4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	30 (2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病別 年次	鳥インフルエン ザ（H7N9）		コ レ ラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス	
	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者
9	・	・	-	-	24	-	73 (36)	-	1	-	-	-
10	・	・	-	-	16	-	37 (6)	-	-	-	1	-
11	・	・	-	-	15	-	49 (8)	-	1	-	2	-
12	・	・	3	-	17	-	115 (36)	1	4	-	-	-
13	・	・	1	-	17	-	58 (13)	-	4	-	2	-
14	・	・	1	-	10 (1)	-	36 (10)	-	1	-	-	-
15	・	・	1	-	7	-	33 (7)	-	1	-	-	-
16	・	・	4	-	11	-	46 (11)	-	3	-	3	-
17	・	・	-	-	6	-	52 (9)	-	4	-	1	-
18	・	・	1	-	6	-	56 (21)	-	-	-	-	-
19	・	・	-	-	2	-	37 (11)	-	1	-	-	-
20	・	・	1	-	5	-	62 (10)	-	-	-	1	-
21	・	・	1	-	5	-	54 (10)	-	1	-	2	-
22	・	・	-	-	5	-	69 (16)	-	-	-	-	-
23	・	・	1	-	3	-	43 (20)	-	-	-	1	-
24	・	・	-	-	5 (1)	-	38 (8)	-	1	-	-	-
25	・	・	-	-	9 (1)	-	51 (9)	-	1	-	1	-
26	・	・	1	-	7	-	40 (9)	-	-	-	-	-
27	-	-	-	-	2	-	42 (9)	-	-	-	-	-
28	-	-	1	-	6 (1)	-	37 (12)	-	2	-	-	-
29	-	-	-	-	6	-	58 (8)	-	-	-	-	-
30	-	-	-	-	2	-	53 (11)	-	-	-	1	-
元	-	-	-	-	4	-	45 (10)	-	1	-	1	-
2	-	-	-	-	-	-	42 (5)	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	1	-	34 (4)	-	1	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-	30 (2)	-	-	-	-	-

注：診断日にて集計

（ ）内は無症状病原体保有者の再掲。

- ・平成7年から平成11年3月31日までは伝染病予防法に基づく発生報告。
- ・平成11年4月1日からは感染症法に基づく発生報告。
- ・令和4年までに一類感染症の発生なし。

表２ 一類・二類・三類感染症月別発生状況（令和4年・名古屋市）

疾病別 月	総 数	急性 灰白 髄炎	ジフ テリア	重症 急性呼 吸器 症候群	中東 呼吸器 症候群	鳥 イン フル エン ザ (H 5 N 1)	鳥 イン フル エン ザ (H 7 N 9)	コ レ ラ	細菌 性赤 痢	腸 管出 血性 大腸 菌 感染症	腸 チフ ス	パ ラチ フ ス
総数	30 (2) -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	30 (2) -	- - -	- - -
1	1 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	1 - -	- - -	- - -
2	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
3	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
4	2 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	2 - -	- - -	- - -
5	3 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	3 - -	- - -	- - -
6	1 (1) -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	1 (1) -	- - -	- - -
7	4 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	4 - -	- - -	- - -
8	8 (1) -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	8 (1) -	- - -	- - -
9	5 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	5 - -	- - -	- - -
10	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
11	2 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	2 - -	- - -	- - -
12	2 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	2 - -	- - -	- - -

注： 診断日にて集計

()内は無症状病原体保有者の再掲。 ○内の数字は海外輸入例の再掲。

令和4年は一類感染症の発生なし。

表3 一類・二類・三類感染症区別発生状況（令和4年・名古屋市）

疾病別 区	総 数	急性 灰白 髄炎	ジ フ テ リ ア	重 症 急 性 呼 吸 器 症 候 群	中 東 呼 吸 器 症 候 群	鳥 イン フル エン ザ (H 5 N 1)	鳥 イン フル エン ザ (H 7 N 9)	コ レ ラ	細 菌 性 赤 痢	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 感 染 症	腸 チ フ ス	パ ラ チ フ ス
総 数	30 (2) -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	30 (2) -	- - -	- - -
千 種	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
東	1 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	1 - -	- - -	- - -
北	3 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	3 - -	- - -	- - -
西	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
中 村	4 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	4 - -	- - -	- - -
中	5 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	5 - -	- - -	- - -
昭 和	6 (1) -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	6 (1) -	- - -	- - -
瑞 穂	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
熱 田	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
中 川	3 (1) -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	3 (1) -	- - -	- - -
港	1 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	1 - -	- - -	- - -
南	1 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	1 - -	- - -	- - -
守 山	3 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	3 - -	- - -	- - -
緑	1 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	1 - -	- - -	- - -
名 東	2 - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	2 - -	- - -	- - -
天 白	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -

注： 診断日にて集計

（ ）内は無症状病原体保有者の再掲。 ○内の数字は海外輸入例の再掲。

令和4年は一類感染症の発生なし。

表4 一類・二類・三類感染症年齢・性別発生状況（令和4年・名古屋市）

年齢別 性別		総数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
総数	男	12	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-
	女	18	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	計	30	1	1	-	1	-	-	1	-	-	1	1	-	-
急性 白血 炎	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ジフ テリ ア	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
重症 急性 呼吸 器症 候群	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中東 呼吸 器症 候群※	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ザ イン フル エン ザ (H5N1)	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ザ イン フル エン ザ (H7N9)	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コレ ラ	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
赤 細 菌 性 痢 疾	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大腸 菌感 染症	男	12	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-
	女	18	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	計	30	1	1	-	1	-	-	1	-	-	1	1	-	-
腸 チフ ス	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
パ ラチ フ ス	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注：診断日にて集計

○内の数字は海外輸入例の再掲。

令和4年は一類感染症の発生なし。

年齢別 性別		13	14	15 ? 19	20 ? 24	25 ? 29	30 ? 34	35 ? 39	40 ? 44	45 ? 49	50 ? 54	55 ? 59	60 ? 64	65 ? 69	70 ?
総 数	男	-	-	-	4	2	-	1	-	-	-	-	1	-	1
	女	1	-	2	2	1	2	1	1	3	-	-	1	-	1
	計	1	-	2	6	3	2	2	1	3	-	-	2	-	2
白 急 髄 性 炎 灰	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ジ フ テ リ ア	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
吸 重 器 症 症 急 候 性 群 呼	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
症 中 候 東 群 ※ 呼 吸 器	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ザ 鳥 イン （H 5 N 1 ） エン	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ザ 鳥 イン （H 7 N 9 ） エン	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コ レ ラ	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
赤 細 痢 菌 性	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大 腸 腸 管 菌 出 感 血 染 性 症	男	-	-	-	4	2	-	1	-	-	-	-	1	-	1
	女	1	-	2	2	1	2	1	1	3	-	-	1	-	1
	計	1	-	2	6	3	2	2	1	3	-	-	2	-	2
腸 チ フ ス	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
パ ラ チ フ ス	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注：診断日にて集計

○内の数字は海外輸入例の再掲。

令和4年は一類感染症の発生なし。

表 5 過去10年間の一類・二類・三類感染症集団発生状況（名古屋市）

年次	施設種別	区	発生期間	患者数	死亡者数	病原体	感染経路	備考
25	教育施設	中村	9/13～9/17	11	—	0157		
26	発生なし							
27	発生なし							
28	発生なし							
29	発生なし							
30	発生なし							
元	発生なし							
2	発生なし							
3	発生なし							
4	発生なし							

注:()内は無症状病原体保有者の再掲

表 6 過去5年間の細菌性赤痢の菌型（名古屋市）

年次		30	元	2	3	4
菌型						
A 群		—	—	—	—	—
B群	1型	—	—	—	—	—
	2型	—	—	—	1	—
	3型	—	—	—	—	—
	4型	—	—	—	—	—
	5型	—	—	—	—	—
	6型	—	—	—	—	—
	型不詳	—	1	—	—	—
C 群		—	—	—	—	—
D 群		2	3	—	—	—
検出なし		—	—	—	—	—
計		2	4	0	1	—
備 考						

表7 三類感染症発生状況（令和4年・名古屋市）

番号	病名	菌型	ベロ毒素	区分	性別	年齢	区	海外渡航歴	診断年月日
1	腸管出血性大腸菌感染症	O26	1	患者	女	46	昭和		20220121
2	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	男	27	中		20220401
3	腸管出血性大腸菌感染症	O26	1	患者	女	13	守山		20220430
4	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1	患者	女	43	中		20220502
5	腸管出血性大腸菌感染症	O26	不明	患者	女	36	中村		20220509
6	腸管出血性大腸菌感染症	O26	1	患者	男	10	中村		20220524
7	腸管出血性大腸菌感染症	O157	2	患者	男	27	北		20220620
8	腸管出血性大腸菌感染症	O157	2	保菌	女	49	中川		20220627
9	腸管出血性大腸菌感染症	O157	2	患者	男	22	中		20220715
10	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	男	23	昭和		20220721
11	腸管出血性大腸菌感染症	O121	2	患者	女	78	緑		20220727
12	腸管出血性大腸菌感染症	O157	不明	患者	男	22	昭和		20220728
13	腸管出血性大腸菌感染症	不明	不明	患者	女	34	南		20220801
14	腸管出血性大腸菌感染症	O157	2	患者	女	0	昭和		20220802
15	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	女	17	中村		20220804
16	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	保菌	男	64	昭和		20220805
17	腸管出血性大腸菌感染症	O26	1	患者	女	61	名東		20220815
18	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	女	9	中村		20220816
19	腸管出血性大腸菌感染症	O121	2	患者	女	1	守山		20220818
20	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	女	48	昭和		20220823
21	腸管出血性大腸菌感染症	O121	2	患者	男	3	守山		20220825
22	腸管出血性大腸菌感染症	O157	2	患者	男	6	北		20220901
23	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	男	21	港		20220906
24	腸管出血性大腸菌感染症	O157	不明	患者	男	73	名東		20220920
25	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	女	24	中		20220922
26	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	女	32	東		20220924
27	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	女	27	中		20221109
28	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1	患者	女	21	中川		20221114
29	腸管出血性大腸菌感染症	O157	1・2	患者	女	17	中川		20221201
30	腸管出血性大腸菌感染症	O121	2	患者	男	36	北		20221216

表 8 腸管出血性大腸菌感染症の月別・菌型別発生状況（令和4年・名古屋市）

月	患者数		内 訳 （ 菌 型 別 ）															
			O157	O26	O111	O103	O165	O115	O63	O6	O145	O121	O91	O128	O28	O136	O166	不明
1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	2	(1)	2	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
8	9	(1)	5	(1)	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1
9	5	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
計	30	(2)	20	(2)	5	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1

注1：診断日にて集計

注2：（ ）内は無症状病原体保有者の再掲。

表 9 腸管出血性大腸菌感染症の年次別・菌型別発生状況（名古屋市）

年次	患者数		内 訳 （ 菌 型 別 ）															
			O157	O26	O111	O103	O165	O115	O63	O6	O145	O121	O91	O128	O28	O136	O166	不明
21	54	(10)	41	(7)	7	(2)	-	-	1	-	-	-	1	-	1	(1)	3	-
22	69	(16)	49	(9)	19	(7)	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
23	43	(20)	38	(18)	4	(2)	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
24	38	(8)	28	(7)	3	(1)	2	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	1
25	51	(9)	40	(6)	4	(1)	1	-	4	(2)	-	-	-	-	-	-	-	-
26	40	(9)	30	(6)	6	(2)	1	-	-	-	1	-	-	-	1	(1)	-	-
27	42	(9)	39	(9)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
28	37	(12)	28	(9)	2	-	-	-	1	-	-	-	3	(2)	1	-	-	1
29	58	(8)	40	(3)	11	(3)	1	-	1	-	-	-	1	(1)	1	-	-	-
30	53	(11)	40	(9)	4	-	1	-	-	-	-	1	-	1	(1)	-	-	3
元	45	(10)	27	(5)	5	(1)	-	-	2	(1)	1	-	-	-	-	-	1	-
2	42	(5)	18	(1)	10	(2)	3	-	4	(1)	-	-	-	-	-	1	(1)	3
3	34	(4)	28	(4)	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
4	30	(2)	20	(2)	5	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1

注1：診断日にて集計

注2：（ ）内は無症状病原体保有者の再掲。

表10 四類感染症発生状況（令和4年・名古屋市）

疾 病 名	発生数	備 考
E型肝炎	1	
웨스트ナイル熱(웨스트ナイル脳炎を含む。)	-	
A型肝炎	1	
エキノコックス症	-	
黄熱	-	
オウム病	-	
オムスク出血熱	-	
回帰熱	-	
キャサヌル森林病	-	
Q熱	-	
狂犬病	-	
コクシジオイデス症	-	
サル痘	-	
ジカウイルス感染症	-	
重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。）	1	
腎症候性出血熱	-	
西部ウマ脳炎	-	
ダニ媒介脳炎	-	
炭疽	-	
チクングニア熱	-	
つつが虫病	3	
デング熱	2	
東部ウマ脳炎	-	
鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ（H5N1及びH7N9）を除く。)	-	
ニパウイルス感染症	-	
日本紅斑熱	-	
日本脳炎	-	
ハンタウイルス肺症候群	-	
Bウイルス病	-	
鼻疽	-	
ブルセラ症	-	
ベネズエラウマ脳炎	-	
ヘンドラウイルス感染症	-	
発しんチフス	-	
ボツリヌス症	-	
マラリア	3	
野兔病	-	
ライム病	-	
リッサウイルス感染症	-	
リフトバレー熱	-	
類鼻疽	1	
レジオネラ症	47	肺炎型：45、ポンティアック熱型：2
レプトスピラ症	-	
ロッキー山紅斑熱	-	
合計	59	

表11 四類感染症月別発生状況（令和4年・名古屋市）

月	総 数	E型肝炎	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む。）	A型肝炎	エキノコックス症	黄熱	オウム病	オムスク出血熱	回帰熱	キヤサヌル森林病	Q熱	狂犬病	コクシジオイデス症	サル痘	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。）	腎症候性出血熱	西部ウマ脳炎	ダニ媒介脳炎	炭疽	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱
1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
10	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
12	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
合計	59	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	2

月	東部ウマ脳炎	鳥インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1）及びH7N9を除く。）	ニパウイルス感染症	日本紅斑熱	日本脳炎	ハンタウイルス肺症候群	Bウイルス病	鼻疽	ブルセラ症	ベネズエラウマ脳炎	ヘンドラウイルス感染症	発しんチフス	ボツリヌス症	マラリア	野兔病	ライム病	リッサウイルス感染症	リフトバレー熱	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	ロッキー山紅斑熱
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	6	-	-
10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	6	-	-
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	47	-	-

表12 四類感染症区別発生状況（令和4年・名古屋市）

区	総数	E型肝炎	ウエストナイル熱（ウエ ストナイル脳炎を含む）	A型肝炎	エキノコックス症	黄熱	オウム病	オムスク出血熱	回帰熱	キヤサスル森林病	Q熱	狂犬病	コクシジオイデス症	サル痘	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候 群（病原体がフレボウイ ルス属SFTSウイルス であるものに限る。）	腎症候性出血熱	西部ウマ脳炎	ダニ媒介脳炎	炭疽	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱
千種	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
西	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
中村	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
昭和	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
瑞穂	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熱田	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中川	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
港	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
守山	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
緑	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名東	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
天白	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
合計	59	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	2

区	東部ウマ脳炎	鳥インフルエンザ（鳥イ ンフルエンザ（H5N1 及びH7N9）を除く。）	ニパウイルス感染症	日本紅斑熱	日本脳炎	ハンタウイルス肺症候群	Bウイルス病	鼻疽	ブルセラ症	ベネズエラウマ脳炎	ヘンドラウイルス感染症	発しんチフス	ボツリヌス症	マラリア	野兔病	ライム病	リッサウイルス感染症	リフトバレー熱	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	ロッキー山紅斑熱
千種	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
西	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
中村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-
中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
昭和	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
瑞穂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
熱田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-
中川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-
港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
守山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
緑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
名東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
天白	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	47	-	-

表13 五類感染症（全数把握）発生状況（令和4年・名古屋市）

疾病名	発生数	備考
アメーバ赤痢	12	腸管アメーバ症:11、腸管及び腸管外アメーバ症:1
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	62	
急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）	3	病原体不明:3
急性弛緩性麻痺	1	病原体不明:1
クロイツフェルト・ヤコブ病	3	古典型CJD:3
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	28	
後天性免疫不全症候群	57	AIDS:16、無症候:39、その他:2
侵襲性インフルエンザ菌感染症	8	
侵襲性髄膜炎菌感染症	1	
侵襲性肺炎球菌感染症	36	
水痘（入院例に限る。）	3	検査診断例:1、臨床診断例:2
梅毒	409	早期顕症I期:177、早期顕症II期:119、晩期顕症:5、無症候:108
播種性クリプトコックス症	3	
破傷風	1	
百日咳	2	
合計	629	

表14 五類感染症（全数把握）月別発生状況（令和4年・名古屋市）

月	合 計	アメーバ赤痢	カルバベネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）	急性弛緩性麻痺	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例に限る。）	梅毒	播種性クリプトコックス症	百日咳	破傷風
1	45	-	4	-	-	-	2	5	-	1	1	-	31	-	1	-
2	41	-	-	-	-	1	2	6	-	-	4	-	27	1	-	-
3	44	2	3	1	-	-	2	4	-	-	-	-	32	-	-	-
4	53	1	7	-	-	-	3	5	-	-	4	-	33	-	-	-
5	56	-	5	-	-	1	2	7	1	-	4	2	32	1	1	-
6	51	1	2	-	-	-	1	5	2	-	3	-	36	1	-	-
7	60	1	5	-	-	-	3	6	1	-	3	1	40	-	-	-
8	58	2	3	2	-	1	3	5	-	-	1	-	41	-	-	-
9	44	-	8	-	-	-	3	3	1	-	3	-	26	-	-	-
10	55	2	8	-	-	-	1	-	1	-	5	-	37	-	-	1
11	63	3	7	-	-	-	2	2	1	-	3	-	45	-	-	-
12	59	-	10	-	1	-	4	9	1	-	5	-	29	-	-	-
合計	629	12	62	3	1	3	28	57	8	1	36	3	409	3	2	1

表15 五類感染症（全数把握）区別発生状況（令和4年・名古屋市）

区	合 計	アメーバ赤痢	カルバベネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）	急性弛緩性麻痺	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例に限る。）	梅毒	播種性クリプトコックス症	百日咳	破傷風
千種	17	1	5	-	-	1	1	-	-	-	-	-	9	-	-	-
東	24	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	-	-	-
北	13	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	10	-	-	-
西	31	-	15	-	-	-	1	1	-	-	1	-	10	1	1	1
中村	37	-	3	1	-	-	3	3	-	-	3	-	23	-	1	-
中	251	2	1	-	-	-	4	52	1	1	2	-	188	-	-	-
昭和	52	3	11	-	-	-	2	1	2	-	6	1	26	-	-	-
瑞穂	15	-	-	-	-	1	2	-	-	-	3	-	9	-	-	-
熱田	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	-	-
中川	74	2	9	-	-	-	8	-	5	-	9	-	41	-	-	-
港	12	-	6	-	-	1	1	-	-	-	1	-	3	-	-	-
南	62	-	12	2	1	-	2	-	-	-	7	2	36	-	-	-
守山	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
緑	8	1	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	-	-
名東	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-
天白	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	1	-	-
合計	629	12	62	3	1	3	28	57	8	1	36	3	409	3	2	1

(2) 五類感染症（定点把握）の発生状況（令和4年）

7 五類感染症（定点把握）の各月毎の発生状況

五類感染症（定点把握）の本市における各月毎の発生状況（令和4年1月～令和4年12月）は以下のとおりです。

<令和4年1月分（第1週～第4週）>

報告数の多い疾病は、①感染性胃腸炎（1,004件：前月期比0.82倍）②A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（73件：前月期比0.72倍）③突発性発しん（49件：前月期比0.84倍）の順となっています。

<令和4年2月分（第5週～第8週）>

報告数の多い疾病は、①感染性胃腸炎（648件：前月期比0.65倍）②A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（64件：前月期比0.88倍）③RSウイルス感染症（25件：前月期比0.57倍）の順となっています。

<令和4年3月分（第9週～第13週）>

報告数の多い疾病は、①感染性胃腸炎（770件：前月期比1.19倍）②A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（67件：前月期比1.05倍）③突発性発しん（29件：前月期比1.21倍）の順となっています。

<令和4年4月分（第14週～第17週）>

報告数の多い疾病は、①感染性胃腸炎（585件：前月期比0.76倍）②A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（72件：前月期比1.07倍）③RSウイルス感染症（46件：前月期比2.42倍）の順となっています。

<令和4年5月分（第18週～第21週）>

報告数の多い疾病は、①感染性胃腸炎（733件：前月期比1.25倍）②RSウイルス感染症（105件：前月期比2.28倍）③A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（56件：前月期比0.78倍）の順となっています。

<令和4年6月分（第22週～第26週）>

報告数の多い疾病は、①感染性胃腸炎（1,205件：前月期比1.64倍）②RSウイルス感染症（607件：前月期比5.78倍）③咽頭結膜熱（82件：前月期比2.00倍）の順となっています。

<令和4年7月分（第27週～第30週）>

報告数の多い疾病は、①RSウイルス感染症（1,267件：前月期比2.09倍）②感染性胃腸炎（753件：前月期比0.62倍）③手足口病（316件：前月期比9.58倍）の順となっています。

<令和4年8月分（第31週～第34週）>

報告数の多い疾病は、①手足口病（750件：前月期比2.37倍）②感染性胃腸炎（341件：前月期比0.45倍）③RSウイルス感染症（299件：前月期比0.24倍）の順となっています。

<令和4年9月分（第35週～第39週）>

報告数の多い疾病は、①手足口病（924件：前月期比1.23倍）②感染性胃腸炎（481件：前月期比1.41倍）③ヘルパンギーナ（161件：前月期比1.17倍）の順となっています。

＜令和4年10月分（第40週～第43週）＞

報告数の多い疾病は、①感染性胃腸炎（438 件：前月期比 0.91 倍）②手足口病（222 件：前月期比 0.24 倍）③A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎（75 件：前月期比 0.69 倍）の順となっています。

＜令和4年11月分（第44週～第47週）＞

報告数の多い疾病は、①感染性胃腸炎（409 件：前月期比 0.93 倍）②手足口病（53 件：前月期比 0.24 倍）③A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎（33 件：前月期比 0.44 倍）の順となっています。

＜令和4年12月分（第48週～第52週）＞

報告数の多い疾病は、①感染性胃腸炎（985 件：前月期比 2.41 倍）②インフルエンザ（96 件：前月期比 9.60 倍）③突発性発しん（42 件：前月期比 1.68 倍）の順となっています。

主なトピックス

令和4年3月分《麻しん・風しん～予防には予防接種が効果的、早めに接種して感染を防ぎましょう～》

★麻しん（はしか）について

麻しんは、発しんや発熱を主な症状とする病気です。通常風邪とは異なり、肺炎や脳炎などを起こして重症化する確率が高く、昔は多くの方が亡くなっていました。現在でも、麻しんにかかると、500～1000人に1人が亡くなるといわれています。多くの人が予防接種を受けているため、麻しんにかかる人は少なくなっていますが、感染力はインフルエンザよりもずっと強く、免疫が無い状態で患者と接触すると、ほとんどの人が感染してしまいます。大学入学や海外への留学などの際に、麻しんに対する免疫をもっていることの証明書が必要となることもあります。

★風しん（三日ばしか）について

風しんは、発しん、リンパ節腫脹、発熱を主な症状とする病気です。大人になってからかかると重症化しやすく、また、妊娠中の方が妊娠早期にかかると、子どもに白内障、心疾患、難聴などの先天異常が起こる可能性が高くなります（先天性風しん症候群）。近年、免疫を持っていない成人男性の間に風しんが流行することがあり、妊婦へ感染させてしまうことが問題となっています。

★予防接種について

(1) 麻しん・風しん（MR第1期・第2期）定期予防接種

区 分	対 象
第1期	1歳以上2歳未満（2歳の誕生日の前日まで）
第2期	小学校就学前年度（令和5年4月に小学校入学予定の方） なお、令和4年度は平成28年4月2日～平成29年4月1日生まれの方 ＊接種期間：令和5年3月31日まで＊

(2) 風しん（第5期）抗体検査及び予防接種

区分	対 象	
第5期	抗体検査	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性（1回のみ）
	予防接種	抗体検査の結果、風しんに対する抗体値が不十分だと判断された、昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性（1回のみ）

※いずれの定期予防接種（第5期の抗体検査含む）も無料で受けることができます。

(参考) 過去3年間の麻しん・風しん報告数について

年 次	令和元年		令和2年		令和3年 (暫定値)	
	麻しん	風しん	麻しん	風しん	麻しん	風しん
本 市	10	27	0	7	0	0
全 国	744	2,298	10	101	6	12

令和4年5月分《サル痘》

サル痘は 1970 年にザイール（現在のコンゴ民主共和国）でヒトでの感染が初めて確認されたオルソポックスウイルス属のサル痘ウイルスによる感染症で、中央アフリカから西アフリカ等（以下「サル痘常在国」という。）にかけて流行しています。

日本国内では感染症法上の4類感染症に指定されています。また、日本では感染症発生動向調査において、集計の開始された 2003 年以降、輸入例を含めサル痘患者の報告はありません。しかし、2022 年 5 月以降、従前のサル痘常在国以外の欧州、米国等でも報告されており、日本国内においても輸入例等の発生に注意する必要があることから、厚生労働省は全国の自治体に対し、2022 年 5 月 20 日にサル痘に関する情報提供及び協力依頼について事務連絡を発出しました（同年 6 月 1 日に一部改正）。

事務連絡において次のとおり暫定症例定義が示されておりますので、当てはまる方は医療機関にご相談ください。また、患者又は疑い例と接触した方は保健センターまでご相談ください。

疑い例の暫定症例定義

下記の①～③全てを満たす者を指す。

① 説明困難（*1）な急性発疹を呈している。

（*1）水痘、風疹、梅毒、伝染性軟属症、アレルギー反応等のその他の急性発疹を呈する疾患によるものとして説明が困難であることをいう。

② 次の1つ以上の症状を呈している。

発熱（38.5℃以上）、頭痛、背中の痛み、重度の脱力感、リンパ節腫脹

③ 次のいずれかに該当する。

- ・発疹等の発症の 21 日以内にサル痘常在国に滞在歴があった。
- ・発疹等の発症の 21 日以内にサル痘常在国以外のサル痘症例が報告されている国に滞在歴があり、滞在先で他者との濃厚接触（性的接触を含む。）があった。
- ・発疹等の発症の 21 日以内にサル痘常在国やサル痘症例が報告されている国に滞在歴がある者と日本国内において濃厚接触（性的接触を含む。）があった。
- ・発疹等の発症の 21 日以内に複数または不特定の者と性的接触があった。

サル痘について

（1）感染経路

サル痘常在国に生息するリスなどの齧歯類をはじめ、サルやウサギなどウイルスを保有する動物（以下「感受性動物」という。）との接触によりヒトに感染します。また、ヒトからヒトに感染することがあり、主に接触感染、飛沫感染をするとされています。

（2）症状

潜伏期間は 5～21 日（通常は 6～13 日）、サル痘常在国における致死率は数%～10%と報告されています。初期症状は、発熱、悪寒、背中の痛み、筋肉痛、リンパ節の腫れ等であり、発熱後 1～3 日で特徴的な発疹が顔や四肢に現れ、口の中や性器、目にも発疹が現れることがあります。

（3）予防法

天然痘ワクチンによって約 85%の発症予防効果があるとされています。流行地では感受性動物や感染者との接触を避けることが大切です。発熱や皮疹がありサル痘が疑われる場合、マスク着用を行い、咳エチケットを守り、手指の衛生を保ちましょう。また、患者のリネン類から感染した報告もあることから、リネン類や衣類は手袋などを着用して密封できる袋に入れ、直接的な接触を避け

たうえで、洗濯などを行い、その後手指を洗いましょう。

(参考) サル痘常在国及びサル痘常在国以外のサル痘症例が報告されている国

	国名
サル痘常在国	ベナン共和国、カメルーン、中央アフリカ共和国、コンゴ民主共和国、ガボン、ガーナ（動物のみで確認）、コートジボワール、リベリア、ナイジェリア、コンゴ共和国、シエラレオネ及び南スーダン
サル痘常在国以外のサル痘症例が報告されている国 (2022年6月7日現在)	アルゼンチン、カナダ、メキシコ、米国、モロッコ、アラブ首長国連邦、オーストリア、ベルギー、チェコ、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、ハンガリー、アイルランド、イスラエル、イタリア、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポルトガル、スロベニア、スペイン、スウェーデン、スイス、英国、豪州、ラトビア

令和4年7月分 《手足口病 ～今後更なる流行に注意しましょう～》

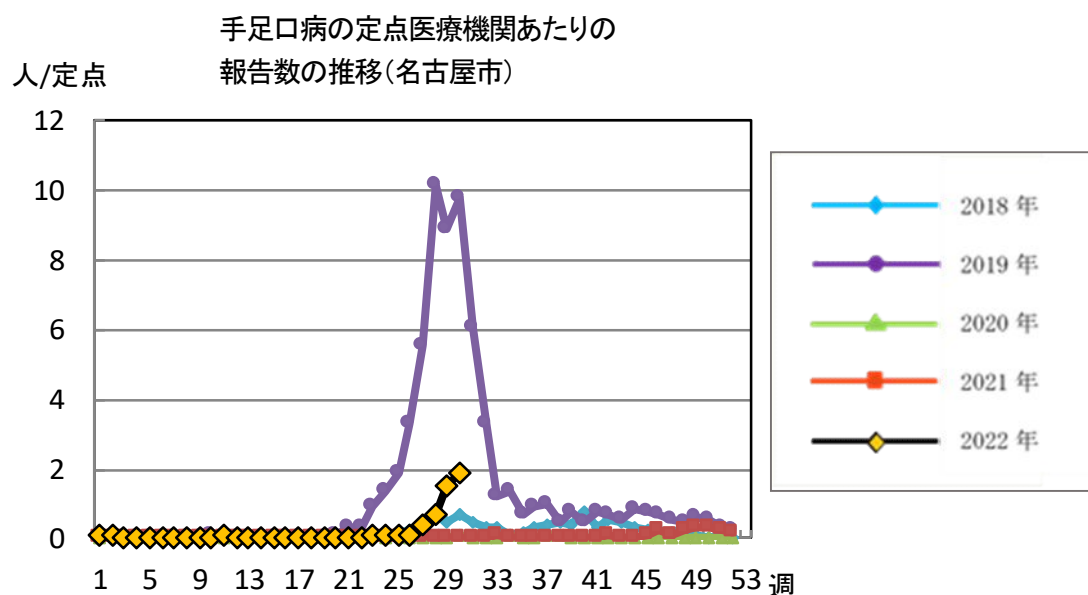
手足口病は、コクサッキーウイルス A6 型、A16 型、エンテロウイルス 71 型などにより引き起こされる急性ウイルス性感染症です。潜伏期間は通常 3～5 日で、乳幼児を中心に多く発症することから、集団生活している施設では特に注意が必要です。

7 月期の患者報告数は 316 件（前月比 9.58 倍）で、前月と比較して 283 件増加しました。例年、夏に流行のピークがみられることが多く、今後の動向に注意する必要があります。

症状は、手のひらや足先、口の中に水疱性の発疹が現れ、軽度の発熱を起こすことがありますが、基本的には数日間で自然治癒します。まれに、髄膜炎、脳炎などの合併症を引き起こす場合がありますので、早めに医療機関を受診しましょう。

感染経路は、咳・くしゃみ、便、水疱の内容物から感染します。症状が回復した後も数週間は便からウイルスが排出されることがあります。

感染の予防として有効なワクチンはありません。流水と石けんによる手洗いを心がけ、タオルの共用は避けましょう。また、感染した乳幼児のおむつ交換時には、排泄物を適切に処理し、処理後も手洗いをしっかりと行い、感染予防に努めましょう。



【定点医療機関あたりの報告数の推移】

週	名古屋市		愛知県 (名古屋市含む)	全国
	報告数	定点あたり	定点あたり	定点あたり
第27週 (7/4～7/10)	30 (3)	0.43 (0.04)	0.46	1.42
第28週 (7/11～7/17)	50 (5)	0.71 (0.07)	0.87	1.87
第29週 (7/18～7/24)	104 (2)	1.49 (0.03)	1.35	2.14
第30週 (7/25～7/31)	132 (3)	1.89 (0.04)	2.04	3.01

() は去年の報告数

令和4年10月分《梅毒》

近年、梅毒は全国的に報告数が増加しており、令和4年10月2日現在の感染者数は全国で9,312人と、現在の集計方法となった平成11年以来、過去最高を更新しています。名古屋市でも平成28年頃から報告数が多くなっています。名古屋市の令和3年の報告数は229件（診断日集計）でしたが、令和4年10月2日現在時点ですでに292件（診断日集計）の報告があり、全国と同様に、平成11年以降で過去最高となる見込みです。

梅毒は、妊娠している人が感染すると、胎盤を通して胎児に感染し、死産、早産や、赤ちゃんが発症する先天梅毒になることもあることから、特に注意が必要です。

主な感染経路は、感染部位と粘膜や皮膚との直接の接触（性的接触）です。性的接触がある場合は、コンドームを使用しましょう。また、梅毒は終生免疫が得られず、一度治っても再び感染することがあるため、パートナーと一緒に検査・治療をすることが大切です。皮膚や粘膜に異常があった場合は、性的接触を控え、早めに医療機関を受診しましょう。

名古屋市では、HIV検査とあわせて梅毒検査を無料・匿名で実施していますので、感染が心配な方は、検査を受けるようにしましょう。

詳しくは本市公式サブサイト「なごやHIV・性感染症ガイド」をご参照ください。右側の二次元コードからもアクセスできます。

(URL ; <https://www.hiv-stiguide.city.nagoya.jp/>)



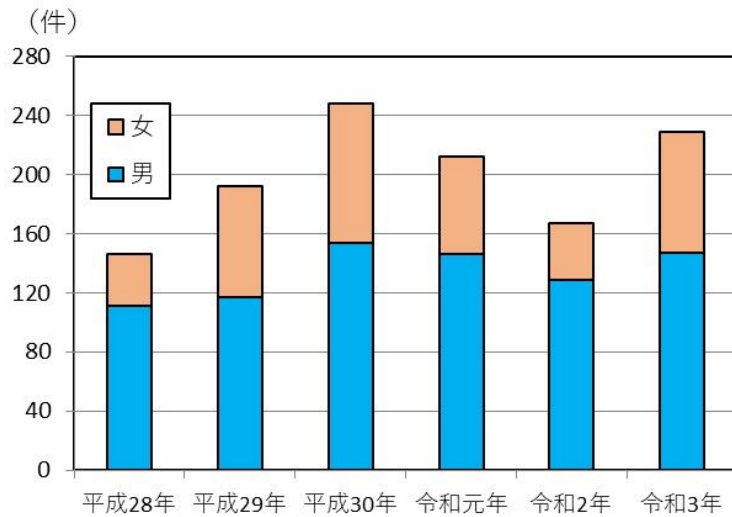


図1 本市の男女別梅毒発生件数の推移 (診断日集計)

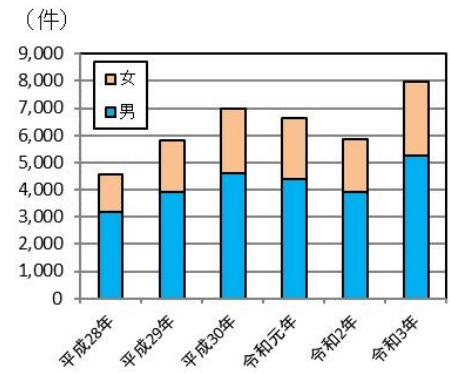


図2 全国の男女別梅毒発生件数の推移

表 本市の男女別梅毒発生件数 (診断日集計)

(件)

年次	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
男	111	117	154	146	129	147
女	35	75	94	66	38	82
合計	146	192	248	212	167	229

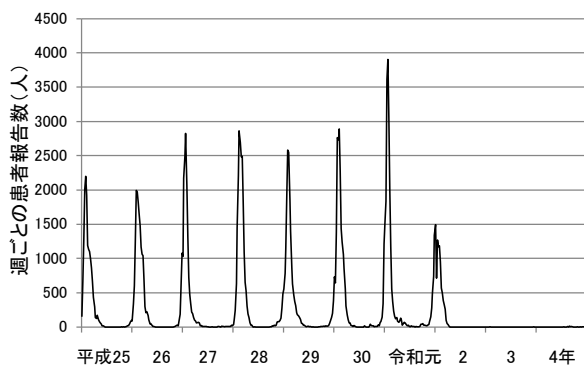
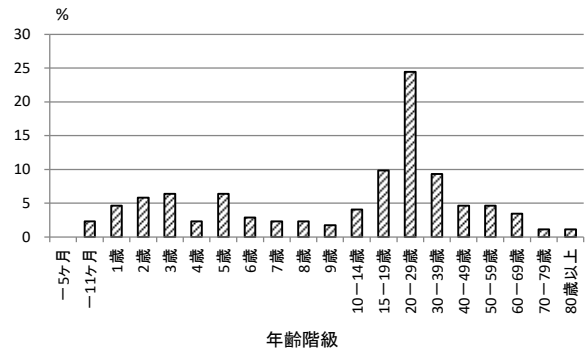
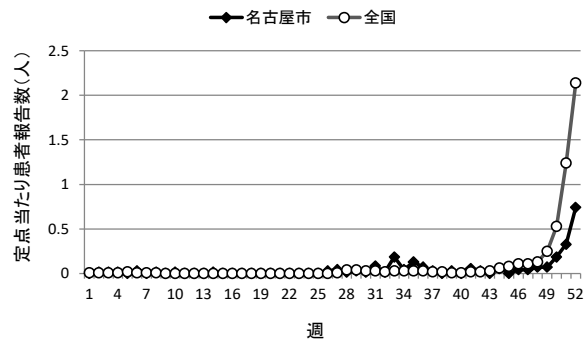
イ 五類感染症(定点把握)発生状況の推移等(令和4年)

疾病ごとの週別、月別報告件数の推移及び年齢別患者分布状況は下記のとおりです。

なお、インフルエンザ定点、小児科定点及び眼科定点からの報告数については、年次推移もあわせて掲載しております。

○ インフルエンザ定点(週報)

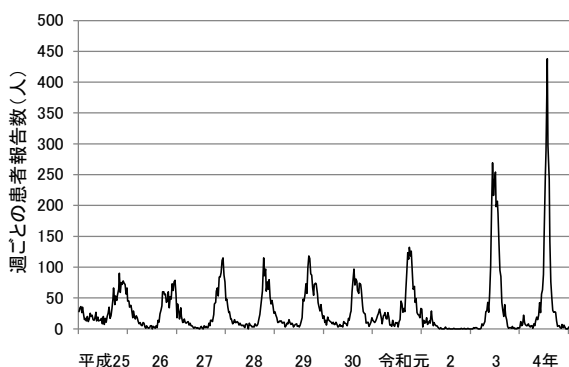
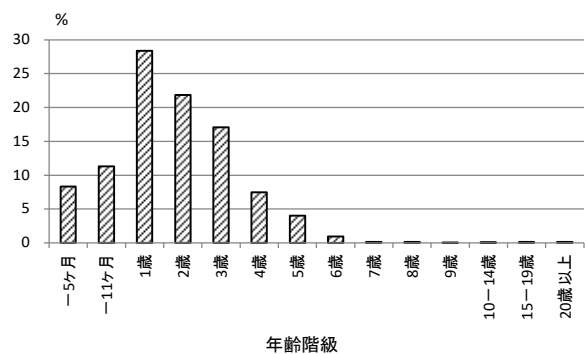
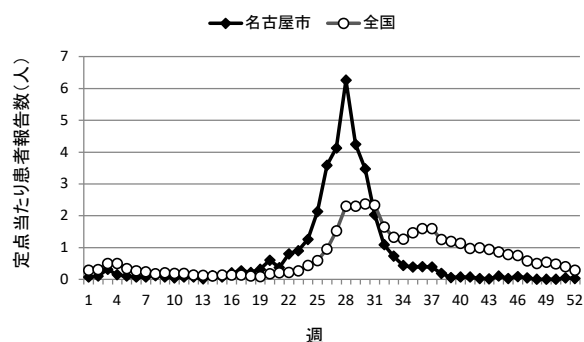
・インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)



※ 年間の患者報告数は 172 人(定点・週当たり患者報告数平均 0.05 人)で、これまでの 10 年間で 2 番目に少なかった。

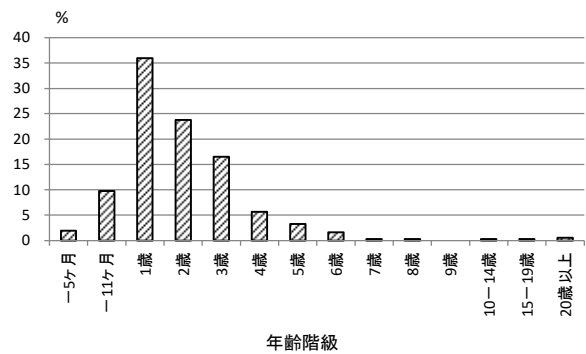
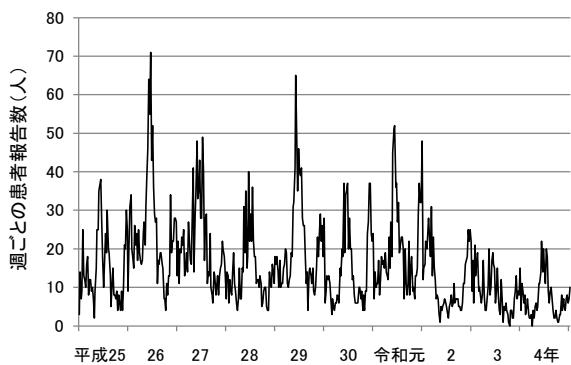
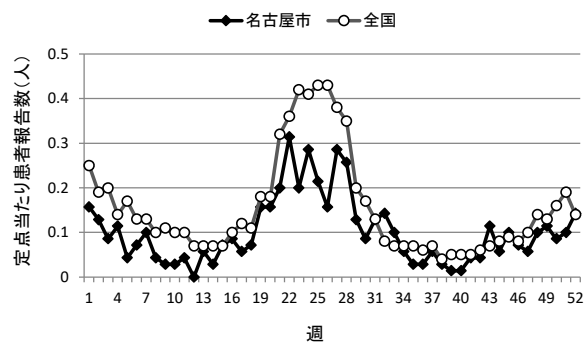
○ 小児科定点(週報)

・RSウイルス感染症



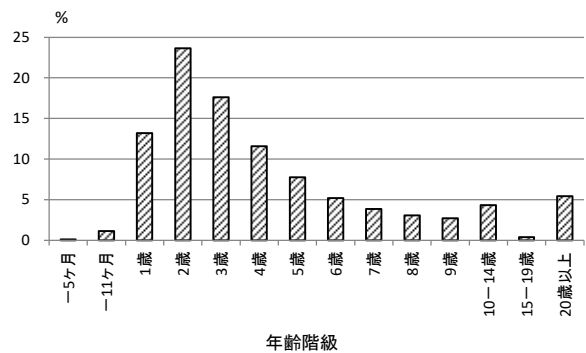
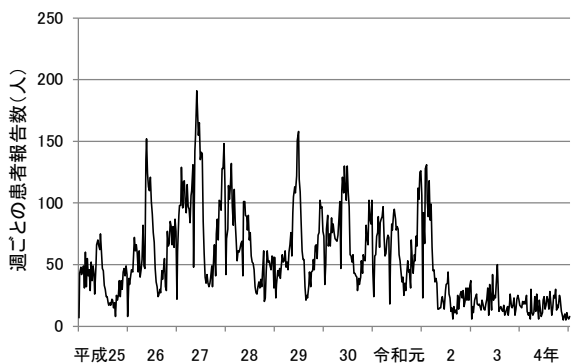
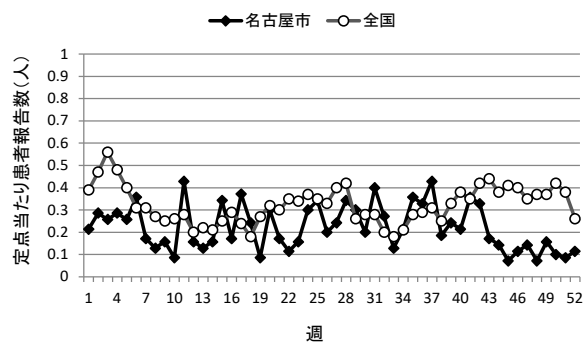
※ 年間の患者報告数は 2547 人(定点・週当たり患者報告数平均 0.70 人)で、これまでの 10 年間で 2 番目に多かった。

・咽頭結膜熱



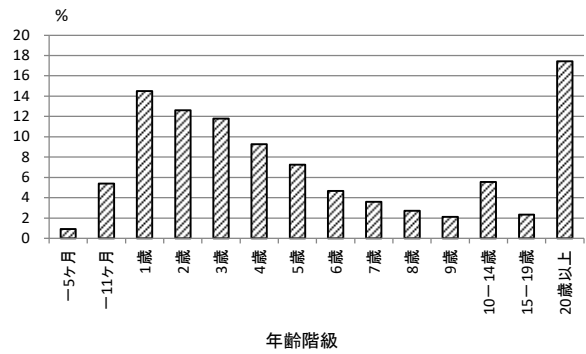
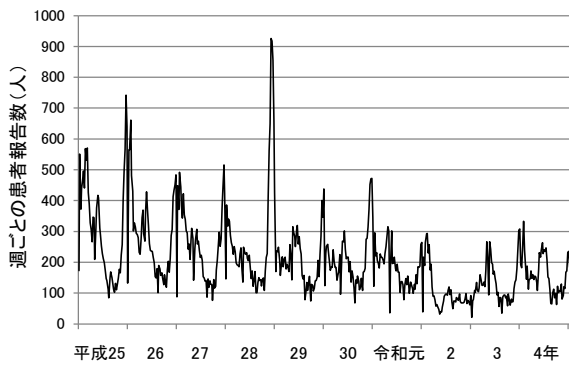
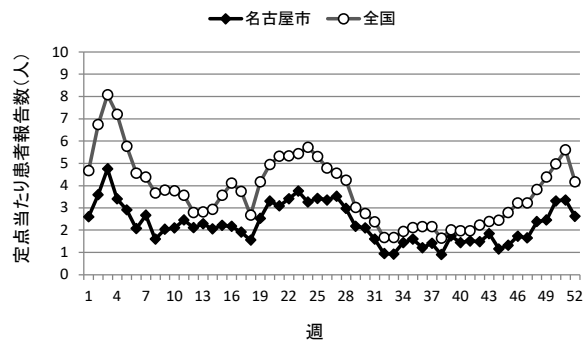
※ 年間の患者報告数は 370 人（定点・週当たり患者報告数平均 0.10 人）で、これまでの 10 年間で最も少なかった。

・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎



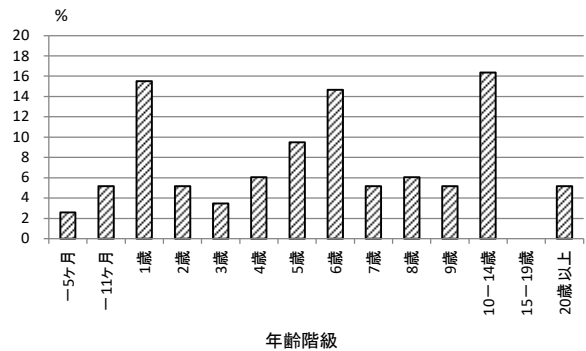
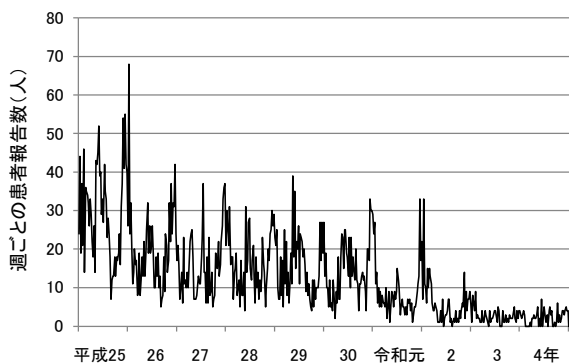
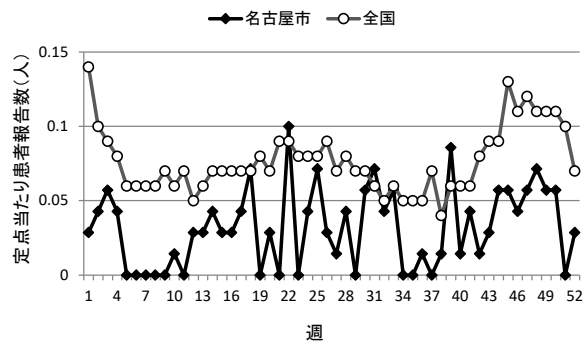
※ 年間の患者報告数は 811 人（定点・週当たり患者報告数平均 0.22 人）で、これまでの 10 年間で最も少なかった。

・ 感染性胃腸炎



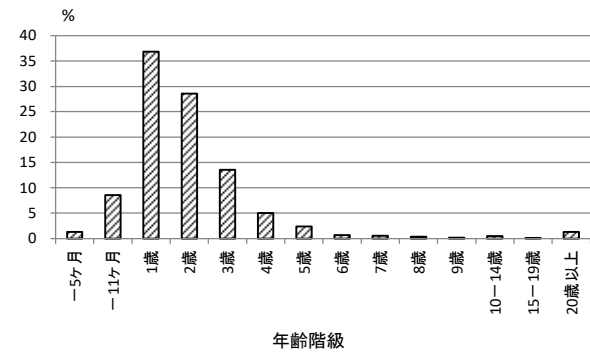
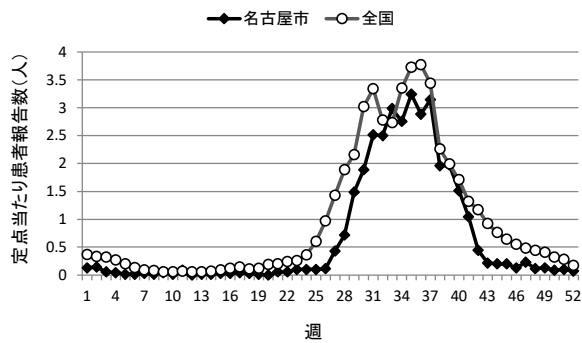
※ 年間の患者報告数は 8,361 人（定点・週当たり患者報告数平均 2.30 人）で、これまでの 10 年間で 3 番目に少なかった。

・ 水痘

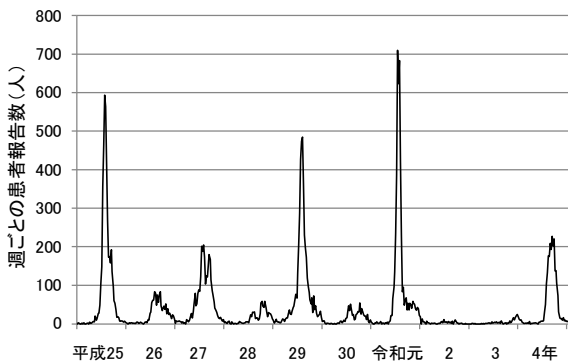


※ 年間の患者報告数は 116 人（定点・週当たり患者報告数平均 0.03 人）で、これまでの 10 年間で最も少なかった。

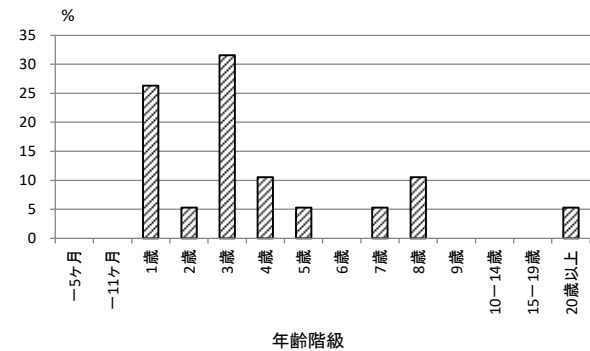
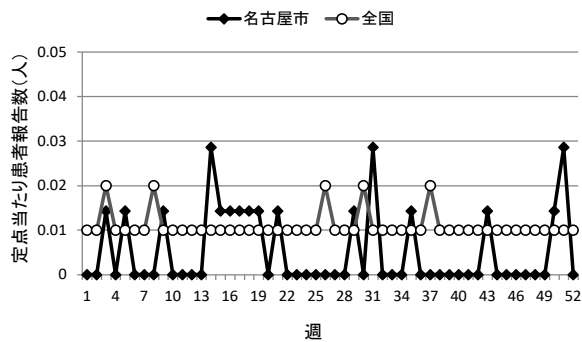
・手足口病



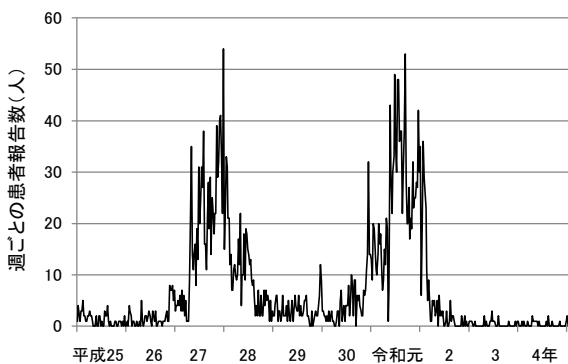
※ 年間の患者報告数は 2,396 人（定点・週当たり患者報告数平均 0.66 人）で、これまでの 10 年間で 5 番目に多かった。



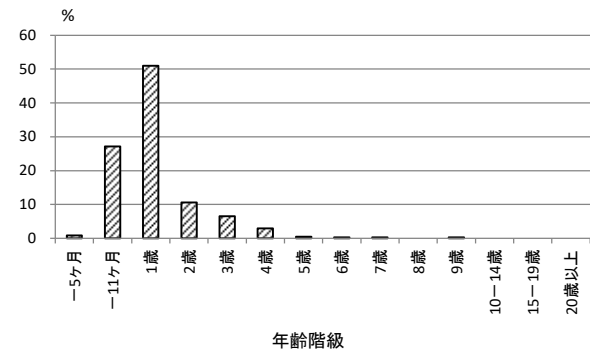
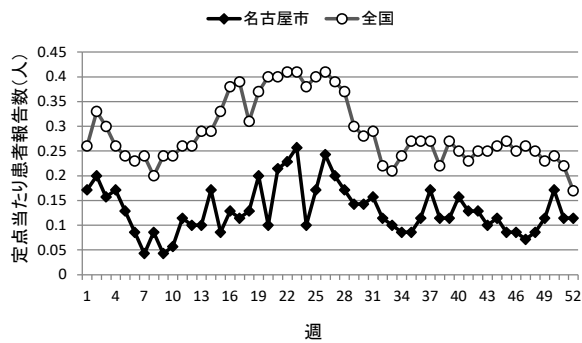
・伝染性紅斑



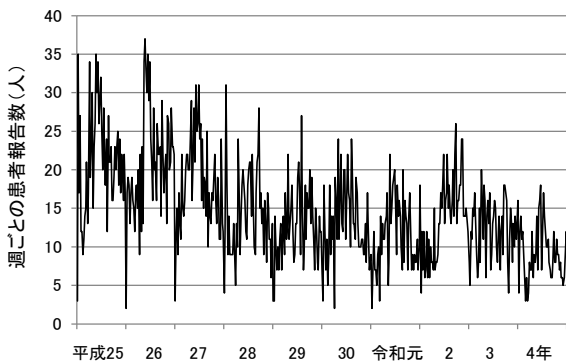
※ 年間の患者報告数は 19 人（定点・週当たり患者報告数平均 0.005 人）で、これまでの 10 年間で最も少なかった。



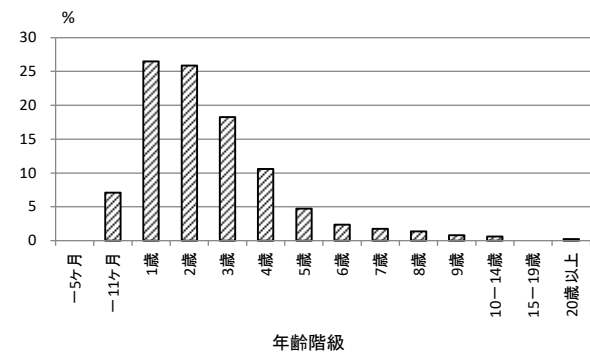
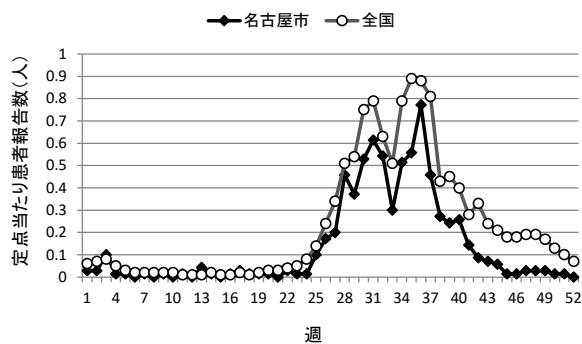
・突発性発しん



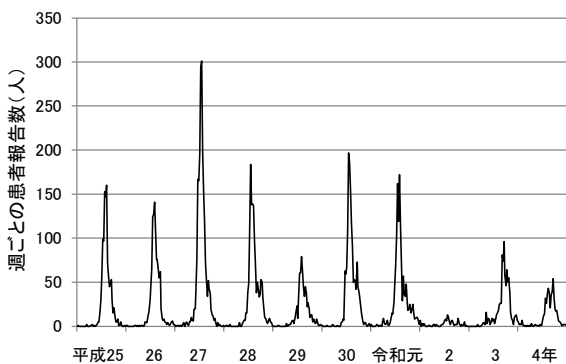
※ 年間の患者報告数は 475 人（定点・週当たり患者報告数平均 0.13 人）で、これまでの 10 年間で最も少なかった。



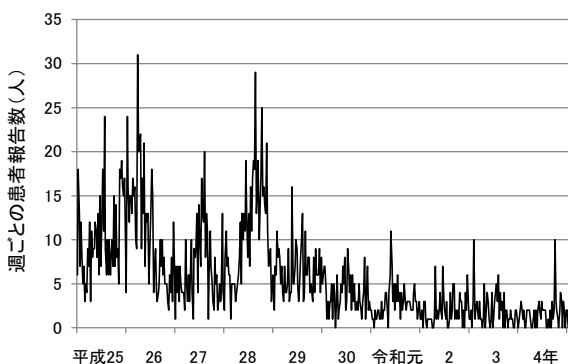
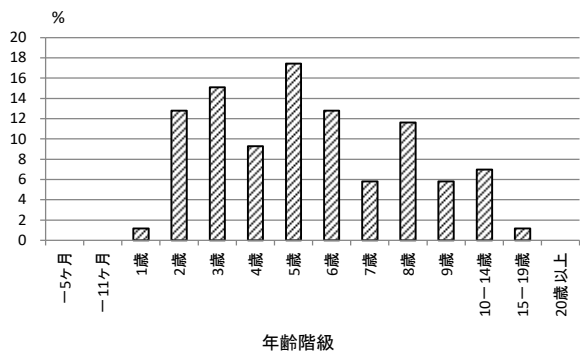
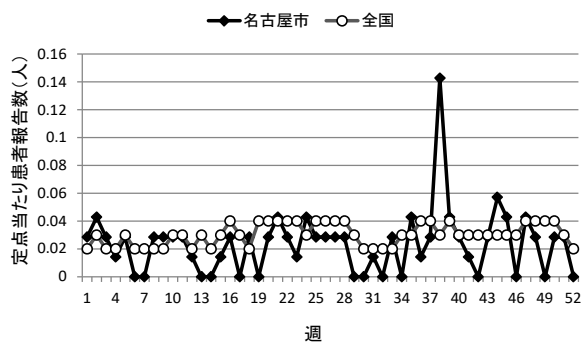
・ヘルパンギーナ



※ 年間の患者報告数は 510 人（定点・週当たり患者報告数平均 0.14 人）で、これまでの 10 年間で 2 番目に少なかった。



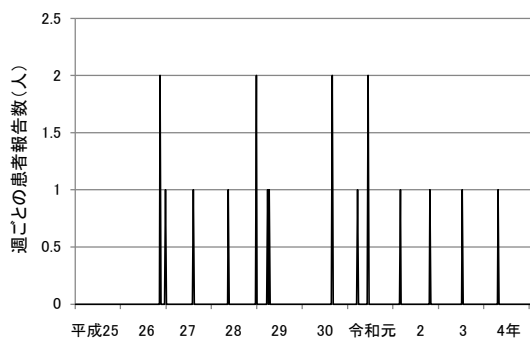
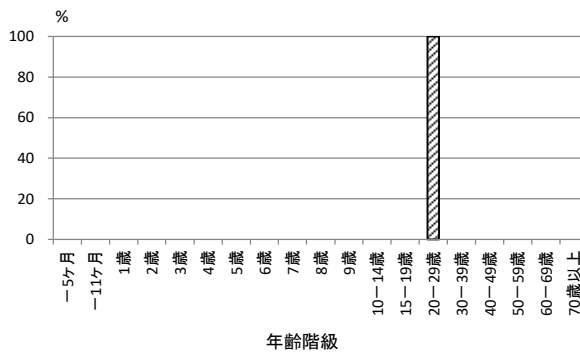
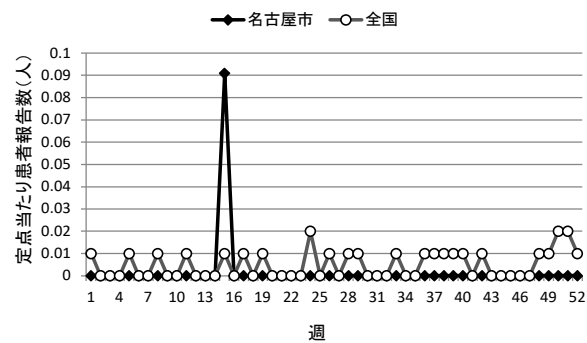
・流行性耳下腺炎



※ 年間の患者報告数は 86 人（定点・週当たり患者報告数平均 0.02 人）で、これまでの 10 年間で最も少なかった。

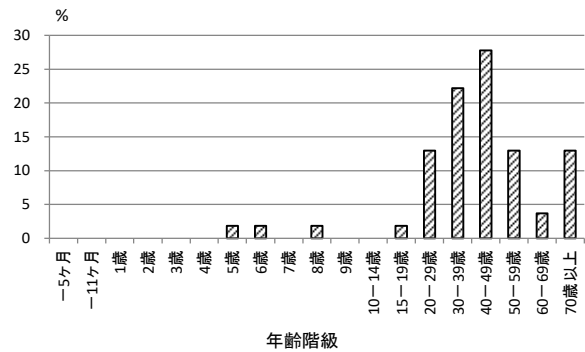
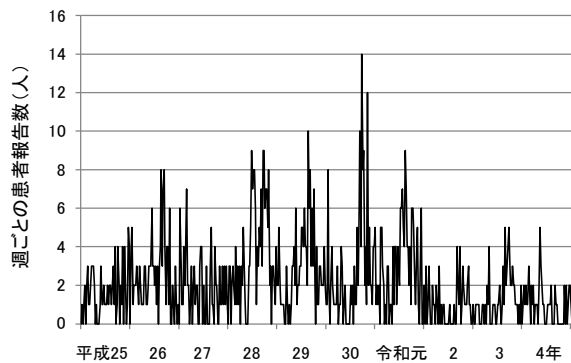
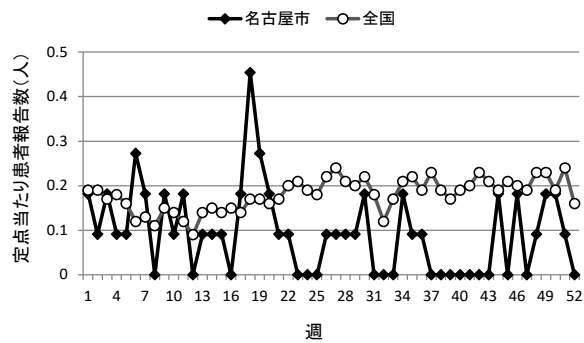
○ 眼科定点（週報）

・急性出血性結膜炎



※ 年間の患者報告数は 1 人（定点・週当たり患者報告数平均 0.002 人）であった。

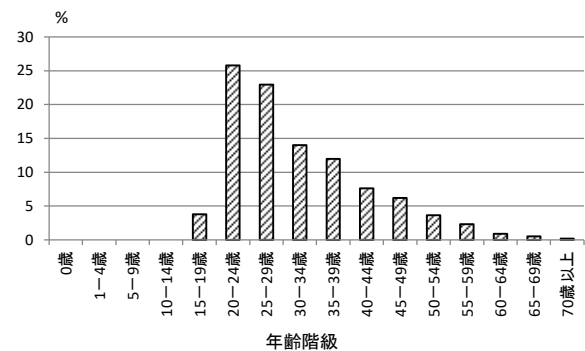
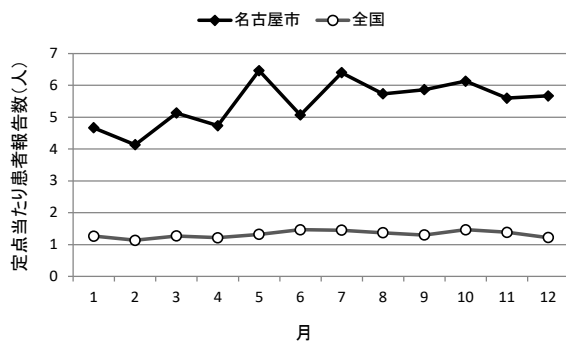
・ 流行性角結膜炎



※ 年間の患者報告数は54人（定点・週当たり患者報告数平均0.09人）で、これまでの10年間で2番目に少なかった。

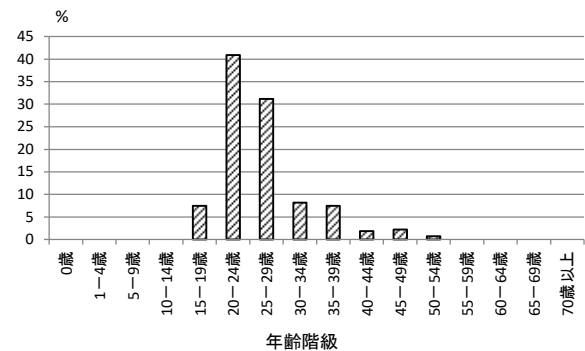
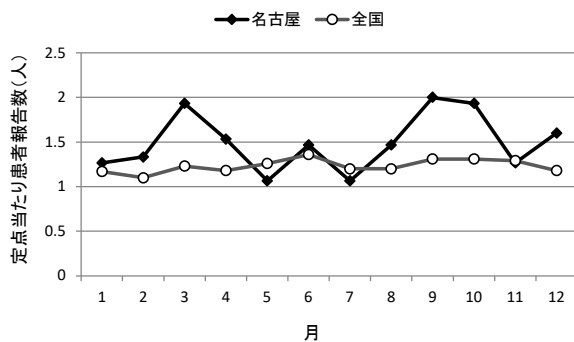
○ STD 定点（月報）

・ 性器クラミジア感染症 【男性】



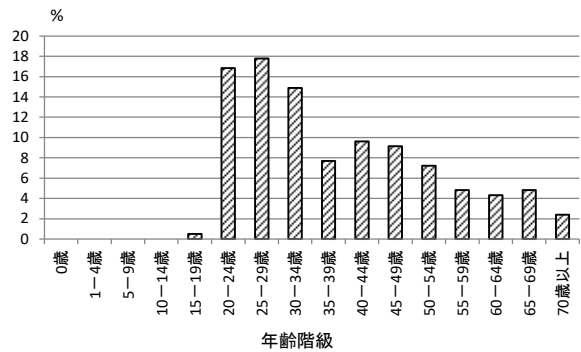
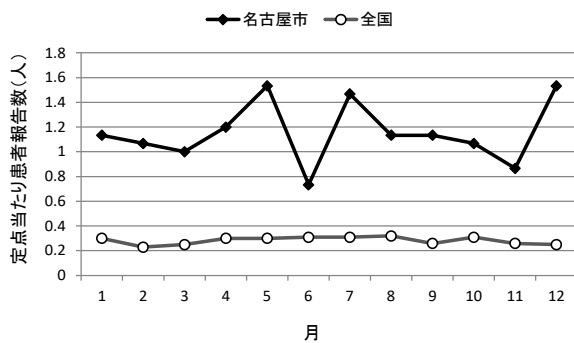
※ 年間の患者報告数は984人（定点・月当たり患者報告数平均5.47人）であった。

【女性】



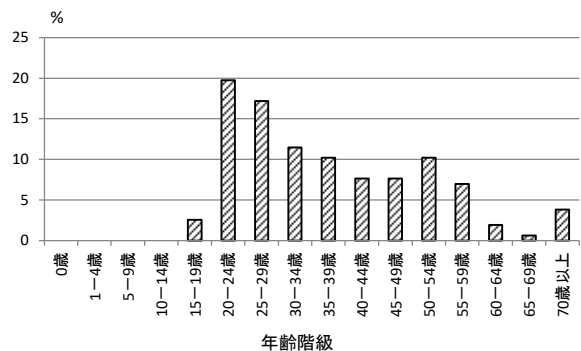
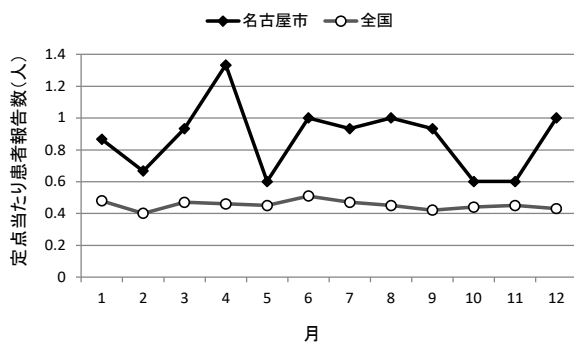
※ 年間の患者報告数は269人（定点・月当たり患者報告数平均1.49人）であった。

・性器ヘルペスウイルス感染症
【男性】



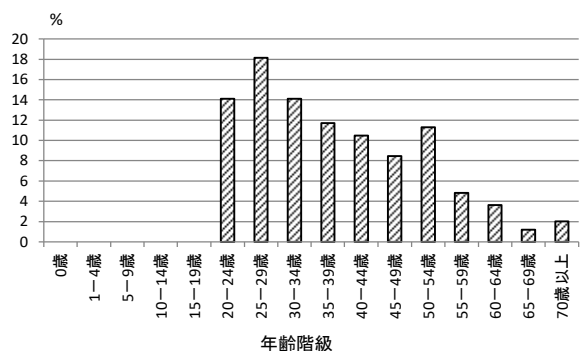
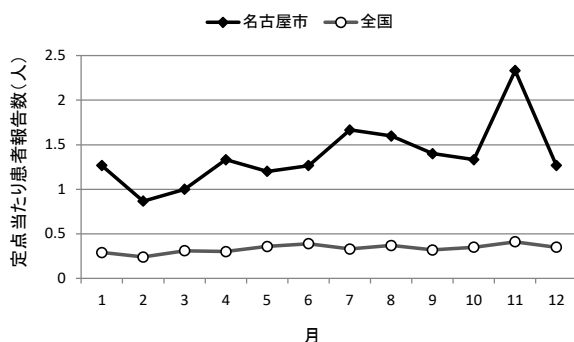
※ 年間の患者報告数は 208 人（定点・月当たり患者報告数平均 1.16 人）であった。

【女性】



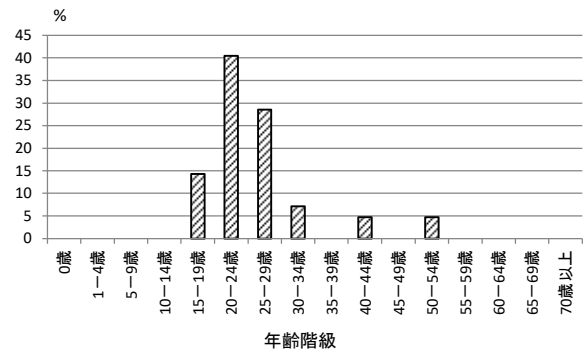
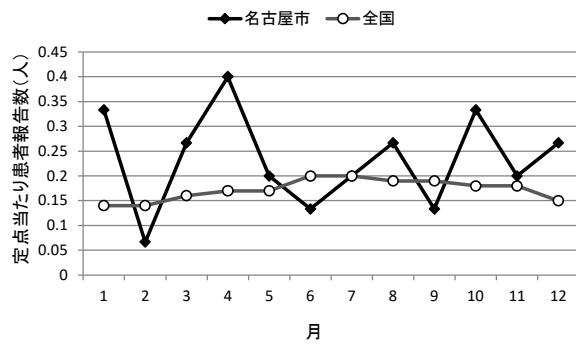
※ 年間の患者報告数は 157 人（定点・月当たり患者報告数平均 0.87 人）であった。

・尖圭コンジローマ
【男性】



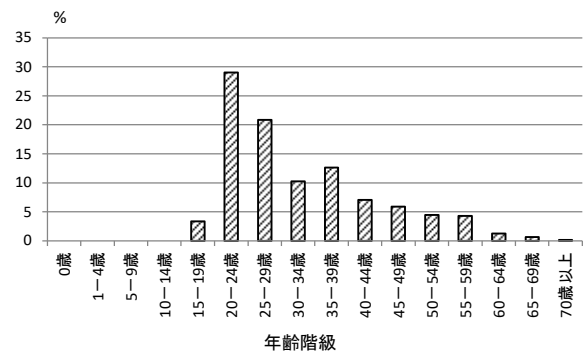
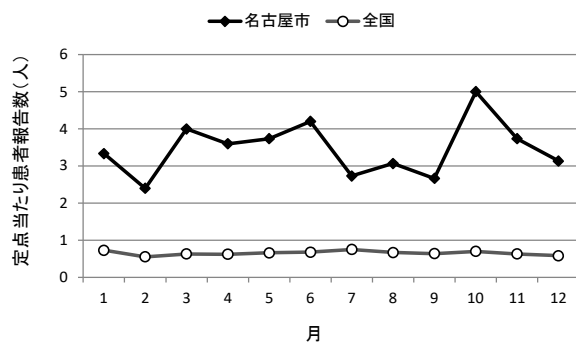
※ 年間の患者報告数は 248 人（定点・月当たり患者報告数平均 1.38 人）であった。

【女性】



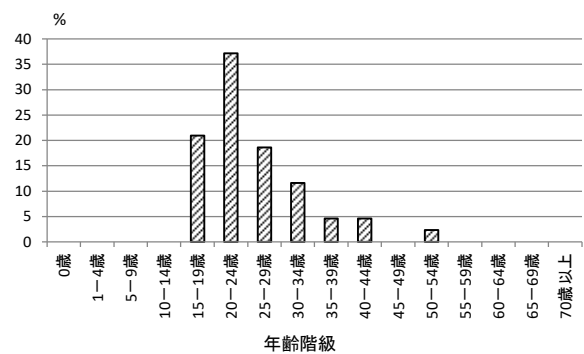
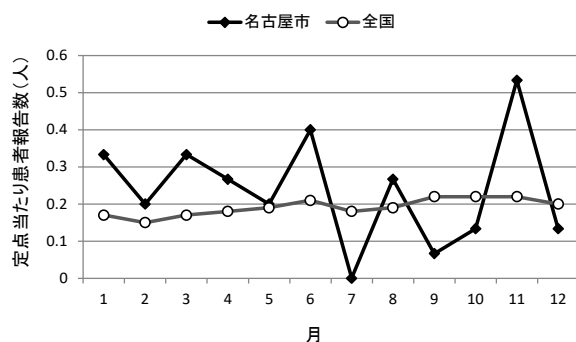
※ 年間の患者報告数は 42 人（定点・月当たり患者報告数平均 0.23 人）であった。

・ 淋菌感染症 【男性】



※ 年間の患者報告数は 624 人（定点・月当たり患者報告数平均 3.47 人）であった。

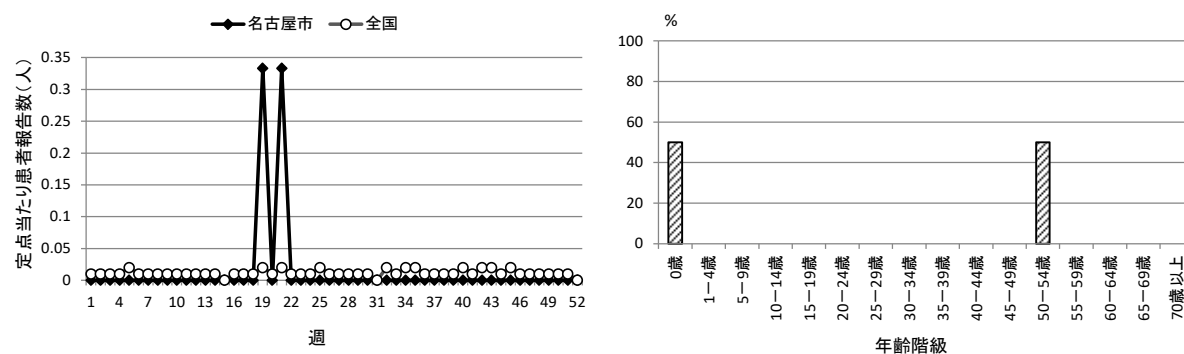
【女性】



※ 年間の患者報告数は 43 人（定点・月当たり患者報告数平均 0.24 人）であった。

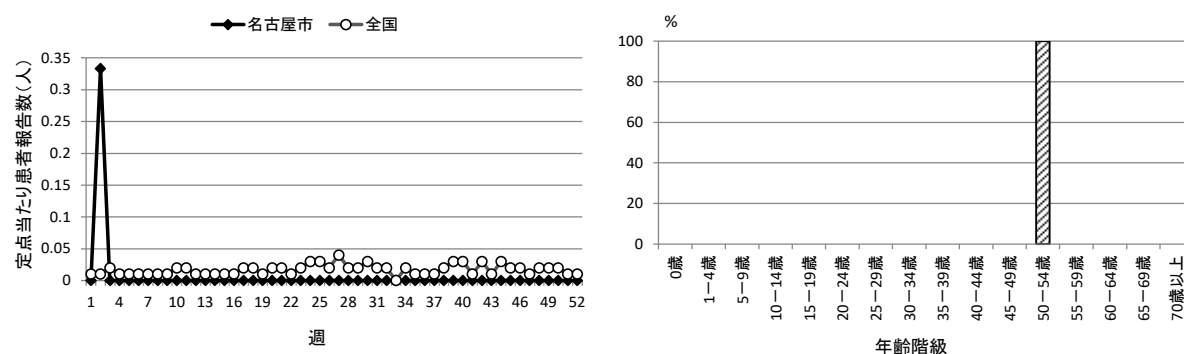
○ 基幹定点（週報）

- ・細菌性髄膜炎（髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。）



※ 年間の患者報告数は2人（定点・週当たり患者報告数平均0.013人）であった。

・無菌性髄膜炎



※ 年間の患者報告数は1人（定点・週当たり患者報告数平均0.006人）であった。

・マイコプラズマ肺炎

※ 報告はなかった。

・クラミジア肺炎（オウム病を除く）

※ 報告はなかった。

・感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）

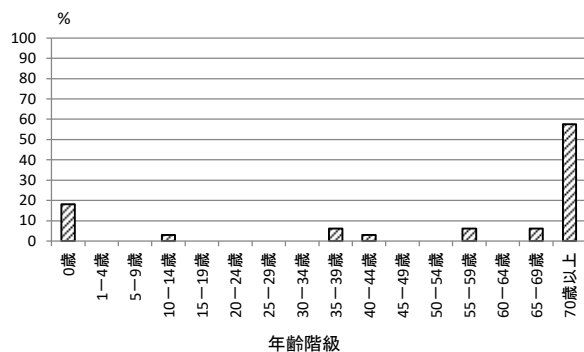
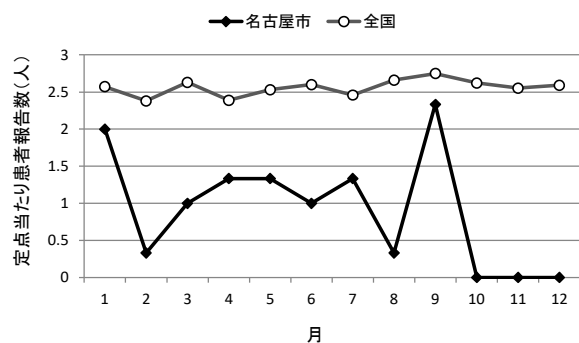
※ 報告はなかった。

・インフルエンザによる入院患者の報告

※ 報告はなかった。

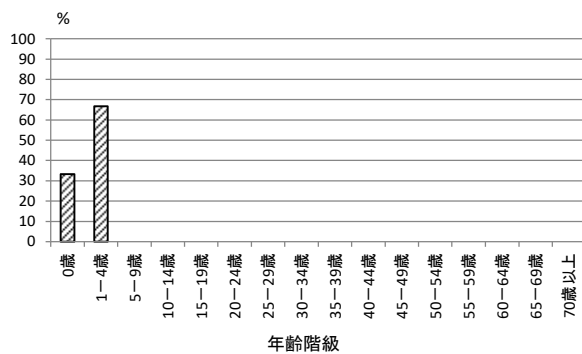
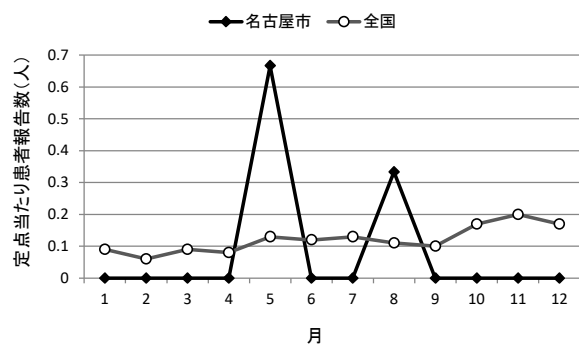
○ 基幹定点（月報）

・メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



※ 年間の患者報告数は33人（定点・月当たり患者報告数平均0.92人）であった。

・ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



※ 年間の患者報告数は3人（定点・月当たり患者報告数平均0.08人）であった。

・薬剤耐性緑膿菌感染症

※ 報告はなかった。

表1 週報対象疾病週別患者発生状況(令和4年・名古屋市)

月	週	合計	インフル エンザ等 を除く。	インフル エンザ(鳥 インフル エンザ) 等	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘ ル パ ン ギ ー ナ
1	1	242	—	5	11	15	182	2	9	—	12	2	
	2	322	1	7	9	20	251	3	10	—	14	2	
	3	411	1	22	6	18	333	4	4	1	11	7	
	4	298	1	10	8	20	238	3	3	—	12	1	
2	5	247	—	7	3	18	204	—	1	1	9	1	
	6	192	2	5	5	25	145	—	1	—	6	—	
	7	219	—	5	7	12	187	—	2	—	3	1	
	8	142	1	8	3	9	112	—	1	—	6	—	
3	9	173	—	5	2	11	143	—	3	1	3	1	
	10	168	1	3	2	6	147	1	1	—	4	—	
	11	229	—	5	3	30	172	—	6	—	8	1	
	12	174	—	5	—	11	148	2	—	—	7	—	
	13	188	—	1	4	9	160	2	1	—	7	3	
4	14	186	1	8	2	11	144	3	1	2	12	1	
	15	203	—	5	5	24	155	2	2	1	6	—	
	16	201	—	14	6	12	152	2	2	1	9	1	
	17	202	—	19	4	26	134	3	3	1	8	2	
5	18	171	—	15	5	17	109	5	2	1	9	1	
	19	237	—	22	11	6	177	—	1	1	14	1	
	20	319	—	42	11	21	231	2	—	—	7	1	
	21	293	—	26	14	12	216	—	4	1	15	—	
6	22	357	—	56	22	8	239	7	4	—	16	2	
	23	378	—	63	14	11	263	—	7	—	18	1	
	24	378	—	88	20	21	228	3	7	—	7	1	
	25	461	—	149	15	24	240	5	7	—	12	7	
	26	555	2	251	11	14	235	2	8	—	17	12	
7	27	637	3	289	20	17	246	1	30	—	14	14	
	28	789	1	438	18	24	208	3	50	—	12	32	
	29	623	2	297	9	21	152	—	104	1	10	26	
	30	596	1	243	6	14	147	4	132	—	10	37	
8	31	535	6	142	9	28	112	5	176	2	11	43	
	32	396	1	76	10	19	66	3	175	—	8	38	
	33	388	13	51	7	9	65	4	209	—	7	21	
	34	390	3	30	4	15	101	—	193	—	6	36	
9	35	452	9	27	2	25	112	—	227	1	6	39	
	36	410	5	28	2	23	85	1	202	—	8	54	
	37	428	2	27	4	30	99	—	220	—	12	32	
	38	266	—	13	2	13	63	1	137	—	8	19	
	39	318	2	4	1	17	122	6	138	—	8	17	
10	40	260	—	5	1	15	101	1	106	—	11	18	
	41	239	4	5	3	25	106	3	73	—	9	10	
	42	181	2	2	3	23	104	1	31	—	9	6	
	43	182	—	1	8	12	129	2	15	1	7	5	
11	44	142	4	7	4	10	81	4	14	—	8	4	
	45	134	—	2	7	5	92	4	14	—	6	1	
	46	164	3	6	5	8	121	3	9	—	6	1	
	47	165	3	3	4	10	115	4	16	—	5	2	
12	48	208	5	—	7	5	167	5	8	—	6	2	
	49	221	5	—	8	11	172	4	9	—	8	2	
	50	286	13	—	6	7	232	4	6	1	12	1	
	51	295	23	3	7	6	235	—	7	2	8	1	
	52	270	52	2	10	8	183	2	5	—	8	—	
計		15,921	172	2,547	370	811	8,361	116	2,396	19	475	510	

週	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（オウム病を除く。）	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）
1	2	—	2	—	—	—	—	—
2	3	—	1	—	1	—	—	—
3	2	—	2	—	—	—	—	—
4	1	—	1	—	—	—	—	—
5	2	—	1	—	—	—	—	—
6	—	—	3	—	—	—	—	—
7	—	—	2	—	—	—	—	—
8	2	—	—	—	—	—	—	—
9	2	—	2	—	—	—	—	—
10	2	—	1	—	—	—	—	—
11	2	—	2	—	—	—	—	—
12	1	—	—	—	—	—	—	—
13	—	—	1	—	—	—	—	—
14	—	—	1	—	—	—	—	—
15	1	1	1	—	—	—	—	—
16	2	—	—	—	—	—	—	—
17	—	—	2	—	—	—	—	—
18	2	—	5	—	—	—	—	—
19	—	—	3	1	—	—	—	—
20	2	—	2	—	—	—	—	—
21	3	—	1	1	—	—	—	—
22	2	—	1	—	—	—	—	—
23	1	—	—	—	—	—	—	—
24	3	—	—	—	—	—	—	—
25	2	—	—	—	—	—	—	—
26	2	—	1	—	—	—	—	—
27	2	—	1	—	—	—	—	—
28	2	—	1	—	—	—	—	—
29	—	—	1	—	—	—	—	—
30	—	—	2	—	—	—	—	—
31	1	—	—	—	—	—	—	—
32	—	—	—	—	—	—	—	—
33	2	—	—	—	—	—	—	—
34	—	—	2	—	—	—	—	—
35	3	—	1	—	—	—	—	—
36	1	—	1	—	—	—	—	—
37	2	—	—	—	—	—	—	—
38	10	—	—	—	—	—	—	—
39	3	—	—	—	—	—	—	—
40	2	—	—	—	—	—	—	—
41	1	—	—	—	—	—	—	—
42	—	—	—	—	—	—	—	—
43	2	—	—	—	—	—	—	—
44	4	—	2	—	—	—	—	—
45	3	—	—	—	—	—	—	—
46	—	—	2	—	—	—	—	—
47	3	—	—	—	—	—	—	—
48	2	—	1	—	—	—	—	—
49	—	—	2	—	—	—	—	—
50	2	—	2	—	—	—	—	—
51	2	—	1	—	—	—	—	—
52	—	—	—	—	—	—	—	—
計	86	1	54	2	1	—	—	—

表2-1 週報対象疾病(インフルエンザ・小児科定点)年齢階層別患者発生状況(令和4年・名古屋市)

年齢階級	疾病名	疾病名									
	インフルエンザ等感染症を除く(及びヘルパンギーナ)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
－5ヶ月	－	212	7	1	77	3	32	－	4	－	－
－11ヶ月	4	288	36	9	449	6	205	－	129	36	－
1歳	8	723	133	107	1,212	18	883	5	242	135	1
2	10	556	88	192	1,054	6	685	1	50	132	11
3	11	435	61	143	987	4	325	6	31	93	13
4	4	190	21	94	774	7	121	2	14	54	8
5	11	102	12	63	606	11	57	1	2	24	15
6	5	24	6	42	388	17	17	－	1	12	11
7	4	4	1	31	299	6	13	1	1	9	5
8	4	3	1	25	225	7	9	2	－	7	10
9	3	1	－	22	174	6	5	－	1	4	5
10-14	7	2	1	35	463	19	11	－	－	3	6
15-19	17	3	1	3	195	－	2	－	－	－	1
20-29	42	4	2	44	1,458	6	31	1	－	1	－
30-39	16	合計 2,547 370 811 8,361 116 2,396 19 475 510 86									
40-49	8										
50-59	8										
60-69	6										
70-79	2										
80歳以上	2										
計	172										

表2-2 週報対象疾病(眼科・基幹定点)年齢階層別患者発生状況(令和4年・名古屋市)

年齢階層	疾病名		年齢階層	疾病名					
	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア(オウム病を除く)	原感染性胃腸炎(スルペル病)	
－5ヶ月	－	－	0歳	1	－	－	－	－	－
－11ヶ月	－	－	1-4	－	－	－	－	－	－
1歳	－	－	5-9	－	－	－	－	－	－
2	－	－	10-14	－	－	－	－	－	－
3	－	－	15-19	－	－	－	－	－	－
4	－	－	20-24	－	－	－	－	－	－
5	－	1	25-29	－	－	－	－	－	－
6	－	1	30-34	－	－	－	－	－	－
7	－	－	35-39	－	－	－	－	－	－
8	－	1	40-44	－	－	－	－	－	－
9	－	－	45-49	－	－	－	－	－	－
10-14	－	－	50-54	1	－	－	－	－	－
15-19	－	1	55-59	－	1	－	－	－	－
20-29	1	7	60-64	－	－	－	－	－	－
30-39	－	12	65-69	－	－	－	－	－	－
40-49	－	15	70歳以上	－	－	－	－	－	－
50-59	－	7	合計	2	1	－	－	－	－
60-69	－	2							
70歳以上	－	7							
合計	1	54							

表3 月報対象疾病月別患者発生状況(令和4年・名古屋市)

○性感染症定点

月	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペスウイルス 感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	合計
1	89	30	24	55	198
2	82	26	14	39	161
3	106	29	19	65	219
4	94	38	26	58	216
5	113	32	21	59	225
6	98	26	21	69	214
7	112	36	28	41	217
8	108	32	28	50	218
9	118	31	23	41	213
10	121	25	25	77	248
11	103	22	38	64	227
12	109	38	23	49	219
合計	1,253	365	290	667	2,575

○基幹定点

月	黄色ブドウ球菌 メチシリン耐性 感染症	肺炎球菌 ペニシリン耐性 感染症	薬剤耐性緑膿菌 感染症	合計
1	6	—	—	6
2	1	—	—	1
3	3	—	—	3
4	4	—	—	4
5	4	2	—	6
6	3	—	—	3
7	4	—	—	4
8	1	1	—	2
9	7	—	1	8
10	—	—	—	—
11	—	—	—	—
12	—	—	—	—
合計	33	3	1	37

表4-1 月報対象疾病(性感染症定点)月別・年齢階層別患者発生状況(令和4年・名古屋市)

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
性器クラミジア感染症	1	—	—	—	—	5	24	20	11	15	5	6	—	2	—	—	1	89
	2	—	—	—	—	5	31	16	9	5	8	4	1	1	—	2	—	82
	3	—	—	—	—	4	31	30	13	7	7	6	3	5	—	—	—	106
	4	—	—	—	—	4	29	23	12	11	7	5	3	—	—	—	—	94
	5	—	—	—	—	1	38	20	17	16	9	6	4	1	1	—	—	113
	6	—	—	—	—	5	20	23	17	15	6	7	2	1	1	1	—	98
	7	—	—	—	—	4	30	35	16	7	7	6	4	—	2	1	—	112
	8	—	—	—	—	5	34	27	12	10	7	7	5	1	—	—	—	108
	9	—	—	—	—	5	33	33	13	15	7	5	1	3	2	—	1	118
	10	—	—	—	—	8	33	30	17	10	8	6	4	3	1	1	—	121
	11	—	—	—	—	5	27	22	15	13	5	4	6	4	2	—	—	103
	12	—	—	—	—	6	34	31	8	14	4	5	5	2	—	—	—	109
	合計	—	—	—	—	57	364	310	160	138	80	67	38	23	9	5	2	1253

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
性器ヘルペスウイルス感染症	1	—	—	—	—	—	6	8	3	4	—	4	1	2	—	1	1	30
	2	—	—	—	—	1	6	5	5	2	2	1	1	1	—	1	1	26
	3	—	—	—	—	—	7	5	3	5	3	4	2	—	—	—	—	29
	4	—	—	—	—	—	11	6	5	4	2	2	4	1	—	1	2	38
	5	—	—	—	—	—	7	5	7	3	2	3	1	2	1	1	—	32
	6	—	—	—	—	—	4	6	—	3	2	2	2	4	2	1	—	26
	7	—	—	—	—	—	4	5	6	2	3	2	7	1	2	1	3	36
	8	—	—	—	—	1	6	2	8	3	5	1	1	2	1	1	1	32
	9	—	—	—	—	1	6	7	4	1	4	1	4	1	—	1	1	31
	10	—	—	—	—	—	2	4	2	3	4	1	3	4	2	—	—	25
	11	—	—	—	—	1	3	4	1	—	1	4	3	2	2	1	—	22
	12	—	—	—	—	1	4	7	5	2	4	6	2	1	2	2	2	38
	合計	—	—	—	—	5	66	64	49	32	32	31	31	21	12	11	11	365

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
尖圭コンジローマ	1	—	—	—	—	1	3	6	2	4	1	1	2	2	1	1	—	24
	2	—	—	—	—	—	3	7	1	—	2	—	—	—	—	1	—	14
	3	—	—	—	—	—	5	2	1	1	3	1	3	1	1	—	1	19
	4	—	—	—	—	—	6	7	4	2	3	1	2	1	—	—	—	26
	5	—	—	—	—	1	2	4	6	3	2	1	1	1	—	—	—	21
	6	—	—	—	—	—	3	4	2	4	2	2	3	—	1	—	—	21
	7	—	—	—	—	—	4	7	5	4	5	2	—	1	—	—	—	28
	8	—	—	—	—	3	8	3	2	—	2	2	4	1	1	—	2	28
	9	—	—	—	—	1	4	6	4	1	2	2	2	1	—	—	—	23
	10	—	—	—	—	—	5	2	2	4	2	4	3	2	—	—	1	25
	11	—	—	—	—	—	4	6	6	5	2	4	6	1	2	1	1	38
	12	—	—	—	—	—	5	3	3	1	2	1	4	1	3	—	—	23
	合計	—	—	—	—	6	52	57	38	29	28	21	30	12	9	3	5	290

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
淋菌感染症	1	—	—	—	—	3	15	10	13	5	3	3	—	2	—	1	—	55
	2	—	—	—	—	1	15	11	3	4	2	2	—	1	—	—	—	39
	3	—	—	—	—	5	16	13	10	4	6	3	5	2	1	—	—	65
	4	—	—	—	—	2	17	13	4	9	5	6	1	1	—	—	—	58
	5	—	—	—	—	2	26	5	6	8	5	3	2	1	1	—	—	59
	6	—	—	—	—	4	16	15	5	16	4	4	2	3	—	—	—	69
	7	—	—	—	—	1	19	6	1	3	3	3	1	3	—	1	—	41
	8	—	—	—	—	3	15	10	6	2	4	4	5	1	—	—	—	50
	9	—	—	—	—	2	8	14	5	6	1	4	—	1	—	—	—	41
	10	—	—	—	—	3	20	12	6	12	5	4	6	5	2	2	—	77
	11	—	—	—	—	3	18	12	4	8	7	—	4	4	3	—	1	64
	12	—	—	—	—	1	12	17	6	4	1	1	3	3	1	—	—	49
	合計	—	—	—	—	30	197	138	69	81	46	37	29	27	8	4	1	667

表4-2 月報対象疾病(基幹定点)月別・年齢階層別患者発生状況(令和4年・名古屋市)

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	5
	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	2
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	2	3
	4	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	4
	5	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—	1	4
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	1	3
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	4
	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
	9	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	5	7
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	6	—	—	1	—	—	—	—	2	1	—	—	2	—	2	19	33

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
薬剤耐性緑膿菌感染症	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1

表5-1 月報対象疾病(性感染症定点)月別・年齢階層別患者発生状況(男性)(令和4年・名古屋市)

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
性器クラミジア感染症	1	—	—	—	—	3	15	16	10	13	5	5	—	2	—	—	1	70
	2	—	—	—	—	4	20	13	7	4	7	3	1	1	—	2	—	62
	3	—	—	—	—	2	18	22	10	5	6	6	3	5	—	—	—	77
	4	—	—	—	—	4	21	12	12	9	7	4	2	—	—	—	—	71
	5	—	—	—	—	1	29	15	17	15	9	5	4	1	1	—	—	97
	6	—	—	—	—	4	12	16	14	13	6	6	2	1	1	1	—	76
	7	—	—	—	—	3	26	29	13	6	7	5	4	—	2	1	—	96
	8	—	—	—	—	3	25	18	12	9	7	7	4	1	—	—	—	86
	9	—	—	—	—	2	21	25	9	12	7	5	1	3	2	—	1	88
	10	—	—	—	—	4	23	21	15	8	6	6	4	3	1	1	—	92
	11	—	—	—	—	4	19	16	13	11	5	4	6	4	2	—	—	84
	12	—	—	—	—	3	25	23	6	13	3	5	5	2	—	—	—	85
	合計	—	—	—	—	37	254	226	138	118	75	61	36	23	9	5	2	984

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
性器ヘルペスウイルス感染症	1	—	—	—	—	—	1	6	2	2	—	3	—	1	—	1	1	17
	2	—	—	—	—	—	4	5	1	1	2	—	1	—	—	1	1	16
	3	—	—	—	—	—	3	2	3	1	1	4	1	—	—	—	—	15
	4	—	—	—	—	—	6	2	4	1	1	1	2	—	—	1	—	18
	5	—	—	—	—	—	5	4	4	2	2	2	—	2	1	1	—	23
	6	—	—	—	—	—	1	3	—	1	—	1	1	2	1	1	—	11
	7	—	—	—	—	—	2	4	5	2	—	2	3	1	1	1	1	22
	8	—	—	—	—	—	2	—	5	2	3	1	—	2	—	1	1	17
	9	—	—	—	—	—	5	2	2	1	3	—	3	—	—	—	1	17
	10	—	—	—	—	—	1	2	2	2	4	—	1	2	2	—	—	16
	11	—	—	—	—	—	3	2	1	—	1	2	1	—	2	1	—	13
	12	—	—	—	—	1	2	5	2	1	3	3	2	—	2	2	—	23
	合計	—	—	—	—	1	35	37	31	16	20	19	15	10	9	10	5	208

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
尖圭コンジローマ	1	—	—	—	—	—	2	3	2	4	1	1	2	2	1	1	—	19
	2	—	—	—	—	—	2	7	1	—	2	—	—	—	—	1	—	13
	3	—	—	—	—	—	2	2	1	1	3	1	2	1	1	—	1	15
	4	—	—	—	—	—	5	4	2	2	3	1	2	1	—	—	—	20
	5	—	—	—	—	—	1	3	6	3	2	1	1	1	—	—	—	18
	6	—	—	—	—	—	3	3	2	4	2	2	2	—	1	—	—	19
	7	—	—	—	—	—	4	5	4	4	5	2	—	1	—	—	—	25
	8	—	—	—	—	—	7	3	2	—	2	2	4	1	1	—	2	24
	9	—	—	—	—	—	4	5	4	1	2	2	2	1	—	—	—	21
	10	—	—	—	—	—	1	2	2	4	1	4	3	2	—	—	1	20
	11	—	—	—	—	—	1	6	6	5	2	4	6	1	2	1	1	35
	12	—	—	—	—	—	3	2	3	1	1	1	4	1	3	—	—	19
	合計	—	—	—	—	—	35	45	35	29	26	21	28	12	9	3	5	248

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
淋菌感染症	1	—	—	—	—	2	13	9	13	4	3	3	—	2	—	1	—	50
	2	—	—	—	—	1	14	10	2	4	2	2	—	1	—	—	—	36
	3	—	—	—	—	3	13	13	10	4	6	3	5	2	1	—	—	60
	4	—	—	—	—	2	16	11	3	9	5	6	1	1	—	—	—	54
	5	—	—	—	—	2	24	5	5	8	5	3	2	1	1	—	—	56
	6	—	—	—	—	2	14	14	5	16	4	4	1	3	—	—	—	63
	7	—	—	—	—	1	19	6	1	3	3	3	1	3	—	1	—	41
	8	—	—	—	—	1	13	10	6	2	4	4	5	1	—	—	—	46
	9	—	—	—	—	2	8	13	5	6	1	4	—	1	—	—	—	40
	10	—	—	—	—	3	19	11	6	12	5	4	6	5	2	2	—	75
	11	—	—	—	—	2	16	11	3	7	5	—	4	4	3	—	1	56
	12	—	—	—	—	—	12	17	5	4	1	1	3	3	1	—	—	47
	合計	—	—	—	—	21	181	130	64	79	44	37	28	27	8	4	1	624

表5-2 月報対象疾病(性感染症定点)月別・年齢階層別患者発生状況(女性)(令和4年・名古屋市)

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
性器クラミジア感染症	1	—	—	—	—	2	9	4	1	2	—	1	—	—	—	—	—	19
	2	—	—	—	—	1	11	3	2	1	1	1	—	—	—	—	—	20
	3	—	—	—	—	2	13	8	3	2	1	—	—	—	—	—	—	29
	4	—	—	—	—	—	8	11	—	2	—	1	1	—	—	—	—	23
	5	—	—	—	—	—	9	5	—	1	—	1	—	—	—	—	—	16
	6	—	—	—	—	1	8	7	3	2	—	1	—	—	—	—	—	22
	7	—	—	—	—	1	4	6	3	1	—	1	—	—	—	—	—	16
	8	—	—	—	—	2	9	9	—	1	—	—	1	—	—	—	—	22
	9	—	—	—	—	3	12	8	4	3	—	—	—	—	—	—	—	30
	10	—	—	—	—	4	10	9	2	2	2	—	—	—	—	—	—	29
	11	—	—	—	—	1	8	6	2	2	—	—	—	—	—	—	—	19
	12	—	—	—	—	3	9	8	2	1	1	—	—	—	—	—	—	24
	合計	—	—	—	—	20	110	84	22	20	5	6	2	—	—	—	—	269

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
性器ヘルペスウイルス感染症	1	—	—	—	—	—	5	2	1	2	—	1	1	1	—	—	—	13
	2	—	—	—	—	1	2	—	4	1	—	1	—	1	—	—	—	10
	3	—	—	—	—	—	4	3	—	4	2	—	1	—	—	—	—	14
	4	—	—	—	—	—	5	4	1	3	1	1	2	1	—	—	2	20
	5	—	—	—	—	—	2	1	3	1	—	1	1	—	—	—	—	9
	6	—	—	—	—	—	3	3	—	2	2	1	1	2	1	—	—	15
	7	—	—	—	—	—	2	1	1	—	3	—	4	—	1	—	2	14
	8	—	—	—	—	1	4	2	3	1	2	—	1	—	1	—	—	15
	9	—	—	—	—	1	1	5	2	—	1	1	1	1	—	1	—	14
	10	—	—	—	—	—	1	2	—	1	—	1	2	2	—	—	—	9
	11	—	—	—	—	1	—	2	—	—	—	2	2	2	—	—	—	9
	12	—	—	—	—	—	2	2	3	1	1	3	—	1	—	—	2	15
	合計	—	—	—	—	4	31	27	18	16	12	12	16	11	3	1	6	157

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
尖圭コンジローマ	1	—	—	—	—	1	1	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	3	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	4
	4	—	—	—	—	—	1	3	2	—	—	—	—	—	—	—	—	6
	5	—	—	—	—	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	6	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	2
	7	—	—	—	—	—	—	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	8	—	—	—	—	3	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
	9	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	10	—	—	—	—	—	4	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	5
	11	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	12	—	—	—	—	—	2	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	4
	合計	—	—	—	—	6	17	12	3	—	2	—	2	—	—	—	—	42

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
淋菌感染症	1	—	—	—	—	1	2	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	5
	2	—	—	—	—	—	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	3	—	—	—	—	2	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
	4	—	—	—	—	—	1	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	4
	5	—	—	—	—	—	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	6	—	—	—	—	2	2	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	6
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	—	—	—	—	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
	9	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	10	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	11	—	—	—	—	1	2	1	1	1	2	—	—	—	—	—	—	8
	12	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	合計	—	—	—	—	9	16	8	5	2	2	—	1	—	—	—	—	43

表5-3 月報対象疾病(基幹定点)月別・年齢階層別患者発生状況 (令和4年・名古屋市)

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 感染症(男性)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3
	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	2
	4	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3
	5	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	1	3
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3
	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	2	—	—	1	—	—	—	—	2	1	—	—	—	—	1	12	19

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 感染症(女性)	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	3
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
	5	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	3
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
	9	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	2	4
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	1	7	14

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
ペニシリン耐性肺炎球菌 感染症(男性)	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
ペニシリン耐性肺炎球菌 感染症(女性)	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
薬剤耐性緑膿菌 感染症（男性）	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1

疾病名	月	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳以上	合計
薬剤耐性緑膿菌 感染症（女性）	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表6 週報対象疾病区別・週別患者発生状況（インフルエンザ・令和4年・名古屋市）

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		172	15	18	1	26	16	34	6	4	—	6	3	14	4	16	5	4
1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	2	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	14	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	27	3	—	—	—	—	—	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	28	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	29	2	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	30	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
8	31	6	—	—	—	—	2	2	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—
	32	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	33	13	—	—	—	4	—	5	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—
	34	3	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
9	35	9	—	—	—	2	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	36	5	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	37	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	38	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	39	2	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	41	4	—	—	—	1	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	42	2	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	43	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	44	4	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	45	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	46	3	—	—	—	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	47	3	—	—	—	—	2	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
12	48	5	2	—	—	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	49	5	—	—	—	2	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50	13	2	—	—	2	1	1	—	—	—	—	1	4	—	—	2	—
	51	23	5	10	1	1	2	2	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
	52	52	4	7	—	2	2	1	5	2	—	3	2	7	2	12	3	—

表7 週報対象疾病区別・週別患者発生状況（RSウイルス感染症・令和4年・名古屋市）

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		2,547	156	64	247	750	176	177	3	2	3	188	17	163	134	98	319	50
1	1	5	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	2	7	—	1	—	—	—	3	—	—	—	1	—	2	—	—	—	—
	3	22	—	—	1	—	7	6	—	—	—	3	—	5	—	—	—	—
	4	10	—	1	—	2	—	1	—	—	3	2	—	1	—	—	—	—
2	5	7	1	—	—	1	—	3	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—
	6	5	—	—	—	3	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	7	5	—	—	—	4	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	8	8	—	—	—	5	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	9	5	—	—	—	2	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	11	5	—	—	3	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	5	—	—	1	1	1	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—
	13	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	14	8	—	—	—	4	2	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
	15	5	—	—	—	2	2	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	16	14	2	1	—	6	1	—	—	—	—	2	—	1	—	—	1	—
	17	19	—	—	—	4	3	1	—	—	—	4	—	5	—	—	2	—
5	18	15	1	1	—	3	2	—	—	—	—	2	—	1	—	1	4	—
	19	22	—	1	—	4	3	—	—	—	—	6	—	3	3	—	2	—
	20	42	2	1	1	6	2	6	—	—	—	3	—	2	15	—	4	—
	21	26	3	—	—	11	3	2	—	—	—	2	—	1	1	—	3	—
6	22	56	5	2	1	16	4	4	—	—	—	2	—	1	13	1	7	—
	23	63	2	1	—	26	2	6	—	—	—	—	—	2	8	4	12	—
	24	88	3	4	5	40	7	2	—	—	—	1	1	2	12	—	9	2
	25	149	7	5	8	57	7	3	—	—	—	19	—	9	6	—	28	—
	26	251	12	5	20	94	18	11	—	—	—	22	1	9	8	5	42	4
7	27	289	8	6	26	116	21	6	—	—	—	27	8	10	9	9	38	5
	28	438	17	13	41	129	27	20	2	1	—	27	3	41	16	25	60	16
	29	297	16	11	48	84	14	17	1	1	—	31	—	22	7	2	38	5
	30	243	21	5	36	45	24	19	—	—	—	11	1	11	5	22	39	4
8	31	142	19	2	22	30	10	7	—	—	—	9	1	8	2	9	15	8
	32	76	11	1	15	10	1	5	—	—	—	4	2	10	4	7	5	1
	33	51	10	1	7	16	—	5	—	—	—	1	—	6	2	3	—	—
	34	30	4	—	4	5	—	7	—	—	—	1	—	1	4	1	2	1
9	35	27	2	—	5	4	1	8	—	—	—	1	—	—	4	2	—	—
	36	28	3	—	1	5	—	5	—	—	—	1	—	6	2	3	2	—
	37	27	—	1	—	3	1	12	—	—	—	1	—	2	1	2	4	—
	38	13	3	—	1	1	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
	39	4	—	1	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
10	40	5	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	41	5	—	—	—	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	42	2	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	43	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	44	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	—	—	—
	45	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	46	6	1	—	—	3	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	47	3	—	—	—	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
12	48	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	49	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	51	3	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	52	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—

表8 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(咽頭結膜熱・令和4年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		370	20	9	18	169	—	27	—	—	—	50	5	31	7	2	26	6
1	1	11	—	—	—	1	—	—	—	—	—	4	—	6	—	—	—	—
	2	9	—	1	—	—	—	4	—	—	—	1	—	1	—	—	2	—
	3	6	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	3	—	—	1	—
	4	8	—	—	—	1	—	1	—	—	—	1	—	3	—	—	2	—
2	5	3	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	5	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	7	7	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	4	—
	8	3	—	—	—	1	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
3	9	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	10	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	11	3	—	—	—	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	13	4	—	1	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—
4	14	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	15	5	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
	16	6	—	1	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	1	—
	17	4	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
5	18	5	—	—	—	3	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—
	19	11	1	1	—	3	—	2	—	—	—	3	—	—	1	—	—	—
	20	11	1	—	1	3	—	—	—	—	—	3	—	1	—	—	2	—
	21	14	2	1	2	2	—	1	—	—	—	1	—	5	—	—	—	—
6	22	22	3	—	6	8	—	2	—	—	—	1	—	2	—	—	—	—
	23	14	3	—	2	3	—	—	—	—	—	6	—	—	—	—	—	—
	24	20	2	1	1	9	—	1	—	—	—	3	—	1	1	1	—	—
	25	15	3	1	1	7	—	1	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
	26	11	—	—	1	3	—	4	—	—	—	1	—	—	1	—	1	—
7	27	20	1	—	1	9	—	2	—	—	—	5	—	—	1	—	1	—
	28	18	—	1	—	8	—	2	—	—	—	5	—	2	—	—	—	—
	29	9	—	—	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	30	6	—	—	1	1	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	2
8	31	9	—	—	—	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	32	10	—	—	1	7	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—
	33	7	—	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	34	4	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	1
9	35	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	36	2	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	37	4	—	—	—	3	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	38	2	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	39	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	40	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	41	3	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	42	3	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1
	43	8	1	—	—	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	44	4	1	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	45	7	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—
	46	5	1	—	—	2	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	47	4	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
12	48	7	1	—	—	3	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—
	49	8	—	—	—	7	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50	6	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—
	51	7	—	—	—	6	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	52	10	—	—	—	7	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	1	—

表9 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・令和4年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		811	15	4	8	630	25	5	9	—	1	26	11	9	1	19	30	18
1	1	15	—	—	—	11	—	1	—	—	—	2	—	—	—	1	—	—
	2	20	1	—	1	11	—	—	6	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	3	18	—	—	—	18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	20	—	—	—	19	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
2	5	18	1	—	—	15	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
	6	25	—	—	—	24	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	12	1	—	—	8	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	1
	8	9	2	—	—	4	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
3	9	11	1	—	1	5	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
	10	6	—	—	—	5	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	11	30	—	—	—	19	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	9	—
	12	11	—	—	—	8	1	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—
	13	9	1	—	—	5	1	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—
4	14	11	—	—	—	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	15	24	—	—	—	19	2	—	—	—	—	1	—	—	1	1	—	—
	16	12	—	—	—	10	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	17	26	—	1	—	15	—	—	2	—	—	—	—	—	—	7	—	1
5	18	17	2	—	2	9	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	19	6	1	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	20	21	—	—	—	20	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	21	12	—	—	—	9	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1
6	22	8	—	—	—	4	1	—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	—
	23	11	—	—	—	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24	21	—	1	—	18	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	25	24	—	1	—	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	—
	26	14	—	—	1	11	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—
7	27	17	—	—	—	15	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	28	24	—	—	—	21	1	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—
	29	21	—	—	—	17	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	2
	30	14	—	—	—	12	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—
8	31	28	—	—	—	26	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
	32	19	—	—	—	19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	33	9	—	—	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	34	15	—	—	—	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	35	25	—	—	—	19	1	—	—	—	1	2	—	—	—	1	1	—
	36	23	—	—	2	18	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	1	—
	37	30	—	—	—	29	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	38	13	—	—	—	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	39	17	—	—	—	14	—	1	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—
10	40	15	—	—	—	11	—	—	—	—	—	—	1	—	—	2	—	1
	41	25	—	—	—	23	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	42	23	—	—	—	20	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	1	—
	43	12	—	—	—	8	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
11	44	10	—	—	—	6	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	2	—
	45	5	2	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	46	8	1	—	1	3	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
	47	10	—	1	—	7	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
12	48	5	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	49	11	—	—	—	8	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	1
	50	7	—	—	—	2	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	2
	51	6	1	—	—	3	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	52	8	1	—	—	3	—	—	—	—	—	2	—	1	—	—	—	1

表10 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(感染性胃腸炎・令和4年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		8,361	707	120	481	1,187	554	951	216	—	2	963	528	261	574	829	524	464
1	1	182	13	1	15	25	7	23	4	—	—	16	15	5	18	21	5	14
	2	251	15	5	18	61	8	18	4	—	—	40	7	6	16	26	13	14
	3	333	34	5	29	42	12	35	11	—	—	46	17	5	34	27	23	13
	4	238	26	3	13	36	14	33	6	—	—	27	3	6	15	28	21	7
2	5	204	20	1	17	38	7	14	2	—	—	18	3	18	20	19	20	7
	6	145	7	2	5	9	7	10	3	—	—	16	11	11	26	16	13	9
	7	187	10	2	16	24	7	15	4	—	—	19	15	6	24	21	15	9
	8	112	5	1	2	15	11	7	3	—	—	11	6	6	9	11	19	6
3	9	143	6	3	7	22	3	8	3	—	—	22	15	4	11	15	17	7
	10	147	10	1	3	36	4	8	3	—	—	15	14	10	7	12	16	8
	11	172	17	3	13	23	11	16	1	—	—	28	9	6	8	13	17	7
	12	148	23	—	5	24	11	6	4	—	—	11	9	5	3	14	21	12
	13	160	19	—	9	24	9	10	6	—	—	10	16	9	7	15	16	10
4	14	144	13	1	10	24	7	8	3	—	—	12	13	5	8	16	16	8
	15	155	9	4	5	27	11	5	6	—	—	18	11	7	5	17	17	13
	16	152	16	1	12	37	5	9	2	—	—	21	10	4	7	6	9	13
	17	134	10	3	6	21	13	15	3	—	—	16	18	5	5	3	9	7
5	18	109	6	—	5	23	11	9	1	—	—	25	8	1	7	6	2	5
	19	177	5	4	11	27	20	25	5	—	—	23	9	3	11	12	14	8
	20	231	9	3	28	47	19	17	2	—	—	32	10	4	11	24	11	14
	21	216	24	6	20	24	11	22	9	—	—	26	10	4	15	25	15	5
6	22	239	26	5	16	30	9	29	1	—	—	28	14	7	20	20	20	14
	23	263	22	7	16	34	18	41	8	—	—	30	13	8	20	19	18	9
	24	228	5	7	9	36	13	31	6	—	—	30	23	7	19	17	13	12
	25	240	24	1	15	34	15	35	4	—	—	43	21	6	16	20	2	4
	26	235	15	—	10	44	23	28	7	—	1	26	12	8	17	20	15	9
7	27	246	24	7	11	27	16	18	9	—	—	35	28	9	17	17	7	21
	28	208	26	5	15	41	15	28	3	—	—	18	6	5	7	21	8	10
	29	152	12	2	10	27	9	10	10	—	—	17	7	5	17	13	1	12
	30	147	19	1	9	13	17	15	4	—	—	10	13	3	8	24	3	8
8	31	112	10	1	11	14	5	15	5	—	—	11	9	4	6	7	3	11
	32	66	4	—	7	7	8	3	2	—	—	20	—	—	—	11	2	2
	33	65	3	2	5	3	8	8	4	—	—	2	11	2	4	6	4	3
	34	101	8	—	10	5	5	8	4	—	—	12	16	—	2	19	5	7
9	35	112	11	—	4	12	15	19	5	—	—	7	8	—	5	13	—	13
	36	85	6	5	—	7	5	14	3	—	—	5	2	4	7	19	—	8
	37	99	5	—	7	4	11	21	5	—	—	2	12	3	3	12	5	9
	38	63	4	3	3	1	8	6	3	—	—	4	6	4	5	12	1	3
	39	122	9	2	7	6	13	17	1	—	—	9	17	2	9	16	1	13
10	40	101	2	3	4	9	6	24	1	—	—	13	13	1	5	16	1	3
	41	106	7	4	3	19	8	8	8	—	—	10	4	3	9	16	3	4
	42	104	7	—	2	8	6	22	2	—	—	12	9	5	8	16	3	4
	43	129	11	—	7	7	12	27	3	—	1	15	8	—	8	17	6	7
11	44	81	9	—	6	7	7	16	3	—	—	8	2	2	—	10	4	7
	45	92	12	1	3	5	11	19	4	—	—	7	4	2	4	9	7	4
	46	121	11	2	5	12	8	28	1	—	—	9	5	2	9	11	6	12
	47	115	5	1	7	10	13	24	3	—	—	14	3	5	6	11	6	7
12	48	167	32	1	4	17	9	22	5	—	—	20	8	8	4	16	13	8
	49	172	19	1	6	24	8	25	1	—	—	18	2	8	11	19	23	7
	50	232	23	1	4	33	21	25	7	—	—	31	10	4	21	24	14	14
	51	235	28	3	9	50	14	22	4	—	—	21	6	5	27	16	15	15
	52	183	11	6	7	32	10	30	5	—	—	24	7	9	13	15	6	8

表11 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(水痘・令和4年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		116	12	6	12	22	6	6	1	1	1	6	6	8	7	9	8	5
1	1	2	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—
	3	4	—	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	4	3	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	2	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	13	2	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	14	3	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	15	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	16	2	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	17	3	—	—	1	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
5	18	5	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	1	—
	19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20	2	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	22	7	1	—	—	—	1	1	—	—	—	—	1	2	—	—	1	—
	23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24	3	—	—	—	1	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25	5	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	2	—	1	—	1
	26	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1
7	27	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	28	3	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	30	4	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	2	—	—
8	31	5	2	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	32	3	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—
	33	4	1	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	34	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	35	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	36	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	37	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	38	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	39	6	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	2	—	2	—	—
10	40	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	41	3	—	—	—	1	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	42	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	43	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
11	44	4	—	2	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	45	4	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	46	3	—	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	47	4	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
12	48	5	1	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—
	49	4	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	1
	50	4	—	—	1	1	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—
	51	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	52	2	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—

表12 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(手足口病・令和4年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		2,396	331	113	122	459	59	198	12	3	8	272	30	56	245	156	236	96
1	1	9	3	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	2	2	—	—
	2	10	2	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	6	—
	3	4	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	1	—
	4	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	1	—
2	5	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	6	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	7	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—
	8	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	9	3	—	—	1	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	11	6	—	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	13	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
4	14	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	15	2	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	16	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—
	17	3	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
5	18	2	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	19	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	21	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1	—	—
6	22	4	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	2	—	—	—
	23	7	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	1	—	—
	24	7	4	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	2	—	—	—
	25	7	2	1	—	—	—	3	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	26	8	2	—	—	—	—	2	—	—	—	2	—	—	2	—	—	—
7	27	30	9	—	2	1	—	9	—	—	—	3	2	2	1	1	—	—
	28	50	12	—	1	2	—	12	2	—	—	9	1	1	8	1	1	—
	29	104	25	7	1	15	1	14	—	—	—	18	—	6	8	1	8	—
	30	132	19	6	2	12	2	21	—	—	4	23	1	5	14	3	17	3
8	31	176	29	7	2	24	2	12	1	—	1	35	1	9	19	13	10	11
	32	175	33	3	6	53	2	7	—	—	—	23	1	—	15	3	23	6
	33	209	24	5	9	65	4	19	—	—	—	11	7	4	20	21	11	9
	34	193	37	11	6	38	5	8	2	—	—	25	—	5	13	7	19	17
9	35	227	22	12	6	46	8	18	—	—	—	28	7	3	21	25	22	9
	36	202	27	5	7	41	9	12	3	1	—	24	1	1	25	13	18	15
	37	220	21	13	18	45	16	12	1	—	—	17	2	8	21	12	24	10
	38	137	12	4	11	24	—	13	—	1	1	13	3	2	17	17	17	2
	39	138	12	8	13	24	2	7	—	—	—	11	3	4	15	15	23	1
10	40	106	14	9	19	16	2	7	1	—	—	7	—	2	16	2	8	3
	41	73	7	6	9	18	—	—	2	—	—	1	—	2	12	5	5	6
	42	31	6	3	3	10	—	3	—	1	1	1	—	—	—	1	1	1
	43	15	1	1	2	5	—	2	—	—	—	—	—	—	—	2	2	—
11	44	14	1	3	1	2	—	2	—	—	—	1	—	—	—	1	3	—
	45	14	2	2	—	1	1	4	—	—	—	1	—	1	1	—	1	—
	46	9	—	1	3	1	—	3	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	47	16	1	2	—	—	—	1	—	—	1	—	1	—	—	1	9	—
12	48	8	2	—	—	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—
	49	9	1	1	—	—	1	—	—	—	—	2	—	—	—	2	1	1
	50	6	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	2	—	2
	51	7	—	1	—	3	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—
	52	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	3	—

表13 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(伝染性紅斑・令和4年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		19	—	2	—	5	—	2	—	—	—	1	—	1	1	5	1	1
1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	5	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	9	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	14	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	15	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	16	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	17	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
5	18	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	19	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	21	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	29	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	31	2	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	32	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	33	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	34	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	35	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	36	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	37	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	38	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	39	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	41	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	42	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	43	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
11	44	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	45	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	46	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	47	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	48	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	49	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	51	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	52	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表14 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(突発性発しん・令和4年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		475	55	34	18	99	6	37	—	1	2	27	9	13	47	71	39	17
1	1	12	—	1	—	3	—	—	—	—	—	1	—	—	2	2	—	3
	2	14	—	—	—	6	—	—	—	—	—	2	—	—	2	2	1	1
	3	11	—	2	1	2	—	2	—	—	—	1	—	1	1	1	—	—
	4	12	—	1	—	4	—	2	—	—	—	1	—	—	1	2	1	—
2	5	9	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	2	2	—	—
	6	6	—	—	—	1	—	—	—	—	—	2	—	—	2	1	—	—
	7	3	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—
	8	6	—	—	—	3	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—
3	9	3	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—
	10	4	—	—	—	1	—	2	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	11	8	1	—	—	3	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1
	12	7	—	—	—	1	—	—	—	—	—	2	—	—	1	3	—	—
	13	7	1	—	—	—	—	2	—	—	1	1	—	1	—	1	—	—
4	14	12	—	1	—	5	—	2	—	—	—	—	—	1	2	1	—	—
	15	6	2	—	—	1	—	1	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—
	16	9	—	2	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	3	1	1	—
	17	8	1	2	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	2	1	—	—
5	18	9	—	—	2	2	—	1	—	—	—	—	—	—	1	1	2	—
	19	14	1	1	—	4	—	1	—	—	—	1	—	—	2	1	2	1
	20	7	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	4	1	—	—
	21	15	1	—	—	2	—	2	—	—	—	1	1	1	4	1	2	—
6	22	16	2	1	2	4	1	—	—	—	—	1	—	—	5	—	—	—
	23	18	2	2	1	5	—	1	—	—	—	—	—	—	1	2	4	—
	24	7	2	—	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—
	25	12	2	—	1	2	—	2	—	—	—	1	—	—	—	2	1	1
	26	17	1	2	1	4	1	—	—	—	—	2	—	—	1	2	3	—
7	27	14	2	1	2	3	—	1	—	—	—	—	—	—	—	3	2	—
	28	12	3	1	2	1	—	1	—	—	—	—	3	—	—	1	—	—
	29	10	1	1	—	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—	3	2	—
	30	10	4	1	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—
8	31	11	2	2	—	2	—	1	—	—	—	—	—	—	1	2	—	1
	32	8	2	—	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—
	33	7	2	—	—	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
	34	6	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	3	1	1
9	35	6	—	1	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1
	36	8	1	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	1
	37	12	3	2	—	1	—	—	—	—	—	2	—	—	—	1	1	2
	38	8	2	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	1	1	1	1
	39	8	1	—	—	1	1	1	—	—	—	—	2	—	—	2	—	—
10	40	11	5	1	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	1	1	—	1
	41	9	1	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—	2	—	2	1	1
	42	9	1	2	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1	—	1	1	—
	43	7	—	1	—	2	—	1	—	1	—	1	—	—	1	—	—	—
11	44	8	3	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	1	—	2	—	—
	45	6	1	1	—	1	—	2	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	46	6	—	—	—	2	—	—	—	—	—	1	—	1	—	1	1	—
	47	5	1	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—
12	48	6	1	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—
	49	8	—	2	1	3	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—
	50	12	2	—	1	3	1	1	—	—	—	1	—	—	—	1	2	—
	51	8	—	—	1	1	—	1	—	—	—	1	—	1	—	1	2	—
	52	8	—	—	1	2	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	2	1

表15 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(ヘルパンギーナ・令和4年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		510	42	13	6	107	8	13	3	—	—	179	9	11	17	34	59	9
1	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—
	2	2	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	—	—	1	1	—
	4	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
2	5	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	9	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	13	3	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	14	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	16	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	17	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
5	18	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	19	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	20	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	22	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—
	23	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	24	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	1	—	—	—	1
	26	12	—	1	—	—	—	2	1	—	—	8	—	—	—	—	—	—
7	27	14	1	—	—	—	—	1	1	—	—	8	—	1	2	—	—	—
	28	32	10	—	—	3	—	3	—	—	—	11	1	—	—	—	4	—
	29	26	3	2	—	2	1	1	—	—	—	12	—	1	—	4	—	—
	30	37	2	2	1	2	—	—	—	—	—	22	1	2	1	1	3	—
8	31	43	8	—	—	8	3	—	—	—	—	16	1	—	—	3	4	—
	32	38	2	—	—	5	—	—	—	—	—	19	—	—	—	3	9	—
	33	21	2	1	2	6	3	—	—	—	—	1	—	—	1	—	4	1
	34	36	2	—	1	8	—	—	—	—	—	8	—	1	2	8	6	—
9	35	39	2	2	—	9	—	—	—	—	—	11	2	1	1	5	4	2
	36	54	4	—	—	21	1	1	1	—	—	9	2	2	3	3	5	2
	37	32	1	—	2	13	—	—	—	—	—	9	1	1	1	2	2	—
	38	19	—	—	—	7	—	1	—	—	—	5	—	1	1	1	2	1
	39	17	2	1	—	6	—	—	—	—	—	2	—	—	4	1	1	—
10	40	18	—	—	—	7	—	—	—	—	—	5	1	—	1	—	3	1
	41	10	1	1	—	3	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—	1	—
	42	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—	1
	43	5	—	—	—	1	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	2	—
11	44	4	—	—	—	1	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	1	—
	45	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	46	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	47	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
12	48	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
	49	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—
	50	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	51	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	52	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表16 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(流行性耳下腺炎・令和4年・名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		86	2	2	6	21	1	7	1	1	1	9	—	4	20	6	4	1
1	1	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	2	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	1	—
	3	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	4	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	5	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—
3	9	2	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	11	2	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	15	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	16	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—
	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	18	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—
	21	3	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—
6	22	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	23	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24	3	1	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	26	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
7	27	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	28	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—
	29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	31	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	32	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	33	2	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	34	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	35	3	—	—	—	2	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	36	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	37	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	38	10	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	—	—	—
	39	3	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—
10	40	2	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	41	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	42	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	43	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—
11	44	4	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	45	3	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	46	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	47	3	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—
12	48	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	49	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50	2	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	51	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	52	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表17 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(急性出血性結膜炎 ・ 令和4年 ・ 名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		1	—	・	—	1	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
1	1	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	2	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	3	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	4	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
2	5	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	6	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	7	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	8	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
3	9	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	10	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	11	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	12	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	13	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
4	14	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	15	1	—	・	—	1	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	16	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	17	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
5	18	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	19	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	20	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	21	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
6	22	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	23	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	24	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	25	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	26	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
7	27	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	28	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	29	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	30	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
8	31	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	32	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	33	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	34	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
9	35	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	36	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	37	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	38	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	39	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
10	40	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	41	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	42	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	43	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
11	44	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	45	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	46	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	47	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
12	48	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	49	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	50	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	51	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	52	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—

表18 週報対象疾病区別・週別患者発生状況(流行性角結膜炎 ・ 令和4年 ・ 名古屋市)

月	週	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
		54	9	・	5	5	—	—	10	5	5	・	・	—	・	—	—	15
1	1	2	—	・	—	1	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	1
	2	1	1	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	3	2	—	・	—	—	—	—	—	1	—	・	・	—	・	—	—	1
	4	1	—	・	—	—	—	—	—	—	1	・	・	—	・	—	—	—
2	5	1	—	・	—	—	—	—	—	1	—	・	・	—	・	—	—	—
	6	3	—	・	—	—	—	—	—	—	1	・	・	—	・	—	—	2
	7	2	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	2
	8	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
3	9	2	1	・	1	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	10	1	—	・	1	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	11	2	—	・	—	1	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	1
	12	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	13	1	—	・	—	1	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
4	14	1	—	・	—	—	—	—	1	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	15	1	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	1
	16	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	17	2	—	・	—	—	—	—	2	—	—	・	・	—	・	—	—	—
5	18	5	—	・	—	—	—	—	5	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	19	3	—	・	1	—	—	—	2	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	20	2	1	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	1
	21	1	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	1
6	22	1	—	・	1	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	23	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	24	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	25	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	26	1	1	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
7	27	1	—	・	—	1	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	28	1	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	1
	29	1	—	・	—	—	—	—	—	—	1	・	・	—	・	—	—	—
	30	2	—	・	1	—	—	—	—	—	1	・	・	—	・	—	—	—
8	31	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	32	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	33	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	34	2	2	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
9	35	1	—	・	—	—	—	—	—	1	—	・	・	—	・	—	—	—
	36	1	—	・	—	—	—	—	—	1	—	・	・	—	・	—	—	—
	37	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	38	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	39	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
10	40	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	41	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	42	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	43	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
11	44	2	1	・	—	1	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	45	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	46	2	2	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
	47	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—
12	48	1	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	1
	49	2	—	・	—	—	—	—	—	—	1	・	・	—	・	—	—	1
	50	2	—	・	—	—	—	—	—	1	—	・	・	—	・	—	—	1
	51	1	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	1
	52	—	—	・	—	—	—	—	—	—	—	・	・	—	・	—	—	—

表19-1 月報対象疾病区別・月別患者発生状況(性器クラミジア感染症・令和4年・名古屋市)

月	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
1	89	—	・	15	—	2	34	15	1	・	9	4	1	・	6	2	—
2	82	3	・	19	3	3	25	6	1	・	6	4	—	・	7	3	2
3	106	2	・	18	2	4	37	9	2	・	16	5	1	・	6	3	1
4	94	4	・	15	2	5	39	10	1	・	7	4	—	・	4	1	2
5	113	1	・	18	2	1	46	14	—	・	14	2	1	・	10	1	3
6	98	3	・	15	2	7	24	12	4	・	13	6	2	・	4	1	5
7	112	1	・	23	1	5	35	14	—	・	16	6	1	・	5	1	4
8	108	5	・	16	1	7	36	10	2	・	16	2	—	・	7	3	3
9	118	1	・	19	1	6	46	13	2	・	15	4	1	・	7	1	2
10	121	3	・	24	2	7	49	8	1	・	10	6	—	・	6	1	4
11	103	2	・	17	1	4	40	14	2	・	11	5	—	・	5	1	1
12	109	3	・	22	1	4	35	6	3	・	17	2	1	・	4	2	9
合計	1253	28	・	221	18	55	446	131	19	・	150	50	8	・	71	20	36

表19-2 月報対象疾病区別・月別患者発生状況(性器ヘルペスウイルス感染症・令和4年・名古屋市)

月	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
1	30	—	・	3	1	1	11	3	1	・	1	4	—	・	1	—	4
2	26	—	・	3	1	2	7	3	1	・	—	4	—	・	3	—	2
3	29	—	・	5	1	—	11	3	1	・	1	4	—	・	2	—	1
4	38	—	・	7	4	—	19	1	1	・	—	4	—	・	1	1	—
5	32	—	・	6	—	1	12	3	3	・	—	3	—	・	—	1	3
6	26	—	・	2	5	—	6	2	2	・	—	5	—	・	—	—	4
7	36	—	・	4	2	—	10	2	1	・	2	5	—	・	5	1	4
8	32	—	・	7	3	—	12	4	1	・	—	4	—	・	—	—	1
9	31	—	・	6	4	—	10	1	3	・	—	3	—	・	1	1	2
10	25	—	・	5	1	—	10	3	1	・	—	2	—	・	1	—	2
11	22	—	・	2	3	—	9	2	2	・	1	—	1	・	—	—	2
12	38	—	・	10	5	—	13	2	3	・	—	1	—	・	2	—	2
合計	365	—	・	60	30	4	130	29	20	・	5	39	1	・	16	4	27

表19-3 月報対象疾病区別・月別患者発生状況(尖圭コンジローマ・令和4年・名古屋市)

月	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
1	24	—	・	4	—	5	6	1	—	・	4	—	—	・	3	—	1
2	14	—	・	3	—	4	4	—	—	・	3	—	—	・	—	—	—
3	19	—	・	2	—	—	5	6	—	・	4	1	—	・	1	—	—
4	26	—	・	9	1	1	5	5	—	・	5	—	—	・	—	—	—
5	21	—	・	5	—	—	5	3	—	・	7	—	—	・	1	—	—
6	21	—	・	3	—	—	4	5	—	・	6	—	—	・	2	—	1
7	28	—	・	5	—	—	9	2	—	・	9	—	—	・	—	1	2
8	28	—	・	4	1	1	5	4	1	・	10	—	—	・	1	—	1
9	23	—	・	5	1	1	5	4	—	・	4	—	—	・	1	—	2
10	25	—	・	5	—	1	8	3	1	・	5	—	—	・	—	—	2
11	38	—	・	9	—	—	6	10	—	・	9	—	—	・	—	—	4
12	23	—	・	8	—	—	6	2	1	・	4	—	—	・	1	—	1
合計	290	—	・	62	3	13	68	45	3	・	70	1	—	・	10	1	14

表19-4 月報対象疾病区別・月別患者発生状況(淋菌感染症・令和4年・名古屋市)

月	総数	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
1	55	—	・	8	—	4	19	4	—	・	12	2	—	・	4	1	1
2	39	1	・	7	—	2	14	3	—	・	8	—	—	・	3	—	1
3	65	—	・	9	—	2	26	11	—	・	12	—	—	・	3	1	1
4	58	4	・	9	—	4	22	4	—	・	12	—	—	・	3	—	—
5	59	2	・	5	—	3	29	2	—	・	10	—	—	・	5	—	3
6	69	3	・	11	—	3	24	9	—	・	14	1	—	・	3	1	—
7	41	1	・	8	—	1	15	8	—	・	6	—	—	・	2	—	—
8	50	—	・	15	—	2	13	—	—	・	13	—	—	・	6	—	1
9	41	2	・	14	—	2	12	5	—	・	6	—	—	・	—	—	—
10	77	2	・	16	—	7	22	6	—	・	16	—	—	・	6	—	2
11	64	1	・	13	—	2	20	10	1	・	8	1	—	・	5	—	3
12	49	—	・	9	—	3	16	2	—	・	12	—	—	・	3	—	4
合計	667	16	・	124	—	35	232	64	1	・	129	4	—	・	43	3	16

表20 週報対象疾病年次別発生状況(名古屋市)

疾病名 \ 年次	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4
インフルエンザ	15,967	18,199	14,735	21,920	17,589	22,231	22,832	7,554	25	172
R S ウイルス感染症	1,728	1,393	1,327	1,353	1,662	1,294	1,828	185	2,613	2,547
咽頭結膜熱	772	1,281	1,096	731	1,100	762	1,049	608	461	370
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1,965	3,259	4,943	3,279	3,417	3,753	3,466	1,993	1,007	811
感染性胃腸炎	15,898	14,616	13,361	14,270	10,619	10,947	9,350	5,398	6,945	8,361
水痘	1,533	1,036	838	861	808	757	443	296	137	116
手足口病	4,272	1,270	2,936	788	4,348	748	4,657	139	213	2,396
伝染性紅斑	65	99	956	520	168	261	1,296	235	20	19
突発性発しん	1,099	1,095	949	746	664	684	602	711	645	475
百日咳	25	39	30	40	19	・	・	・	・	・
ヘルパンギーナ	1,157	1,101	2,167	1,428	689	1,511	1,389	125	858	510
流行性耳下腺炎	535	562	353	567	333	197	149	106	102	86
急性出血性結膜炎	-	3	1	3	2	2	3	2	1	1
流行性角結膜炎	84	131	97	187	148	150	153	51	67	54
細菌性髄膜炎	-	5	1	2	1	-	-	-	-	2
無菌性髄膜炎	-	4	5	3	4	2	3	3	2	1
マイコプラズマ肺炎	-	29	103	205	104	46	92	28	1	-
クラミジア肺炎（オウム病を除く。）	-	1	-	-	2	2	-	1	-	-
感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）	-	23	13	31	31	31	44	-	-	-

3 検査情報

患者定点のうち、名古屋市立大学病院及び市立2病院、中京病院、名古屋第二赤十字病院、名古屋掖済会病院の小児科、くつなこどもクリニック及びまじま眼科を病原体定点として、ウイルス感染及びそれが疑われる感染症を対象として検査を実施した。その結果、患者46名のうち延べ24名からウイルスを分離・検出した。

アデノウイルスは8名より分離・検出され、2型が1名、37型が1名、53型が1名、56型が4名、D種(型不明)が1名であった。

ピコルナウイルス科ウイルスは6名より検出され、Cox-A6が2名、HPeV-3が1名、HRV-Aが2名、HRV-Cが1名であった。

ヘルペスウイルス科ウイルスは8名より検出され、VZVが1名、EBVが1名、CMVが4名、HHV-6Bが1名、HHV-7が1名であった。

パラミクソウイルス科ウイルスは1名より検出され、HPIV-1であった。

ニューモウイルス科ウイルスは1名より検出され、RSV-Aであった。

	患者数	検体数	鼻咽頭材料	便	髄液	尿	眼材料	血液	その他
名古屋市立大学病院	4	12	4	4	1	2		1	
東部医療センター	1	1	1						
西部医療センター	6	19	5	5	2	3		3	1
中京病院	1	3	1					2	
名古屋第二赤十字病院	27	69	20	16	16	13		3	1
名古屋掖済会病院	0	0							
くつなこどもクリニック	1	1	1						
まじま眼科	6	6					6		
合 計	46	111	32	25	19	18	6	9	2

(1) 月別ウイルス分離・検出状況（名古屋市・令和4年）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
アデノウイルス科													
AdV-2						1							1
AdV-37										1			1
AdV-53											1		1
AdV-56		1				1		1			1		4
AdV-D								1					1
ヒコルナウイルス科													
Cox-A6							1	1					2
HPeV-3											1		1
HRV-A						1	1						2
HRV-C					1								1
ヘルペスウイルス科													
VZV										1			1
EBV							1						1
CMV	1	1			1						1		4
HHV-6B					1								1
HHV-7						1							1
パライミクソウイルス科													
HPIV-1									1				1
ニューモウイルス科													
RSV-A							1						1
延べウイルス検出人数	1	2	0	0	3	4	4	3	1	2	4	0	24
患者数	8	3	1	1	3	8	5	3	4	4	4	2	46

※同一患者での重複感染あり。

AdV:アデノウイルス, Cox:コクサッキーウイルス, HPeV:ヒトパレコウイルス, HRV:ヒトライノウイルス, VZV:水痘・帯状疱疹ウイルス

EBV:Epstein-Barrウイルス, CMV:サイトメガロウイルス, HHV:ヒトヘルペスウイルス, HPIV:パラインフルエンザウイルス

RSV:RSウイルス

(2) 年齢別ウイルス分離・検出状況（名古屋市・令和4年）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳～	不詳	合計
アデノウイルス科																			
AdV-2		1																	1
AdV-37																	1		1
AdV-53																	1		1
AdV-56																	4		4
AdV-D	1																		1
ヒトコロナウイルス科																			
Cox-A6		1				1													2
HPeV-3	1																		1
HRV-A						1	1												2
HRV-C				1															1
ヘルペスウイルス科																			
VZV																		1	1
EBV						1													1
CMV	3			1															4
HHV-6B		1																	1
HHV-7									1										1
パライクソウイルス科																			
HPIV-1							1												1
ニューモウイルス科																			
RSV-A		1																	1
延べウイルス検出人数	5	4	0	2	0	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6	1	24
患者数	22	8	3	1	0	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6	1	46

※同一患者での重複感染あり。

AdV:アデノウイルス, Cox:コクサッキーウイルス, HPeV:ヒトパレコウイルス, HRV:ヒトライノウイルス, VZV:水痘・帯状疱疹ウイルス, EBV:Epstein-Barrウイルス, CMV:サイトメガロウイルス, HHV:ヒトヘルペスウイルス
HPIV:パライクソウイルス, RSV:RSウイルス

(3) 診断名別ウイルス分離・検出状況（名古屋市・令和4年）

	インフル エンザ 様疾患	感 染 性 胃 腸 炎	ヘ ル パ ン ギ ー ナ	手 足 口 病	急 性 脳 炎 ・ 急 性 脳 症	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	流 行 性 角 結 膜 炎	不 明 発 疹 症	上 気 道 炎	下 気 道 炎	そ の 他	合 計
アデノウイルス科													
AdV-2												1	1
AdV-37								1					1
AdV-53								1					1
AdV-56								4					4
AdV-D											1		1
ヒコルナウイルス科													
Cox-A6				2									2
HPeV-3												1	1
HRV-A				1								1	2
HRV-C												1	1
ヘルペスウイルス科													
VZV						1							1
EBV				1									1
CMV											1	3	4
HHV-6B					1								1
HHV-7				1								1	2
パラミクソウイルス科													
HPIV-1												1	1
ニューモウイルス科													
RSV-A											1		1
延べウイルス検出人数	0	0	0	5	1	1	0	6	0	0	3	9	25
延べ患者数	0	0	0	4	1	1	0	6	0	0	5	31	48

※同一患者での重複感染あり。

※同一患者での複数の臨床診断名あり。

AdV:アデノウイルス, Cox:コクサッキーウイルス, HPeV:ヒトパレコウイルス, HRV:ヒトライノウイルス, EBV:Epstein-Barrウイルス, CMV:サイトメガロウイルス

HHV:ヒトヘルペスウイルス, HPIV:ヒトパラインフルエンザウイルス, RSV:RSウイルス

エイズ対策

Ⅱ エイズ対策

1 概況

本市における令和4年の新規報告件数（受理日で集計）は、H I V感染者41件、A I D S患者16件の計57件で、前年から10件減少した。

全国の状況は、H I V感染者が632件、A I D S患者が252件の計884件で、前年から173件減少した。

エイズ治療の進歩により、H I V感染を早期に発見することが益々重要になってきている。

本市においては、市民にとって利便性が高い夜間や休日（土曜日・日曜日）にもH I V検査を定例実施する等、検査機会の拡大を図った。

令和4年度に本市が実施したH I V検査件数は5,704件（陽性件数20件）となっている。

エイズに関する市民の理解促進を図るため、普及啓発事業として、地下鉄車両広告の作成・掲示、インターネット広告の掲載等を実施した。

2 名古屋市におけるH I V感染者・A I D S患者報告件数等（受理日で集計）

(1) H I V感染者報告件数（令和4年）

ア H I V感染者報告件数

区分	男性	女性	計
H I V	38 (12)	3 (2)	41 (14)

注1：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく報告件数

注2：以下（ ）内は外国人（不明を含む）の再掲

イ 性別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
男性	8 (4)	29 (8)	- (-)	1 (-)	38 (12)
女性	3 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	3 (2)
計	11 (6)	29 (8)	- (-)	1 (-)	41 (14)

ウ 感染地域別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
国内	9 (5)	27 7	- 0	0 0	36 (12)
海外	1 (0)	1 1	- 0	- 0	2 (1)
不明	1 (1)	1 0	- 0	1 0	3 (1)
計	11 (6)	29 (8)	- 0	1 0	41 (14)

エ 年齢別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
～19歳	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0
20～29歳	4 (3)	9 3	- 0	1 0	14 (6)
30～39歳	1 (0)	12 (3)	- 0	- 0	13 (3)
40～49歳	2 2	6 1	- 0	- 0	8 3
50歳～	4 (1)	2 (1)	- 0	0 0	6 (2)
不明	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0
計	11 (6)	29 (8)	- 0	1 0	41 (14)

オ 性別・年齢別報告件数

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	不明	計
男性	- 0	13 6	13 (3)	7 2	5 (1)	- 0	38 (12)
女性	- 0	1 (0)	- 0	1 1	1 1	- 0	3 (2)
計	- 0	14 (6)	13 (3)	8 3	6 (2)	- 0	41 (14)

(2) A I D S患者報告件数（令和4年）

7 A I D S患者報告件数

区分	男性	女性	計
A I D S	15 (4)	1 1	16 (5)

注：以下（ ）内は外国人（不明を含む）の再掲

イ 性別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
男性	4 (3)	8 (1)	0 0	3 0	15 (4)
女性	1 1	- 0	- 0	- 0	1 1
計	5 (4)	8 (1)	0 0	3 0	16 (5)

ウ 感染地域別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
国内	2 (1)	7 0	- 0	1 0	10 (1)
海外	2 2	- (0)	- 0	- 0	2 (2)
不明	1 1	1 1	- 0	2 0	4 2
計	5 (4)	8 (1)	- 0	3 0	16 (5)

エ 年齢別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
～19歳	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0
20～29歳	- (0)	1 (0)	- 0	- 0	1 (0)
30～39歳	- 0	3 1	- 0	1 0	4 1
40～49歳	1 1	3 0	- 0	2 0	6 1
50歳～	4 3	1 0	- 0	- 0	5 3
不明	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0
計	5 (4)	8 (1)	- 0	3 0	16 (5)

オ 性別・年齢別報告件数

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	不明	計
男性	- 0	1 (0)	4 1	5 0	5 3	- 0	15 (4)
女性	- 0	- 0	- 0	1 1	- 0	- 0	1 1
計	- 0	1 (0)	4 1	6 1	5 3	- 0	16 (5)

(3) HIV感染者・AIDS患者累積報告件数（令和4年）

7 HIV感染者・AIDS患者報告件数

区分	男性	女性	計
HIV	1,087 (132)	116 (63)	1,203 (195)
AIDS	472 (53)	27 (13)	499 (66)
計	1,559 (185)	143 (76)	1,702 (261)

注1：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく報告件数。

平成11年3月31日以前は、後天性免疫不全症候群の予防に関する法律に基づく報告件数

注2：平成11年3月31日までの病状変化によるAIDS患者報告件数4件を含む。

注3：以下（ ）内は外国人（不明を含む。）の再掲

イ 性別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
男性	259 (65)	1,180 (84)	16 (7)	111 (32)	1,566 (188)
女性	108 (51)	－ 0	6 (3)	22 (19)	136 (73)
計	367 (116)	1,180 (84)	22 (10)	133 (51)	1,702 (261)

ウ 感染地域別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
国内	246 (42)	1,127 (66)	13 (3)	46 (1)	1,432 (112)
海外	88 (52)	35 (11)	8 (6)	24 (22)	155 (91)
不明	33 (22)	18 (7)	1 (1)	63 (28)	115 (58)
計	367 (116)	1,180 (84)	22 (10)	133 (51)	1,702 (261)

エ 年齢別・感染経路別報告件数

区分	異性間	同性間	その他	不明	計
～19歳	3 (1)	6 0	0 0	0 0	9 (1)
20～29歳	83 (41)	328 (27)	6 (4)	33 (24)	450 (96)
30～39歳	120 (45)	423 (37)	8 (5)	38 (19)	589 (106)
40～49歳	71 (14)	256 (12)	6 (1)	23 (5)	356 (32)
50歳～	90 (15)	167 (8)	2 0	38 (2)	297 (25)
不明	0 0	0 0	0 0	1 (1)	1 (1)
計	367 (116)	1,180 (84)	22 (10)	133 (51)	1,702 (261)

オ 性別・年齢別報告件数

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	不明	計
男性	6 0	393 (52)	545 (82)	340 (26)	275 (21)	0 0	1,559 (181)
女性	3 (1)	57 (44)	44 (24)	16 (6)	22 (4)	1 (1)	143 (80)
計	9 (1)	450 (96)	589 (106)	356 (32)	297 (25)	1 (1)	1,702 (261)

(4) HIV感染者・AIDS患者報告件数の推移

※（ ）内は外国人（不明を含む。）の再掲

7 HIV感染者＋AIDS患者

区分	平成元年 ～5年まで	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年
異性間	12 (8)	3 (1)	4 (3)	4 (1)	4 (1)	3 (2)	2 (-)	7 (2)	12 (3)	16 (7)	8 (2)	4 (1)	9 (3)	22 (7)	19 (10)
同性間	6 (1)	3 (-)	8 (-)	- (-)	2 (-)	2 (-)	6 (-)	8 (-)	22 (1)	24 (1)	26 (2)	38 (2)	39 (-)	55 (2)	69 (5)
その他	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (-)	1 (-)	2 (1)	1 (-)
不明	10 (10)	4 (4)	3 (2)	4 (3)	4 (3)	2 (2)	4 (2)	3 (1)	4 (3)	8 (5)	10 (1)	8 (2)	7 (1)	3 (-)	10 (4)
計	28 (19)	10 (5)	15 (5)	8 (4)	10 (4)	7 (4)	13 (2)	18 (3)	39 (8)	48 (13)	44 (5)	51 (5)	56 (4)	82 (10)	99 (19)

区分	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年
異性間	18 (5)	12 (3)	23 (3)	10 (3)	16 (4)	19 (4)	19 (5)	19 (6)	21 (2)	10 (2)	13 (4)	15 (3)	17 (6)	10 (5)	16 (10)
同性間	55 (4)	46 (2)	80 (2)	90 (1)	83 (5)	60 (2)	55 (6)	60 (6)	50 (2)	38 (2)	71 (9)	54 (5)	41 (11)	52 (5)	37 (9)
その他	1 (1)	- (-)	3 (1)	1 (-)	2 (1)	4 (3)	- (-)	1 (1)	1 (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)
不明	9 (1)	5 (1)	2 (-)	4 (2)	- (-)	3 (2)	8 (-)	1 (-)	3 (-)	1 (-)	1 (-)	2 (-)	2 (1)	4 (-)	4 (-)
計	83 (11)	63 (6)	108 (6)	105 (6)	101 (10)	86 (11)	82 (11)	81 (13)	75 (4)	50 (5)	85 (13)	71 (8)	60 (18)	67 (10)	57 (19)

イ HIV感染者

区分	平成元年 ～5年まで	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年
異性間	10 (7)	3 (1)	1 (1)	1 (-)	4 (1)	3 (2)	- (-)	5 (2)	10 (3)	13 (7)	7 (2)	2 (1)	5 (3)	17 (6)	12 (5)
同性間	4 (-)	2 (-)	4 (-)	- (-)	2 (-)	1 (-)	5 (-)	7 (0)	19 (1)	22 (1)	22 (1)	32 (1)	31 (-)	43 (2)	52 (4)
その他	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	2 (1)	1 (-)
不明	10 (10)	3 (3)	2 (1)	4 (3)	1 (1)	1 (1)	4 (2)	3 (1)	3 (3)	6 (3)	7 (-)	3 (1)	3 (-)	1 (-)	7 (3)
計	24 (17)	8 (4)	7 (2)	5 (3)	7 (2)	5 (3)	10 (2)	15 (3)	33 (8)	41 (11)	36 (3)	38 (3)	39 (3)	63 (9)	72 (12)

区分	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年
異性間	9 (3)	6 (1)	11 (2)	6 (1)	11 (4)	13 (4)	10 (3)	9 (3)	16 (2)	4 (1)	6 (3)	9 (3)	13 (5)	7 (4)	11 (6)
同性間	42 (4)	27 (-)	54 (2)	56 (1)	60 (5)	42 (2)	42 (5)	39 (4)	38 (-)	30 (1)	58 (9)	45 (5)	35 (8)	37 (4)	29 (8)
その他	- (-)	- (-)	1 (1)	1 (-)	1 (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
不明	- (-)	4 (1)	2 (-)	4 (2)	- (-)	1 (1)	5 (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	1 (-)
計	51 (7)	37 (2)	68 (5)	67 (4)	72 (9)	57 (8)	57 (8)	49 (7)	55 (2)	35 (3)	64 (12)	55 (8)	48 (13)	44 (8)	41 (14)

ウ AIDS患者

区分	平成元年 ～5年まで	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年
異性間	2 (1)	- (-)	3 (2)	3 (1)	- (-)	- (-)	2 (-)	2 (-)	2 (-)	3 (-)	1 (-)	2 (-)	4 (-)	5 (1)	7 (5)
同性間	2 (1)	1 (-)	4 (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	1 (-)	1 (-)	3 (-)	2 (-)	4 (1)	6 (1)	8 (-)	12 (-)	17 (1)
その他	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)
不明	- (-)	1 (1)	1 (1)	- (-)	3 (2)	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (-)	2 (2)	3 (1)	5 (1)	4 (1)	2 (-)	3 (1)
計	4 (2)	2 (1)	8 (3)	3 (1)	3 (2)	2 (1)	3 (-)	3 (-)	6 (-)	7 (2)	8 (2)	13 (2)	17 (1)	19 (1)	27 (7)

区分	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年
異性間	9 (2)	6 (2)	12 (1)	4 (2)	5 (-)	6 (-)	9 (2)	10 (3)	5 (-)	6 (1)	7 (1)	6 (-)	4 (1)	3 (1)	5 (4)
同性間	13 (-)	19 (2)	26 (-)	34 (-)	23 (-)	18 (-)	13 (1)	21 (2)	12 (2)	8 (1)	13 (-)	9 (-)	6 (3)	15 (1)	8 (1)
その他	1 (1)	- (-)	2 (-)	- (-)	1 (1)	3 (2)	- (-)	1 (1)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	0 (-)	1 (-)	- (-)
不明	9 (1)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (1)	3 (-)	- (-)	2 (-)	1 (-)	1 (-)	1 (-)	2 (1)	4 (-)	3 (-)
計	32 (4)	26 (4)	40 (1)	38 (2)	29 (1)	29 (3)	25 (3)	32 (6)	20 (2)	15 (2)	21 (1)	16 (-)	12 (5)	23 (2)	16 (5)

(5) A I D S 患者指標疾病別内訳（令和4年）

指標疾病名	件数	割合
ニューモシスティス肺炎	6	33.3%
カンジダ症（食道、気管、気管支、肺）	5	27.8%
非ホジキンリンパ腫	2	11.1%
クリプトコッカス症（肺以外）	1	5.6%
トキソプラズマ脳症（生後1か月以後）	1	5.6%
サイトメガロウイルス感染症（生後1か月以後で、肝、脾、リンパ節以外）	1	5.6%
H I V 脳症（認知症又は亜急性脳炎）	1	5.6%
HIV消耗性症候群（全身衰弱またはスリム病）	1	5.6%
計	18	100.0%

注：件数は延べ件数

3 日本におけるH I V感染者・A I D S 患者報告件数（累計）

（令和4年エイズ発生動向委員会発表）

(1) H I V 感染者

	男 性		女 性		合 計	
異性間性的接触	3,913	(538)	1,783	(914)	5,696	(1,452)
同性間性的接触 *1	14,656	(1,120)	5	(1)	14,661	(1,121)
静注薬物濫用	78	(31)	6	(4)	84	(35)
母子感染	27	(9)	19	(9)	46	(18)
その他 *2	562	(102)	76	(34)	638	(136)
不 明	2,013	(514)	725	(584)	2,738	(1,098)
合 計	21,249	(2,314)	2,614	(1,546)	23,863	(3,860)

(2) A I D S 患者

	男 性		女 性		合 計	
異性間性的接触	2,809	(339)	541	(252)	3,350	(591)
同性間性的接触 *1	4,541	(255)	5	(2)	4,546	(257)
静注薬物濫用	63	(30)	7	(3)	70	(33)
母子感染	11	(1)	9	(6)	20	(7)
その他 *2	331	(40)	44	(18)	375	(58)
不 明	1,903	(451)	294	(178)	2,197	(629)
合 計 *3	9,658	(1,116)	900	(459)	10,558	(1,575)

注：（ ）内は外国国籍の再掲

*1 両性間性的接触を含む。

*2 輸血等に伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

*3 平成11年3月31日までの病状変化によるAIDS患者報告数154件を含む。

(3) 死亡者報告数

ア 感染症法施行後の任意報告数（平成11年4月1日～令和4年末） 456名

イ エイズ予防法に基づく法定報告数（平成元年2月17日～平成11年3月31日） 596名

(4) 血液凝固因子製剤による感染者数 *4

1,440名（男性1,422名、女性18名）

*4 「血液凝固異常症全国調査」による令和4年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

(5) HIV感染者・AIDS患者報告件数感染経路別年次推移

(単位：件)

区 分		60年	61年	62年	63年	平成 元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	31年	令和 元年	2年	3年	4年	累計
総 数	異性間の性的接触	-	-	26	12	40	34	123	253	170	194	227	287	312	283	372	331	352	336	309	335	337	363	375	367	342	322	330	294	310	299	291	284	248	246	192	153	144	153	9,046
	同性間の性的接触	6	4	33	18	47	30	43	58	61	122	108	151	156	180	256	291	405	413	452	609	664	768	886	968	904	974	984	962	1,053	1,047	941	976	935	875	831	733	693	570	19,207
	静注薬物濫用	-	-	-	-	1	2	3	3	2	3	2	5	4	7	4	2	3	3	6	5	10	7	6	10	8	7	5	8	5	7	5	2	4	2	3	8	1	1	154
	母子感染	-	-	-	-	-	3	1	1	4	4	3	9	4	2	3	5	2	3	1	2	1	1	-	-	-	3	1	-	1	2	1	-	4	1	1	1	1	66	
	その他・不明	-	1	8	6	7	6	1	7	6	6	5	9	11	4	19	22	23	14	29	31	20	55	54	42	49	55	47	26	37	35	27	39	44	35	62	54	71	46	1,013
	不明	-	-	2	1	6	22	67	171	120	105	101	149	160	177	177	140	168	153	179	183	167	164	179	170	149	183	162	159	184	156	169	147	154	158	147	146	147	113	4,935
	合 計	6	5	69	37	101	97	238	493	363	434	446	610	647	653	831	791	953	922	976	1,165	1,199	1,358	1,500	1,557	1,452	1,544	1,529	1,449	1,590	1,546	1,434	1,448	1,389	1,317	1,236	1,095	1,057	884	34,421
H I V	異性間の性的接触	-	-	21	6	36	26	114	232	136	148	147	169	186	179	207	169	213	203	178	200	203	223	221	220	210	195	206	180	194	179	196	170	149	157	136	96	91	100	5,696
	同性間の性的接触	-	-	25	12	35	20	25	44	45	77	68	102	121	134	201	218	314	329	356	468	529	604	729	779	694	744	722	724	780	789	691	735	709	670	651	543	531	443	14,661
	静注薬物濫用	-	-	-	-	1	1	3	3	1	1	1	1	2	5	3	1	3	1	4	3	3	4	3	5	5	3	4	5	2	3	2	1	3	-	2	5	-	-	84
	母子感染	-	-	-	-	-	2	-	1	1	2	3	8	2	1	2	3	1	3	-	1	1	1	-	-	-	3	1	-	1	1	1	-	3	1	-	1	1	1	46
	その他	-	-	7	5	5	4	1	6	4	2	3	4	8	2	13	10	12	5	18	20	11	40	25	29	34	38	32	18	23	24	21	23	22	24	38	34	41	32	638
	不明	-	-	2	-	3	13	57	156	90	68	55	92	78	101	104	61	78	73	84	88	85	80	104	93	78	92	91	75	106	95	95	82	90	88	76	71	78	56	2,738
	合 計	-	-	55	23	80	66	200	442	277	298	277	376	397	422	530	462	621	614	640	780	832	952	1,082	1,126	1,021	1,075	1,056	1,002	1,106	1,091	1,006	1,011	976	940	903	750	742	632	23,863
A I D S	異性間の性的接触	-	-	5	6	4	8	9	21	34	46	80	118	126	104	165	162	139	133	131	135	134	140	154	147	132	127	124	114	116	120	95	114	99	89	56	57	53	53	3,350
	同性間の性的接触	6	4	8	6	12	10	18	14	16	45	40	49	35	46	55	73	91	84	96	141	135	164	157	189	210	230	262	238	273	258	250	241	226	205	180	190	162	127	4,546
	静注薬物濫用	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	1	4	2	2	1	1	-	2	2	2	7	3	3	5	3	4	1	3	3	4	3	1	1	2	1	3	1	1	70
	母子感染	-	-	-	-	-	1	1	-	3	2	-	1	2	1	1	2	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-	20
	その他	-	1	1	1	2	2	-	1	2	4	2	5	3	2	6	12	11	9	11	11	9	15	29	13	15	17	15	8	14	11	6	16	22	11	24	20	30	14	375
	不明	-	-	-	1	3	9	10	15	30	37	46	57	82	76	73	79	90	80	95	95	82	84	75	77	71	91	71	84	78	61	74	65	64	70	71	75	69	57	2,197
	合 計	6	5	14	14	21	31	38	51	86	136	169	234	250	231	301	329	332	308	336	385	367	406	418	431	431	469	473	447	484	455	428	437	413	377	333	345	315	252	10,558

4 本市のエイズ対策（令和4年度）

(1) エイズ対策の概要

種別	事業内容	対象	時期	説明
相談・検査	相談と無料匿名検査の実施	一般市民	通年	昼間検査（即日・通常検査） 即日：3保健センター（令和5年1月から2保健センター）で週1回 通常：13保健センター（令和5年1月から14保健センター）で月1回
		一般市民	通年	夜間検査（即日検査） ※千種（第2金）（令和5年1月から中止）、中保健センター（第3木）で各月1回
		一般市民	通年	土曜日検査（即日検査・委託） ※（一財）公衆保健協会（中村区）で月2回（第1・第3土曜）
		一般市民	通年	日曜日検査（即日検査・委託） ※国際デザインセンター（中区）で月2回（第2・第4日曜）
		一般市民	通年	平日昼間HIV検査に併せて梅毒検査、性器クラミジア感染症検査を無料匿名で実施
		一般市民	通年	土曜日検査、日曜日検査に併せて梅毒検査を無料匿名で実施
		一般市民	6月、9月、12月	国際デザインセンターにてITを活用したHIV等臨時検査会（iTesting@Nagoya）の実施 日時：6月26日（日）、9月4日（日）、12月4日（日）各10：00～16：00
	検査時におけるカウンセリングの実施	一般市民	通年	平日昼間即日HIV検査時等において、HIV相談員によるカウンセリングを実施（平成28年度から配置）
啓発・普及	市公式サブサイト「なごやHIV・性感染症ガイド」の運営	一般市民	通年	HIV・性感染症に関する市公式サブサイトにHIV・性感染症の検査情報、基礎知識等を掲載
	リーフレット（外国語版）配布	一般市民	通年	保健センター・国際センター等で配布 ※英語、ポルトガル語等7カ国語
	リーフレット（中学生向け）配布	中学生	3月	市内全中学3年生に配布
	インターネットを利用した予防啓発	一般市民	8月	Yahoo!を利用したインターネットバナー広告等を実施
	地下鉄への予防啓発ステッカーの掲載	一般市民	8月、11月	名古屋市営地下鉄へのステッカーの掲出
	世界エイズデー関連事業 レッドリボンライブの実施	一般市民	11月	FM AICHIにおいて、HIV/エイズの予防啓発にかかるラジオ番組を放送 日時：11月20日（日）19：00～20：00
	デジタルサイネージでの啓発動画配信	一般市民	8月～3月	大型商業施設のデジタルサイネージで啓発動画「まずは検査、HIV」を配信 イオンモール大高 R4年8月30日～R5年3月31日 イオンそよら上飯田 R4年10月1日～R5年3月31日
人材育成	成人式チラシを配布	新成人	1月	成人式で配布されるチラシに、梅毒及び性器クラミジア感染症の予防啓発に関する記事を掲載
	HIV／エイズ基礎研修会	保健センター職員	4月	基礎知識について研修（Web開催）
その他	医療従事者向け講演会の実施	医療従事者等	2月	市医師会共催（Web開催）
	エイズ対策懇談会の開催	医療従事者・学識経験者等	3月	本市エイズ対策に関する情報提供（書面開催）

(2) エイズ相談件数・ＨＩＶ検査採血件数

	総数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
総 数	2,917 (5,704)	207 (325)	227 (420)	245 (660)	150 (294)	78 (134)	98 (400)	353 (540)	344 (581)	275 (792)	272 (447)	314 (536)	354 (575)
千 種	51 (301)	3 (30)	4 (44)	5 (34)	5 (18)	3 -	4 -	3 (44)	6 (36)	3 (32)	6 (12)	5 (28)	4 (23)
東	63 (181)	5 (30)	3 (18)	4 (11)	2 -	2 -	6 -	10 (15)	5 (18)	2 (30)	10 (16)	7 (23)	7 (20)
北	123 (90)	17 (10)	15 (10)	15 (9)	1 -	4 -	- -	11 (10)	15 (10)	6 (6)	7 (7)	17 (13)	15 (15)
西	73 (170)	6 (18)	4 (13)	8 (17)	- (11)	2 -	2 -	6 (12)	9 (25)	10 (14)	15 (20)	4 (15)	7 (25)
中 村	482 (423)	37 (31)	38 (33)	60 (58)	25 (21)	2 -	5 -	61 (55)	52 (47)	43 (36)	44 (39)	49 (43)	66 (60)
中	811 (552)	71 (44)	72 (59)	74 (50)	32 (25)	14 -	19 -	104 (67)	97 (78)	84 (58)	74 (56)	84 (58)	86 (57)
昭 和	65 (147)	6 (15)	7 (16)	7 (10)	4 -	7 -	6 -	5 (23)	5 (23)	4 (17)	3 (15)	2 (14)	9 (14)
瑞 穂	207 (159)	4 -	8 (6)	15 (13)	14 (12)	2 -	2 -	21 (18)	23 (17)	25 (15)	38 (34)	28 (23)	27 (21)
熱 田	78 (184)	- -	5 (13)	2 (8)	- (9)	2 -	7 -	10 (23)	7 (21)	18 (22)	8 (20)	7 (36)	12 (32)
中 川	27 (171)	- (18)	1 (12)	3 (25)	- -	- -	- -	5 (19)	- (17)	- (20)	2 (9)	10 (23)	6 (28)
港	48 (105)	3 (9)	4 (3)	1 (14)	1 (12)	4 -	6 -	6 (11)	5 (8)	6 (17)	7 (9)	2 (13)	3 (9)
南	113 (128)	3 -	15 (15)	11 (7)	18 (13)	3 -	4 -	17 (9)	30 (23)	2 (15)	1 (5)	6 (21)	3 (20)
守 山	46 (126)	- -	- (8)	1 (4)	6 (6)	6 -	7 -	5 (21)	5 (21)	5 (11)	5 (20)	3 (14)	3 (21)
緑	309 (116)	15 (5)	16 (6)	16 (7)	14 (6)	3 -	8 -	45 (18)	48 (19)	25 (10)	15 (6)	39 (12)	65 (27)
名 東	275 (206)	26 (14)	25 (16)	15 (12)	24 (20)	5 -	6 -	27 (20)	26 (24)	30 (24)	26 (23)	35 (28)	30 (25)
天 白	72 (120)	5 (13)	5 (7)	6 (8)	1 -	8 -	11 -	9 (17)	4 (13)	4 (15)	6 (15)	8 (17)	5 (15)
夜 間 (千 種)	・ (68)	・ -	・ (8)	・ (14)	・ (11)	・ -	・ -	・ (10)	・ (12)	・ (13)	・ ・	・ ・	・ ・
夜 間 (中)	・ (137)	・ (14)	・ (10)	・ (8)	・ -	・ -	・ -	・ (9)	・ (28)	・ (14)	・ (22)	・ (14)	・ (18)
日曜日	・ (809)	・ (41)	・ (67)	・ (42)	・ (64)	・ (73)	・ (67)	・ (76)	・ (75)	・ (74)	・ (72)	・ (78)	・ (80)
土曜日	・ (709)	・ (33)	・ (56)	・ (63)	・ (66)	・ (61)	・ (63)	- (63)	・ (66)	・ (63)	・ (47)	・ (63)	・ (65)
臨時検査	・ (802)	・ ・	・ ・	・ 246	・ ・	・ ・	・ 270	・ ・	・ ・	・ (286)	・ ・	・ ・	・ ・
感染症対策室	74 ・	6 ・	5 ・	2 ・	3 ・	11 ・	5 ・	8 ・	7 ・	8 ・	5 ・	8 ・	6 ・

注： 1. () 内はエイズ検査のための採血件数
2. コロナにより定例の検査会を一部休止、縮小

(3) HIV検査採血件数年度別（次記(4)を除く。）

期間	採血件数		うち夜間 採血件数		うち土曜日 採血件数		うち日曜日 採血件数	
昭和62年度	42	(1)						
63年度	154	(-)						
平成元年度	140	(-)						
2年度	194	(-)						
3年度	860	(-)						
4年度	3,885	(1)						
5年度	2,936	(2)						
6年度	2,231	(2)						
7年度	1,763	(2)						
8年度	2,311	(2)						
9年度	1,617	(2)						
10年度	1,999	(1)						
11年度	1,740	(-)						
12年度	1,709	(5)						
13年度	2,506	(8)						
14年度	2,042	(9)						
15年度	2,551	(10)	609	(2)				
16年度	3,286	(12)	341	(3)			874	(2)
17年度	3,185	(14)	301	(1)			886	(5)
18年度	3,385	(16)	259	(2)			894	(4)
19年度	4,244	(14)	459	(1)			957	(4)
20年度	4,934	(21)	822	(5)			984	(5)
21年度	3,937	(14)	422	(2)	229	(1)	996	(3)
22年度	4,510	(33)	366	(6)	1,212	(7)	874	(5)
23年度	4,671	(16)	531	(3)	1,283	(3)	934	(4)
24年度	4,630	(19)	849	(5)	1,306	(1)	777	(3)
25年度	5,042	(21)	946	(3)	1,289	(2)	836	(6)
26年度	4,998	(30)	1,033	(7)	1,342	(6)	878	(8)
27年度	4,787	(15)	996	(2)	1,210	(7)	928	(3)
28年度	4,516	(14)	867	(1)	1,164	(6)	888	(2)
29年度	5,653	(13)	798	(2)	1,090	(4)	898	(4)
30年度	6,459	(23)	694	(3)	1,080	(4)	811	(8)
令和元年度	6,155	(21)	650	(2)	763	(5)	595	(1)
2年度	858	(3)	60	(-)	30	(-)	470	(3)
3年度	2,703	(8)	209	(0)	569	(3)	683	(1)
4年度	4,902	(12)	205	(1)	709	(3)	809	(4)

注1：（）内は陽性件数

注2：抗体検査開始は昭和63年2月（各区保健所）

注3：夜間検査は平成15年4月から千種保健所、平成19年11月から中保健所において毎月1回実施、平成24年4月から即日検査で実施

注4：千種保健センターにおける夜間検査は令和5年1月から休止（庁舎移転に伴うもの）

注5：土曜日検査は平成22年1月から中保健所において毎月2回、即日検査で実施、令和3年度から(財)公衆保健協会に委託

注6：日曜日検査は平成16年7月から青少年文化センターにおいて開始
平成17年10月から事前予約制、平成25年3月より携帯サイト予約を導入
NPO法人HIVと人権・情報センターに運営委託

注7：日曜日検査は令和元年12月から令和2年8月まで休止
令和2年9月から(財)公衆保健協会に委託して再開

(4) 臨時検査実施状況（同性愛者等対象検査会）

	令和3年度		令和4年度	
	採血件数	陽性件数	採血件数	陽性件数
iTesting@Nagoya	198	1	802	8
計	198	1	802	8

注1：名古屋医療センターに委託し実施（会場は国際デザインセンター）

注2：令和3年度は1回（12月）、令和4年度は3回（6月、9月、12月）実施

(5) HIV啓発事業

ア なごやHIV・性感染症ガイド

令和3年4月からHIV・性感染症にかかる本市公式サブサイトを運用

イ リーフレット

- ・外国人向け 英語、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、中国語、ハングル、及びやさしい日本語の計7ヶ国語のリーフレットを作製し、保健センター、国際センター等に設置
- ・中学生向け 市内全中学校の3年生を対象に、エイズに関する理解促進を目的としたリーフレットを作製し配布

ウ インターネット広告

令和4年8月にYahoo! バナー広告とテキスト広告を掲出し、臨時検査会の広報と、検査予約定員到達後は保健センター等でのHIV等検査について周知

エ 地下鉄車両広告

令和4年8月にツインステッカーを、11月に扉ステッカーを各1か月間、全線の地下鉄（上飯田線、広告貸切電車、女性専用車両を除く）に掲出し、検査広報を実施

オ RED RIBBON LIVE 2021

11月20日（日）に本市職員と名古屋市立大学医学部生による特別ラジオ番組を、(株)エフエム愛知との共催により開催

カ 啓発資材

一般市民を対象に、HIVの啓発を目的としたウェットティッシュを作製し、保健センター、名古屋市立大学、同性愛者団体等へ配布

キ 成人式チラシ

成人式で配布されるチラシに、梅毒及び性器クラミジア感染症の予防啓発に関する記事を掲載

インフルエンザ対策

Ⅲ インフルエンザ対策

令和4年/令和5年シーズンにおいては、令和5年1月16日、千種区の市立自由ヶ丘小学校、西区の市立栄生小学校、瑞穂区の市立萩山中学校、名東区の市立猪子石小学校を初発として、16区、延べ294施設で学級閉鎖等の措置が取られた。

インフルエンザウイルスの分離については、新型コロナウイルス感染症の流行等のため実施しなかった。

1 区別措置状況

区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂
初 発 月 日	1/16	1/23	1/20	1/16	1/30	1/24	1/24	1/16
延べ措置施設数	28	22	14	17	8	9	5	18
区	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
初 発 月 日	1/20	1/17	1/23	1/18	1/17	1/18	1/16	1/20
延べ措置施設数	6	33	16	24	24	21	21	28

2 施設別患者数等

	延べ施設数	休校数	学年閉鎖校数	学級閉鎖校数	在籍者数	患者数	欠席者数
保育園	1	0	1	0	37	20	20
幼稚園	20	0	10	10	639	202	194
小学校	220	0	8	212	7,098	2,885	2,519
中学校	22	0	3	19	1,208	363	310
高 校	18	0	0	18	794	277	268
その他	13	0	8	5	169	84	60
計	294	0	30	264	9,945	3,831	3,371
全 国	19,147	291	3,467	15,389	890,577	252,814	222,710

注) 全国の数値は、厚生労働省のインフルエンザ様疾患発生報告（最終報：令和5年9月8日）による。

3 検査結果

ウイルス検査は、新型コロナウイルス感染症流行の影響等により中止した。

4 過去の集団かぜ発生状況

			25年～26年		26年～27年		27年～28年		28年～29年		29年～30年					
初発			H25.12.13 千種区 千種聾学校		H26.10.28 名東区 高針台中学校		H27.10.6 西区 山田小学校		H28.10.13 北区 清水小学校		H29.10.23 名東区 高針台中学校					
ウイルス検査	検査実施施設	(千種区)	上野小学校		(守山区)	白沢小学校		(西区)	枇杷島小学校		(名東区)	藤森中		(守山区)	志段味東小学校	
		(南区)	大磯小学校		(南区)	新郊中学校		(緑区)	南陵小学校		(瑞穂区)	中根小		(南区)	宝南小学校	
		(中川区)	昭和橋小学校		(中川区)	荒子小学校		(中川区)	篠原小学校		(港区)	中川小		(北区)	楠西小学校	
(西区)		那古野小学校		(千種区)	上野小学校		(中川区)	春田小		(西区)	名塚中学校		(北区)	杉村小学校		
(昭和区)		松栄小学校														
	分離型	インフルエンザウイルス A香港型/B型		インフルエンザウイルス A香港型		インフルエンザウイルス A(2009)/B型		インフルエンザウイルス A香港型		インフルエンザウイルス A香港型/A(2009)/B型						
措置発生区			16 区		16 区		16 区		16 区		16 区					
			施設数	クラス数	施設数	クラス数	施設数	クラス数	施設数	クラス数	施設数	クラス数				
措置数	学年・学級閉鎖	高 校	3	3	3	4	5	5	21	30	15	16				
		中学校	33	63	38	77	102	166	70	114	69	88				
		小学校	270	312	355	454	592	788	381	497	559	706				
		幼稚園	40	43	45	56	56	63	38	42	68	76				
		保育園	2	3	－	－	－	－			－	－				
		その他	9	16	1	1	6	9	5	9	2	2				
		計	357	440	442	592	761	1031	515	692	713	888				
	休校（休園）	高 校	－	－	－	－	－	－			－	－				
		中学校	－	－	－	－	－	－			－	－				
		小学校	－	－	－	－	－	－			－	－				
		幼稚園	3	13	2	10	6	34	1	6	3	14				
		保育園	－	－	－	－	－	－			－	－				
		その他	－	－	－	－	－	－			2	7				
		計	3	13	2	10	6	34	1	6	5	21				
欠席者数(人)			4,121		5,854		9,944		6,686		8,723					
最終年月日			H26.5.19		H27.4.30		H28.4.12		H29.7.3		H30.5.14					

			30年～31年	31年～令和2年	2年～3年	3年～4年	4年～5年					
初発			H30.9.10 北区 名北小学校	R1.9.9 天白区 山根小学校	- - -	- - -	R5.1.16 千種区 自由ヶ丘小学校 西区 栄生小学校 瑞穂区 萩山中学校 名東区 猪子石小学校					
ウイルス検査	検査実施施設		(北区)名北小学校 (名東区)平和が丘小学校 (南区)大磯小学校 (西区)中小田井小学校 (守山区)大森北小学校 (昭和区)伊勝小学校 (中村区)諏訪小学校 (天白区)平針小学校 (西区)山田小学校	(天白区) 山根小学校 (南区) 呼続小学校 (中川区) 八熊小学校 (守山区) 瀬古小学校	新型コロナウイルス感染症発生のため、中止	新型コロナウイルス感染症発生のため、中止	新型コロナウイルス感染症発生のため、中止					
	分離型		インフルエンザウイルス A(2009)/B型	インフルエンザウイルス A(2009)/B型								
措置発生区			16 区	16 区	-	-	16 区					
			施設数	クラス数	施設数	クラス数	施設数	クラス数	施設数	クラス数		
措置数	学年・学級閉鎖	高 校	5	7	3	3	-	-	-	-	18	22
		中学校	33	53	42	76	-	-	-	-	22	37
		小学校	339	449	328	415	-	-	-	-	220	254
		幼稚園	60	75	34	40	-	-	-	-	20	28
		保育園	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
		その他	4	6	-	-	-	-	-	-	13	31
		計	441	590	407	534	0	0	0	0	294	373
	休校（休園）	高 校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		中学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		幼稚園	5	23	2	4	-	-	-	-	-	-
		保育園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-
		計	6	27	2	4	0	0	0	0	0	0
欠席者数(人)			5,822	5,422	-	-	3,371					
最終年月日			R1.7.8	R2.6.25	-	-	R5.7.18					

そ の 他

Ⅳ その他

1 感染性胃腸炎の集団発生（令和4年度・感染症対策室感染症係把握分・食中毒を除く。）

(1) 施設区分別・月別（件数及び有症者数）

区分	高齢者施設		障害者福祉施設		児童・保育施設		医療機関		その他		計	
	件数	有症者	件数	有症者	件数	有症者	件数	有症者	件数	有症者	件数	有症者
4 月	1	9	－	－	2	77	－	－	1	9	4	95
5 月	1	6	－	－	－	－	－	－	－	－	1	6
6 月	－	－	－	－	5	135	－	－	－	－	5	135
7 月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
8 月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
9 月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
10 月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
11 月	－	－	－	－	1	75	－	－	－	－	1	75
12 月	－	－	－	－	2	57	－	－	－	－	2	57
1 月	2	39	－	－	2	52	－	－	－	－	4	91
2 月	4	68	－	－	4	96	－	－	－	－	8	164
3 月	－	－	－	－	1	19	－	－	－	－	1	19
計	8	122	－	－	17	511	－	－	1	9	26	642

(2) 施設区分別・区別（件数）

区分	高齢者施設	障害者福祉施設	児童・保育施設	医療機関	その他	計
千種	－	－	3	－	－	3
東	－	－	－	－	－	－
北	－	－	－	－	－	－
西	－	－	－	－	－	－
中村	1	－	－	－	－	1
中	－	－	3	－	－	3
昭和	2	－	1	－	－	3
瑞穂	－	－	－	－	－	－
熱田	－	－	1	－	－	1
中川	1	－	－	－	1	2
港	2	－	3	－	－	5
南	－	－	1	－	－	1
守山	－	－	－	－	－	－
緑	－	－	－	－	－	－
名東	1	－	4	－	－	5
天白	1	－	1	－	－	2
計	8	－	17	－	1	26

2 浸水被害発生状況（令和4年度）

令和4年度は、本市内の公共的な場所において浸水被害の発生はなかった。

3 疫学調査等実施件数（令和4年度）

コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症等の発生に伴う疫学調査の実施状況等を示したものである。

			千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
三類感染症関係疫学調査実施状況（人数）	コ レ ラ	国内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		輸入（再掲）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	細菌性赤痢	国内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		輸入（再掲）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	腸管出血性大腸菌感染症	国内	-	1	3	-	4	5	5	-	-	3	1	1	3	1	2	-	29
		輸入（再掲）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	腸チフス	国内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		輸入（再掲）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	パラチフス	国内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		輸入（再掲）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2
	計	国内	-	1	3	-	4	5	5	-	-	3	1	1	3	1	2	-	29
		輸入（再掲）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2
四類感染症	件数		3		4	7	4	2	4	3	2	12	4	2	4	6	1	7	65
五類感染症	件数		4	-	-	-	3	4	3	-	1	2	6	1	-	1	8	5	38

注1：感染症法上の届出が提出された事例又は疑い事例で実施した疫学調査件数を計上（五類感染症は感染性胃腸炎等の調査件数を含む）。

注2：令和4年度は一類感染症及び二類感染症（結核を除く）の届出はなかった。

参 考 資 料

HIV／性感染症検査アンケート結果 令和4(2022)年度実施分

<方法>

令和4年度に実施された平日昼間検査（各区保健センター）、平日夜間検査（千種、中保健センター）、土曜日検査及び日曜日検査の各 HIV／性感染症検査（平日夜間検査は HIV 検査のみを実施）において調査票が回収された延べ5,004人を対象として集計を行った。集計は検査時間帯別に、平日昼間、平日夜間、土曜日、日曜日の4区分で行い、平日夜間については千種及び中保健センターの集計結果を再掲した。各検査時間帯のアンケート回答者数、検査件数及び回収割合は表1の通りである。回答者数はすべて延べ人数である。アンケートに回答したが検査を受けなかった者も存在するため、アンケート回答者数が検査件数を上回る場合がある。

表1. 検査時間帯・性別－回答者数（延べ人数）

	回答者数（人）					検査件数	回収割合（%）
	全体	男性	女性	その他	無回答		
平日昼間	3,265	2,339	893	12	21	3,179	100.0
平日夜間	207	164	42	-	1	205	100.0
（再掲）千種夜間	68	52	16	-	-	68	100.0
（再掲）中夜間	139	112	26	-	1	137	100.0
土曜日	715	578	134	3	-	709	100.0
日曜日	817	628	185	3	1	809	100.0
全体	5,004	3,709	1,254	18	23	4,902	100.0

※アンケート回答者の中に検査を受けなかった者が存在するため、回答者数が検査件数を上回る場合がある。
※一部の検査会場では実施しなかった質問がある。そのため、回答者数が上表とは異なる質問が存在する。

<結果>

1. 各質問の集計結果

問1. 性別

回答者全体の性別内訳は、男性74.1%、女性25.1%、その他0.4%、無回答0.5%であった。検査時間帯別にみると、男性の割合は土曜日が80.8%で最も高く、以下は平日夜間が79.2%、日曜日が76.9%、平日昼間が71.6%の順であった。

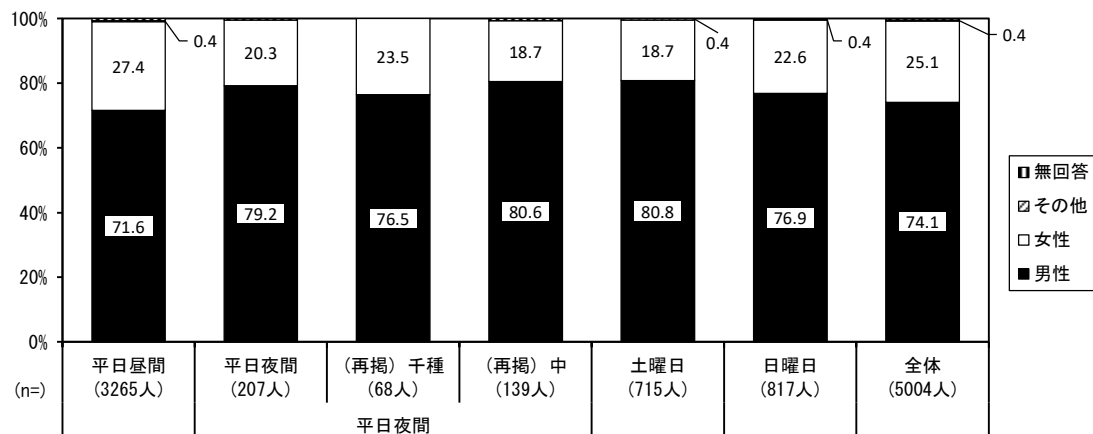


図1. 検査時間帯別－回答者の性別

問 2. 年齢層

30 歳代以下の割合は、回答者全体の 66.5%であった。検査時間帯別にみると、30 歳代以下の割合は平日夜間が 72.5%で最も高く、以下は日曜日が 70.1%、土曜日が 69.2%、平日昼間が 64.6%の順であった。

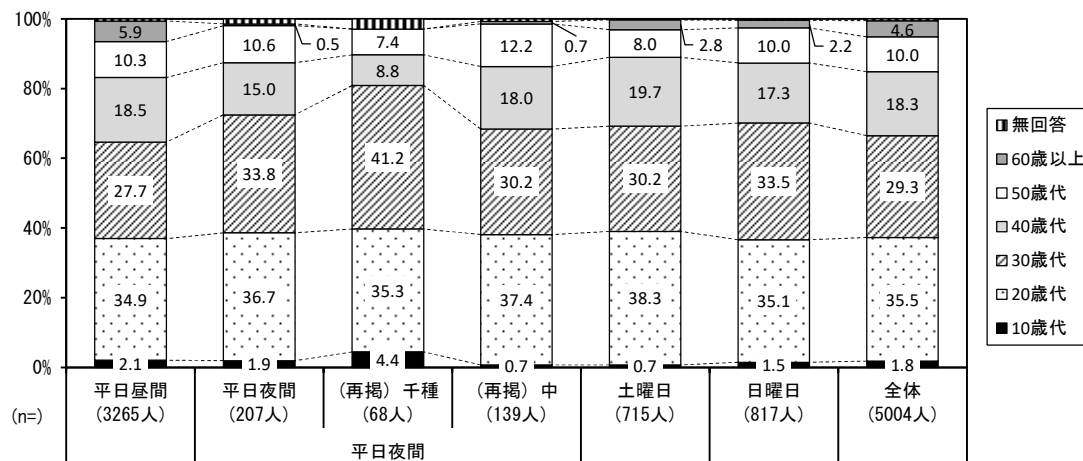


図 2. 検査時間帯別－回答者の年齢層

回答者の年齢層について、経年変化を図 3 に示した。30 歳代以下の割合は、平成 30 年度から 4 年連続で上昇していたが、令和 4 年度は 66.5%であり、前年度の 73.4%と比べて 6.9 ポイント低下した。

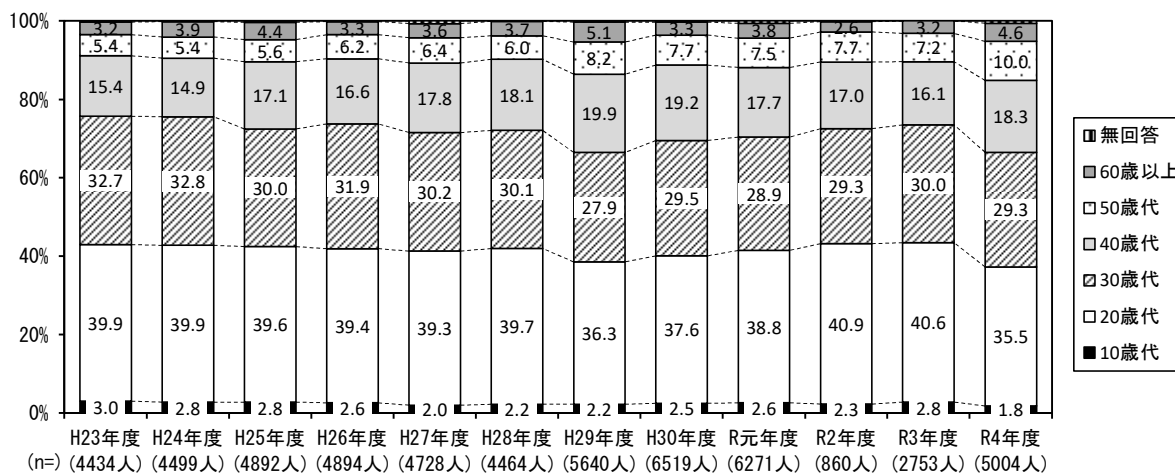


図 3. 経年変化－回答者の年齢層

（年齢層別にみた性別構成割合）

年齢層別に回答者の性別構成割合をみると、10 歳代では男性の割合が 46.6%であったが、年齢層が高くなるにつれて男性の割合が上昇し、60 歳以上では 92.2%が男性であった。

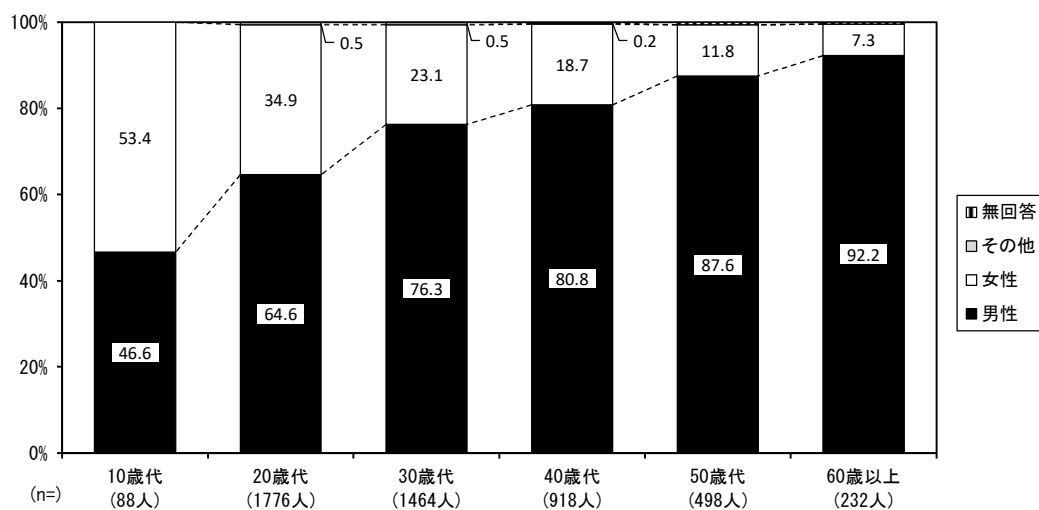


図 4. 年齢層別－回答者の性別構成割合

（性・年齢層別にみた令和 4 年度と令和 3 年度の回答者数）

令和 4 年度の検査件数は 4,902 件であり、前年度の 2,703 件より 2,199 件（81.4%）増加した。

アンケート回答者数も、令和 4 年度は 5,004 人であり、前年度の 2,753 人より 2,251 人（81.8%）増加した。年齢層別にみると、すべての年齢層において回答者数は前年度より増加した。男女別にみても、10 歳代男性を除いたすべての年齢層において、回答者数は前年度より増加した。

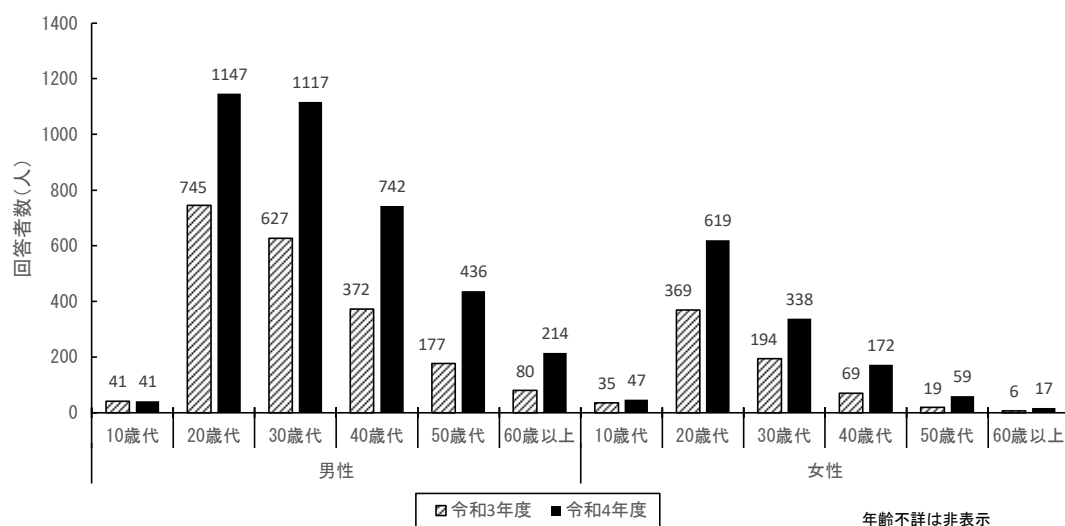


図 5. 性・年齢層別－令和 4 年度と令和 3 年度の回答者数

問 3. 居住地

回答者全体に占める名古屋市内在住者の割合は 66.4%で、前年度の 67.6%から 1.2 ポイント低下した。検査時間帯別にみると、市内在住者の割合は平日昼間が 69.4%で最も高く、以下は平日夜間が 68.1%、土曜日が 59.7%、日曜日が 59.6%の順であった。愛知県外在住者の割合は、日曜日が 7.3%で最も高く、以下は平日夜間が 5.8%、土曜日が 5.2%、平日昼間が 3.8%の順であった。

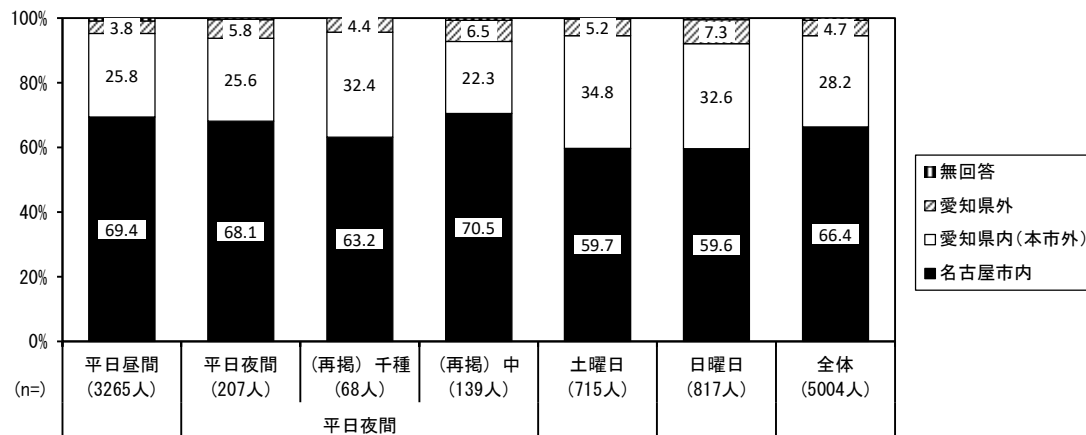


図 6. 検査時間帯別－回答者の居住地

問 4. 今回の検査を知った情報源

回答者全体では、「名古屋市ホームページ」と回答した人が 77.5%で最も多く、以下は「友人・知人」が 6.2%、「インターネット広告」が 4.9%の順であった。各検査時間帯とも「名古屋市ホームページ」が最も多かった。

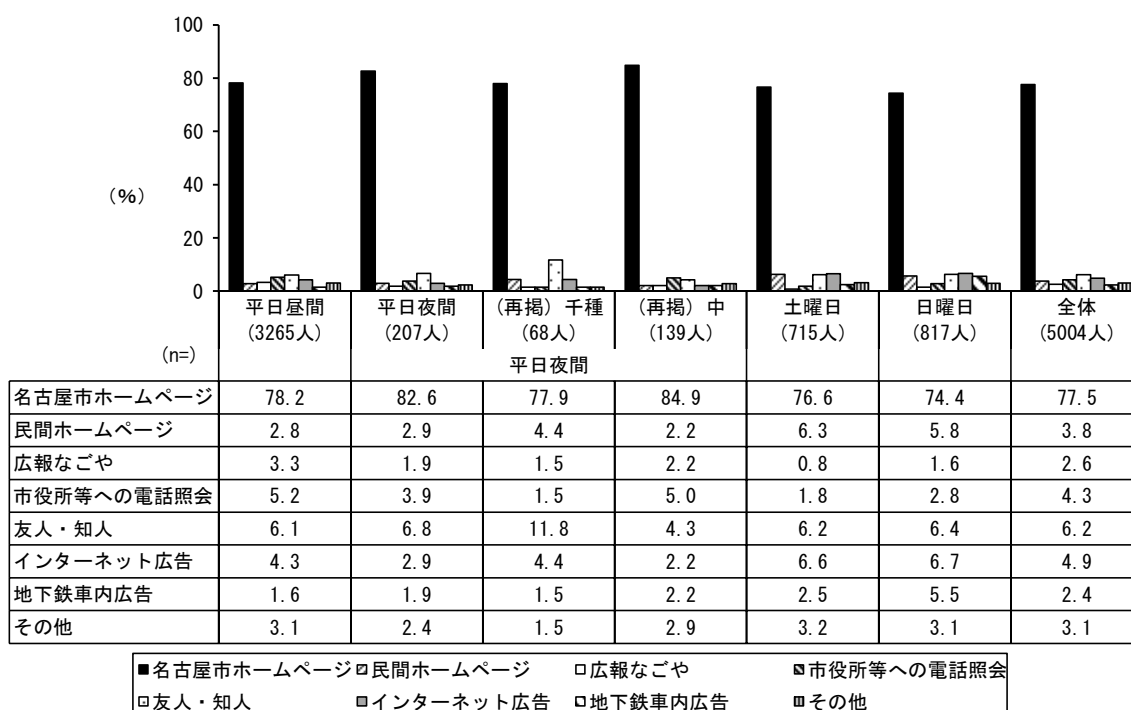


図 7. 検査時間帯別－今回の検査を知った情報源（複数選択可）

今回の検査を知った情報源を年齢層別にみると、すべての年齢層で「名古屋市ホームページ」が最も多かった。「名古屋市ホームページ」と回答した人の割合は40歳代が最も高かった。2番目に多かった情報源は、10～20歳代では「友人・知人」、30歳代では「市役所等への電話照会」、40～50歳代では「インターネット広告」、60歳以上では「広報なごや」であった。

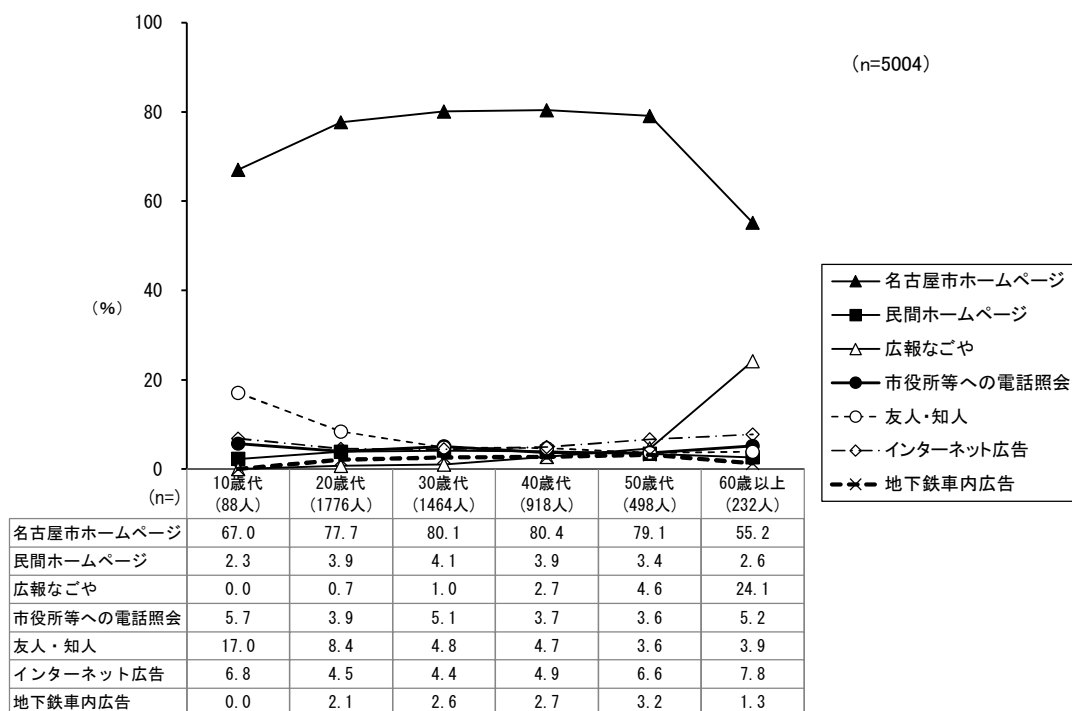


図 8. 年齢層別－今回の検査を知った情報源（複数選択可）

問 5. 今回の検査を受けた理由

回答者全体をみると、「ただ単に感染の有無を知りたい」が 48.9%で最も多く、以下は「体調に変化はないが、HIV*の情報に触れて感染が心配になったから」が 19.4%、「定期的に検査を受けているから」が 13.1%の順であった。「身近な人（パートナーなど）が HIV*に感染していることがわかったから」は 3.9%であった。

*：平日夜間検査以下の調査票では「HIV／性感染症」という表記になっている。

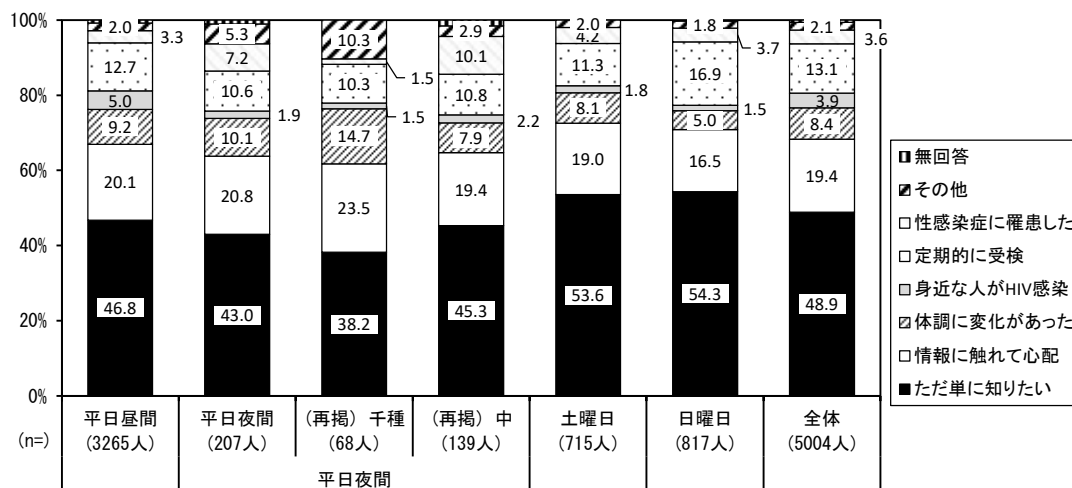


図 9. 検査時間帯別－今回の検査を受けた理由

問 6. 感染が心配な出来事

回答者全体をみると、感染が心配な出来事は「異性間性的接触」が 83.2%で最も多く、次いで「同性間性的接触」が 13.9%であった。「同性間性的接触」の割合を検査時間帯別にみると、平日夜間が 28.5%で最も高く、以下は日曜日が 21.8%、土曜日が 19.6%、平日昼間が 9.8%の順であった。

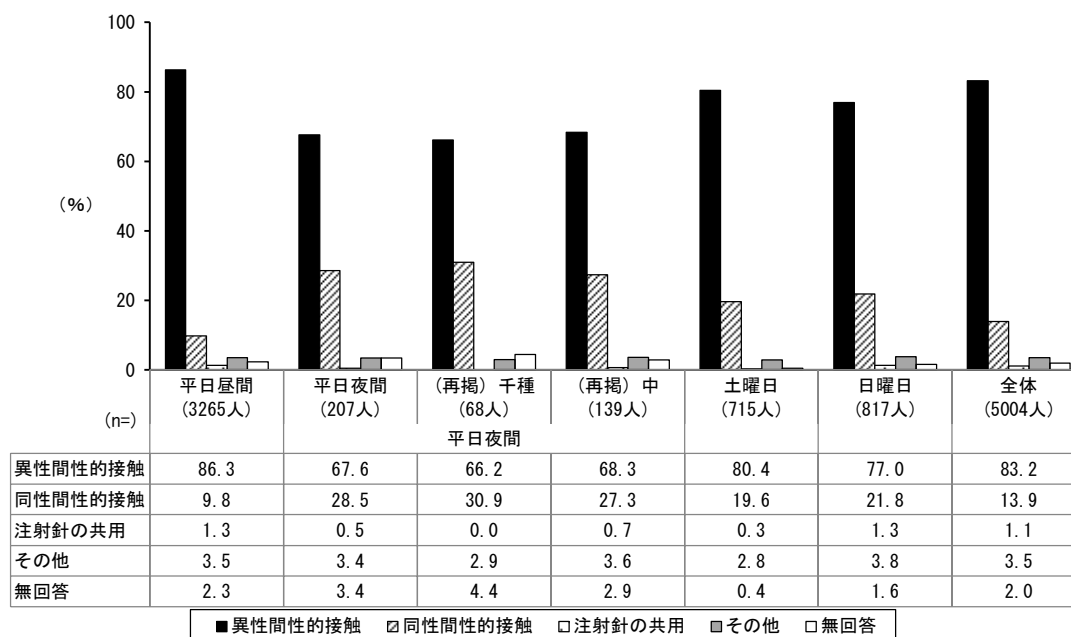


図 10. 検査時間帯別－感染が心配な出来事（複数選択可）

男性を対象に「異性間性的接触」または「同性間性的接触」と回答した割合を年齢層別に集計した。「同性間性的接触」と回答した割合は男性回答者全体の 18.1%であった。「同性間性的接触」と回答した割合を年齢層別にみると、10 歳代が 46.3%で最も高く、高齢になるほど割合が低下していた。

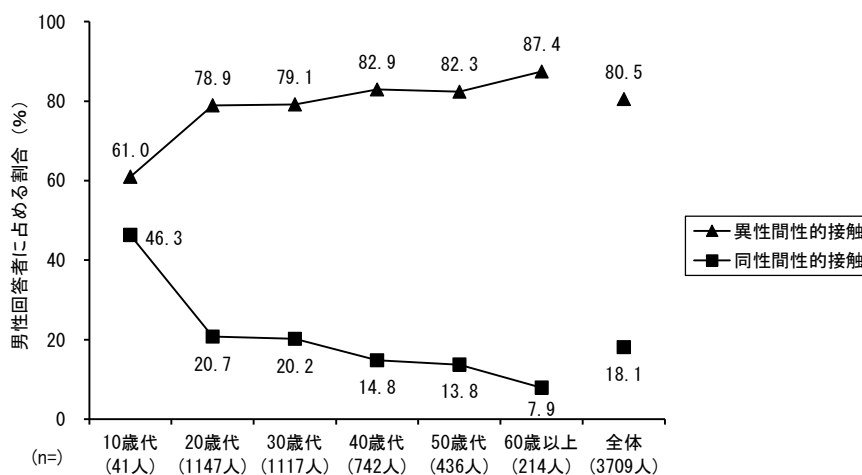


図 11. 男性の年齢層別－感染が心配な出来事（複数選択可）

(回答者に占める男性同性愛者の割合)

性別で「男性」を選択し、かつ感染が心配な出来事として「同性間性的接触」を選択した者を男性同性愛者（MSM: men who have sex with men）と定義し、集計を行った。令和4年度の回答者全体のうちMSM 該当者は672人であり、前年度より117人増加した。回答者全体に占めるMSMの割合は13.4%で、前年度より8.7ポイント低下した。

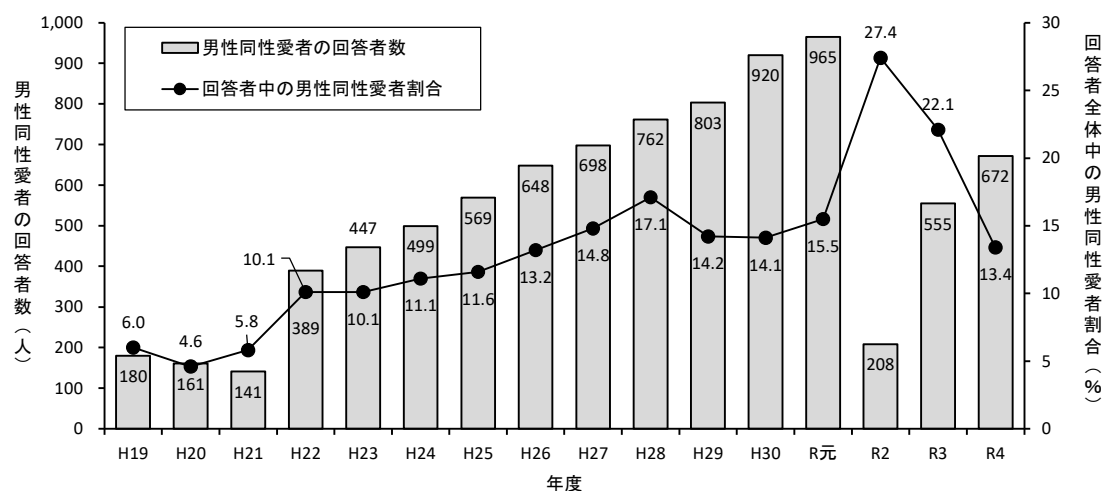


図 12. 回答者全体に占める男性同性愛者の人数及び割合

問 7. 感染が心配な出来事を経験した場所

回答者全体でみると、感染が心配な出来事を経験した場所は、「国内」が93.1%、「国外」が1.9%、「国内と国外」が1.8%であった。「国内」の割合は、土曜日が95.8%で最も高く、以下は日曜日が94.6%、平日昼間が92.4%、平日夜間が88.4%の順であった。

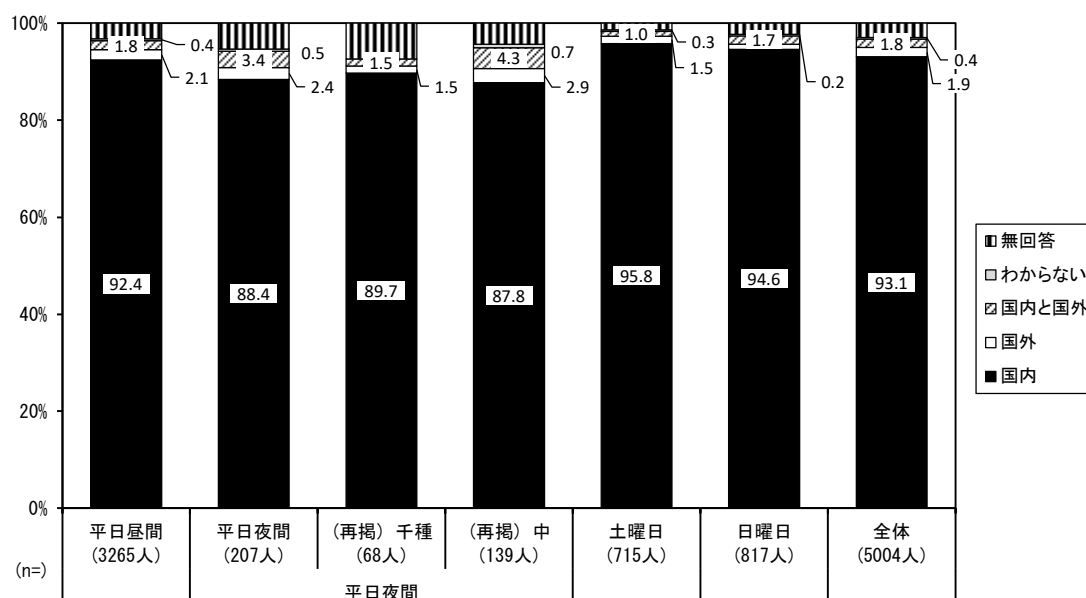


図 13. 検査時間帯別ー感染が心配な出来事を経験した場所

問 8. 感染が心配な出来事からの経過期間

回答者全体でみると、「2 か月以内」は 25.4%、「2 か月～3 か月」は 20.1%であった。ウィンドウ期間に相当する 3 か月未満に該当した人（「2 か月以内」または「2 か月～3 か月」と回答した人）は回答者全体の 45.6%であった。3 か月未満の割合を検査時間帯別にみると、平日昼間が 47.5%で最も高く、以下は土曜日が 42.8%、日曜日が 42.5%、平日夜間が 37.2%の順であった。

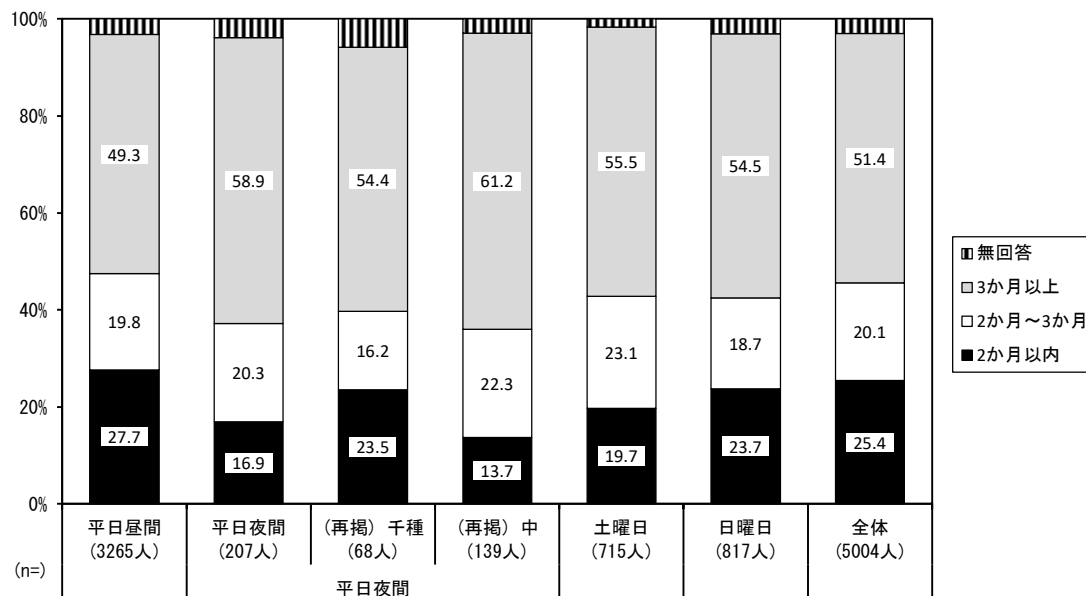


図 14. 検査時間帯別－感染が心配な出来事からの経過期間

感染が心配な出来事からの経過期間を年齢層別にみると、ウィンドウ期間に相当する 3 か月未満の割合は 10 歳代が 59.1%で最も高く、以下は 20 歳代が 47.7%、50 歳代が 46.6%の順であった。

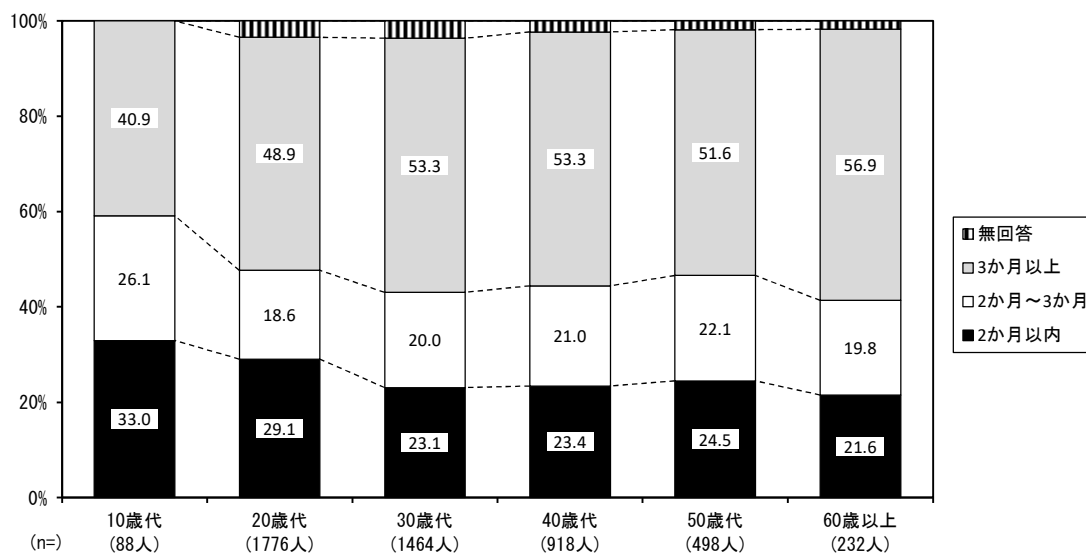


図 15. 年齢層別－感染が心配な出来事からの経過期間

問 9. 過去の HIV／性感染症検査の受検経験

過去（今回を含まない）の HIV／性感染症検査の受検経験をみると、回答者全体では、受検経験が「ない」人は 46.1%、「ある」人は 53.3%であった。受検経験が「ない」人の割合は、平日昼間が 47.9%で最も高く、以下は土曜日が 44.6%、平日夜間が 44.0%、日曜日が 40.9%の順であった。

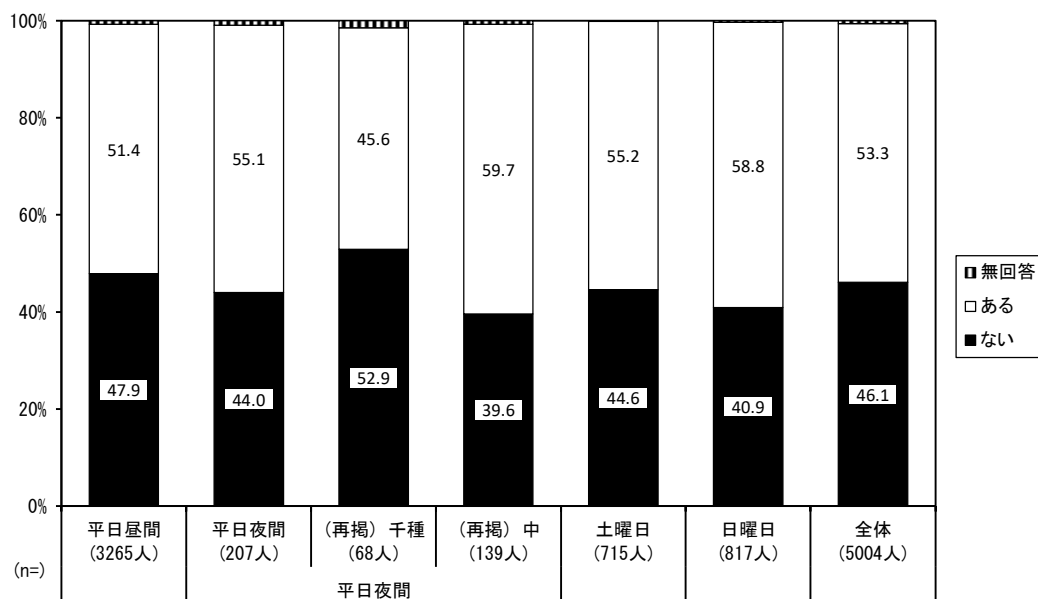


図 16. 検査時間帯別－過去の HIV／性感染症検査の受検経験

年齢層別に過去の HIV／性感染症検査の受検経験をみると、受検経験が「ない」人の割合は 10 歳代が 72.7%で最も高く、以下は 20 歳代が 56.6%、30 歳代が 43.6%の順であった。

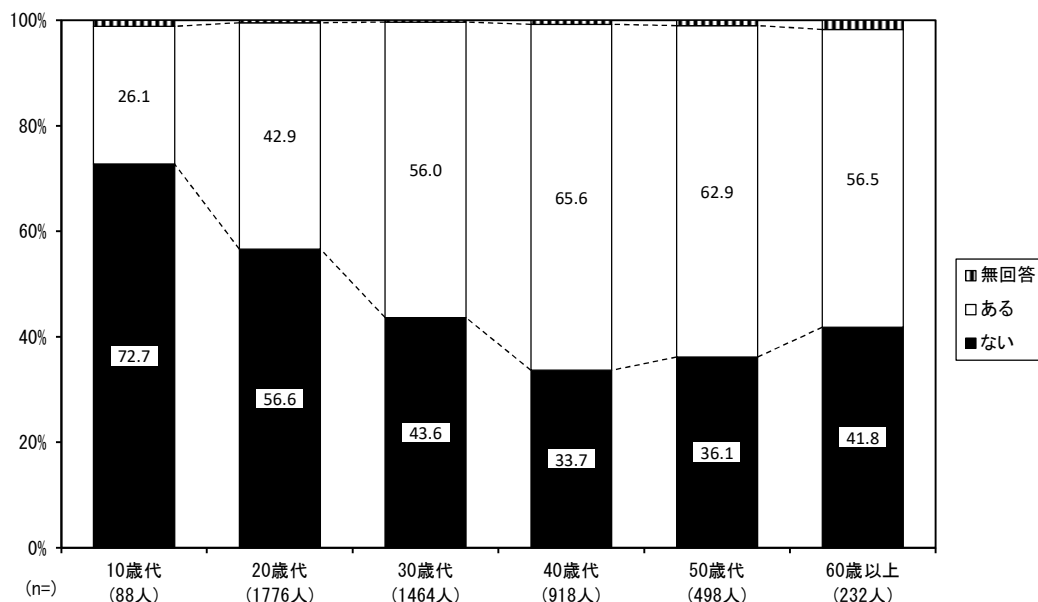


図 17. 年齢層別－過去の HIV／性感染症検査の受検経験

問 10-1. 最近 1 年以内の HIV／性感染症検査の受検経験

過去に HIV／性感染症検査を受けたことが「ある」と回答した 2,666 人を対象に、最近 1 年以内の受検経験を尋ねたところ、1,449 人（54.4%）が「ある」と回答した。すなわち、回答者全体（5,004 人）のうち、29.0%が最近 1 年以内に受検経験していた計算になる。

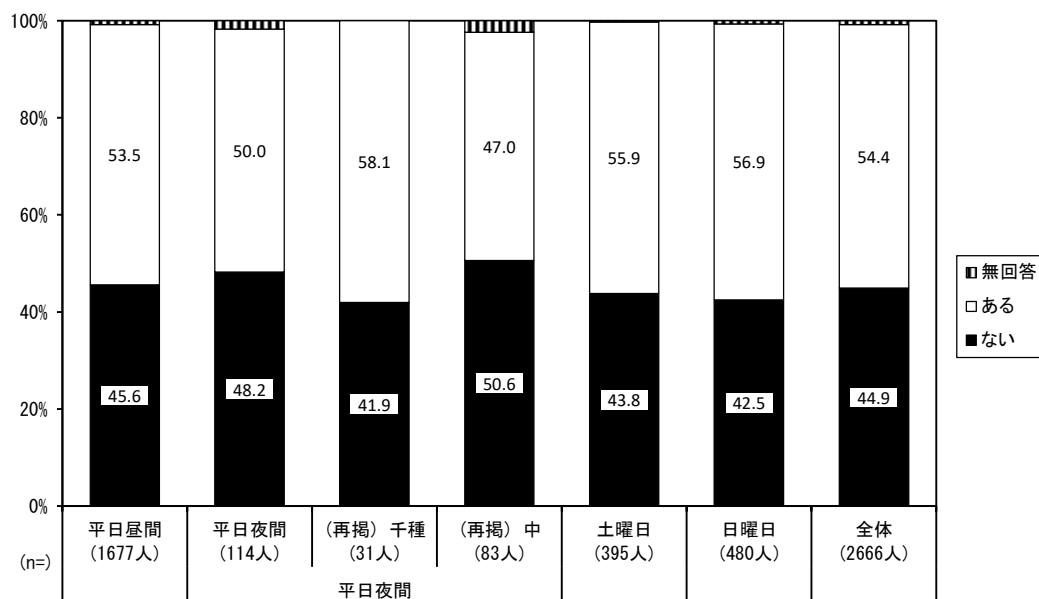


図 18. 検査時間帯別－最近 1 年以内の受検経験（過去に受検経験がある人を対象に集計）

問 10-2. 最近 1 年以内に HIV／性感染症検査を受けた場所

最近 1 年以内に HIV／性感染症検査を受けたことがある 1,449 人を対象に、HIV／性感染症検査を受けた場所を尋ねたところ、回答者全体では「平日昼間」が 39.3%で最も多く、以下は「医療機関」が 36.3%、「日曜日」が 12.2%の順であった。

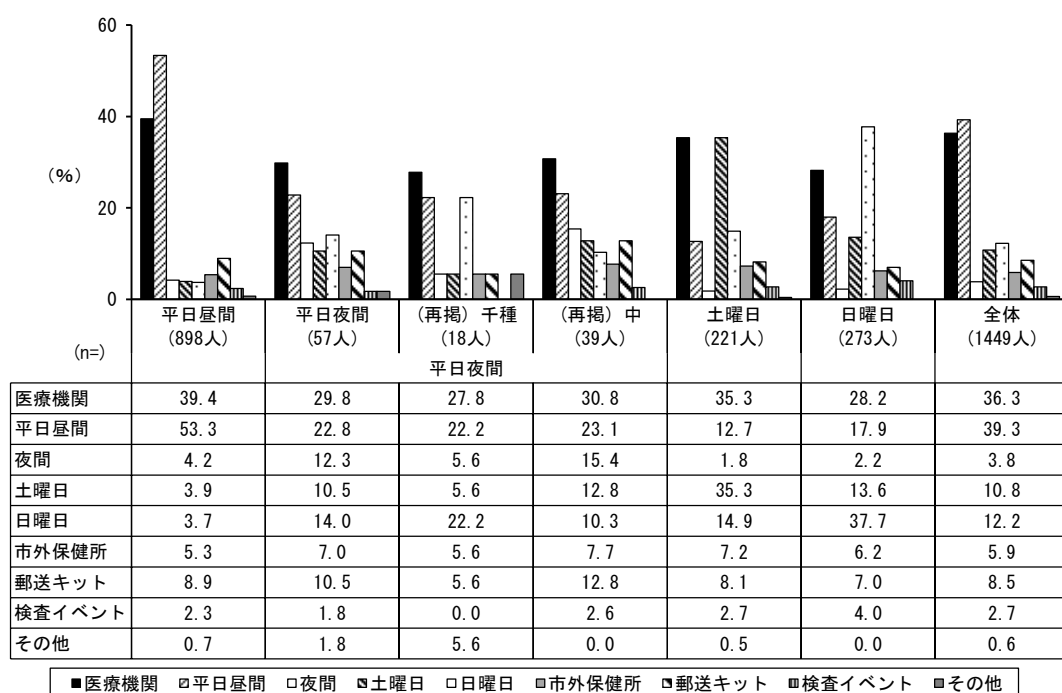


図 19. 検査時間帯別－最近 1 年以内に受検した場所（複数選択可）
（最近 1 年以内に受検経験がある人を対象に集計）

問 10-3. 最近 1 年以内に受けた HIV／性感染症検査の検査項目

最近 1 年以内に HIV／性感染症検査を受けたことがある 1,449 人を対象に、受けた検査項目を尋ねたところ、回答者全体では「HIV」が 82.4%で最も多く、以下は「梅毒」が 71.9%、「クラミジア」が 51.6%の順であった。

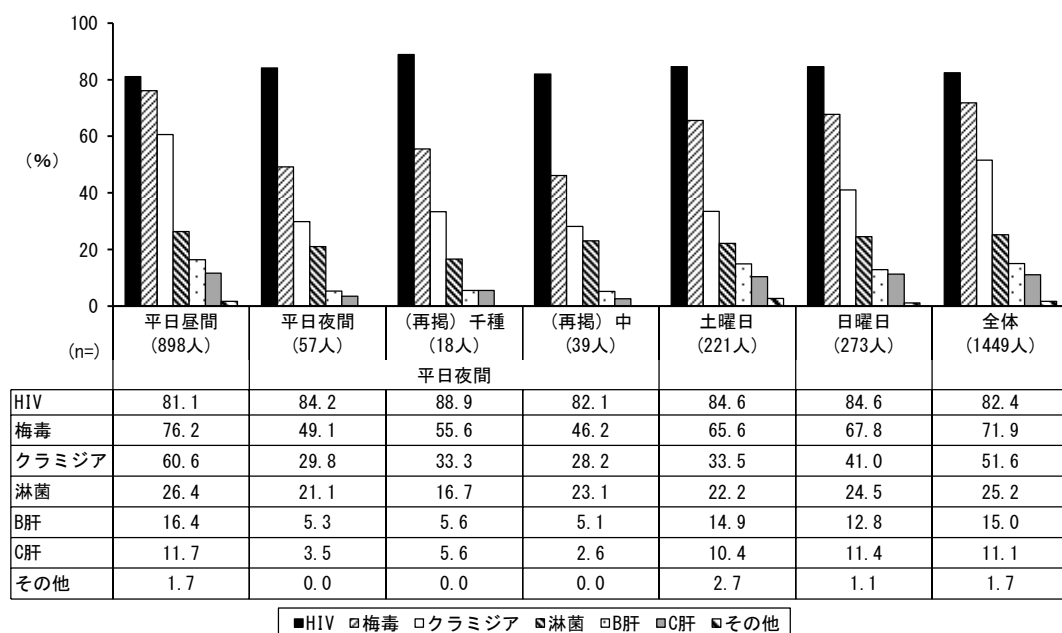


図 20. 検査時間帯別－最近 1 年以内に受検した検査項目（複数選択可）
（最近 1 年以内に受検経験がある人を対象に集計）

問 11. 梅毒・性器クラミジア感染症の既往歴

性感染症検査は平日夜間検査を除く検査会場で実施された。検査会場によって、梅毒検査のみを行う検査会場（A 会場）と、梅毒及び性器クラミジア感染症検査を行う検査会場（B 会場）が存在する。梅毒に関する質問は A 会場及び B 会場、性器クラミジア感染症に関する質問は B 会場のみで実施された。梅毒及び性器クラミジア感染症に関する質問の回答者数は表 2 及び表 3 のとおりである。

表 2. 梅毒に関する質問の回答者数（延べ人数）

		(単位 人)							
性別	全体	(%)	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	無回答
男性	3,545	(73.9)	38	1,094	1,059	716	415	213	10
女性	1,212	(25.3)	46	596	326	167	58	17	2
その他	18	(0.4)	—	8	8	2	—	—	—
無回答	22	(0.5)	—	2	1	2	3	1	13
全体	4,797	(100.0)	84	1,700	1,394	887	476	231	25

表 3. 性器クラミジア感染症に関する質問の回答者数（延べ人数）

		(単位 人)							
性別	全体	(%)	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	無回答
男性	1,463	(71.4)	17	399	390	321	199	134	3
女性	569	(27.8)	30	261	148	79	36	15	—
その他	9	(0.4)	—	5	3	1	—	—	—
無回答	8	(0.4)	—	1	1	1	3	1	1
全体	2,049	(100.0)	47	666	542	402	238	150	4

梅毒及び性器クラミジア感染症の既往歴有無を尋ねたところ、既往歴がある人の割合は梅毒が5.2%、性器クラミジア感染症が19.2%であった。

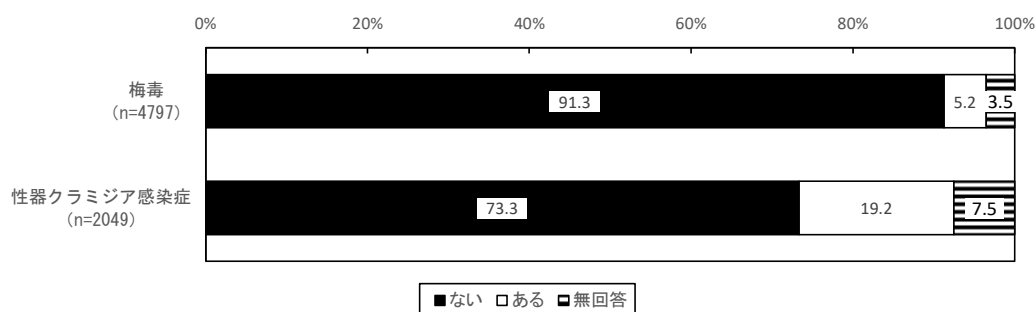


図 21. 梅毒及び性器クラミジア感染症の既往歴

梅毒検査と性器クラミジア感染症検査では検査件数が異なるため、両者は回答者数が異なる。

問 12. 性器クラミジア感染症検査について(排尿時間、月経)

性器クラミジア感染症検査は、排尿から1時間以上経過していない場合や月経中の場合に、検査結果が正確に出ないことがある。最後の排尿から1時間以上経過していない人は13.8%であった。また、現在月経中の人(女性のみを集計)は8.3%であった。

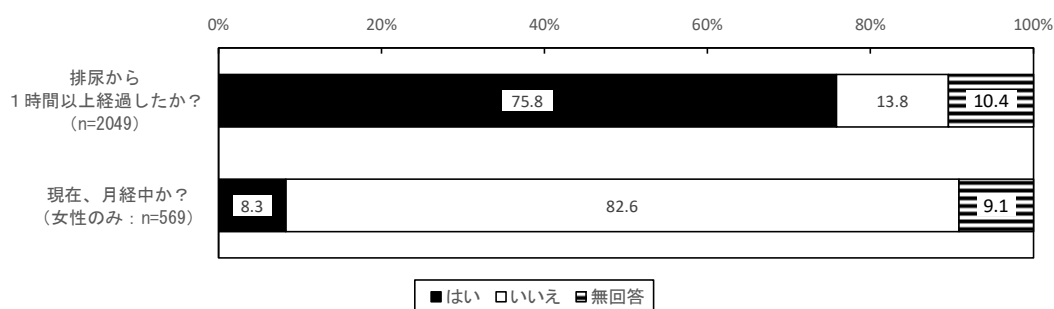


図 22. 排尿からの経過時間及び月経に関する回答

2. 男性同性愛者と非男性同性愛者の比較

性別で「男性」を選択し、かつ感染が心配な出来事として「同性間性的接触」を選択した男性を男性同性愛者(MSM)、「同性間性的接触」以外を選択した男性を非男性同性愛者(非MSM)と定義して、MSMと非MSMの回答結果を比較した。MSMは672人(男性の18.1%)、非MSMは2,979人(男性の80.3%)であった。

表 4. 年齢層及びMSM・非MSM別にみた男性回答者数(延べ人数)

	(単位 人)								
	全体	(%)	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	無回答
男性同性愛者(MSM)	672	(18.1)	19	238	226	110	60	17	2
非男性同性愛者(非MSM)	2,979	(80.3)	21	896	868	622	372	190	10
不詳	58	(1.6)	1	13	23	10	4	7	
男性全体	3,709	(100.0)	41	1,147	1,117	742	436	214	12

男性同性愛者(MSM)；感染が心配な出来事に関する質問で「同性間性的接触」を選択した男性

非男性同性愛者(非MSM)；感染が心配な出来事に関する質問で「同性間性的接触」以外を選択した男性

不詳；感染が心配な出来事に関する質問に無回答の男性

年齢構成をみると MSM、非 MSM ともに 20 歳代の割合が最も高かった。30 歳代以下の割合は、MSM が 71.9%、非 MSM が 59.9%であり、MSM の方が 12.0 ポイント高かった（図 23 左）。

居住地をみると、名古屋市内在住者の割合は MSM が 59.5%、非 MSM が 66.3%であり、非 MSM の方が 6.8 ポイント高かった（図 23 右）。

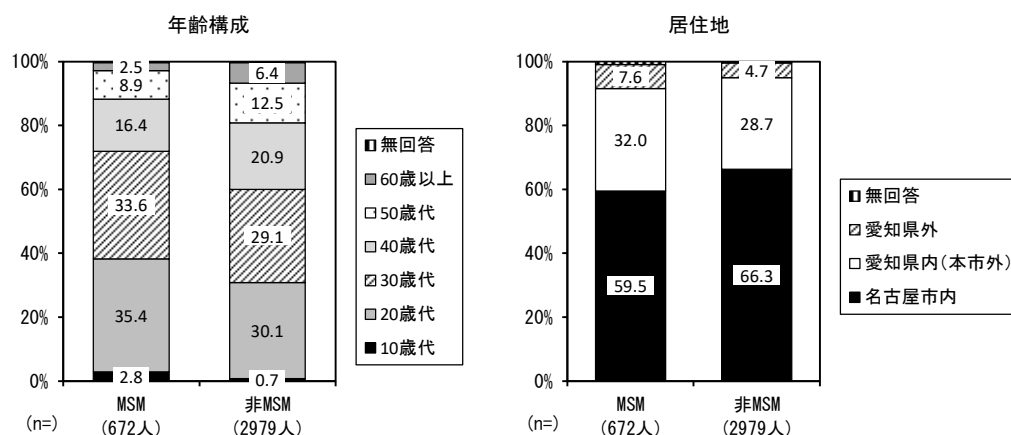


図 23. MSM・非 MSM 別－年齢構成及び居住地

今回の検査を知った情報源は、MSM、非 MSM ともに「名古屋市ホームページ」が 70%以上で最も多かった。

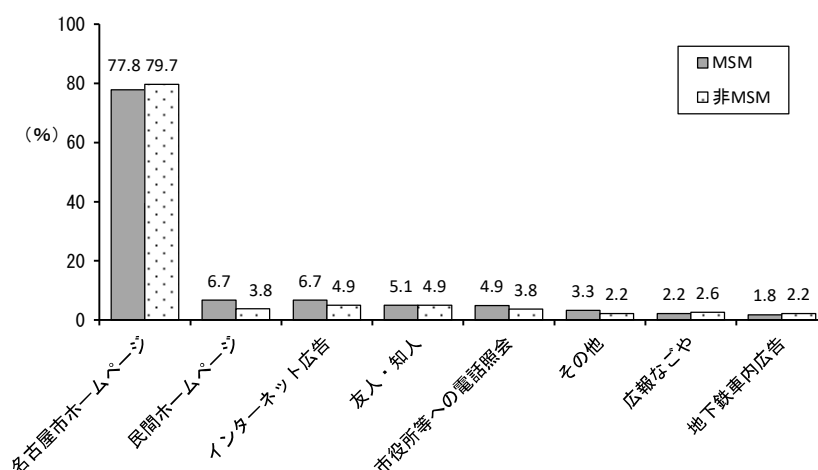


図 24. MSM・非 MSM 別－今回の検査を知った情報源（複数選択可）

感染が心配な出来事を経験した場所をみると、「国内」は MSM が 96.3%、非 MSM が 94.5%であり、MSM の方が 1.8 ポイント高かった（図 25 左）。

感染が心配な出来事からの経過期間をみると、ウィンドウ期間に相当する 3 か月未満の割合は、MSM が 40.8%、非 MSM が 48.7%であり、非 MSM の方が 7.9 ポイント高かった（図 25 右）。

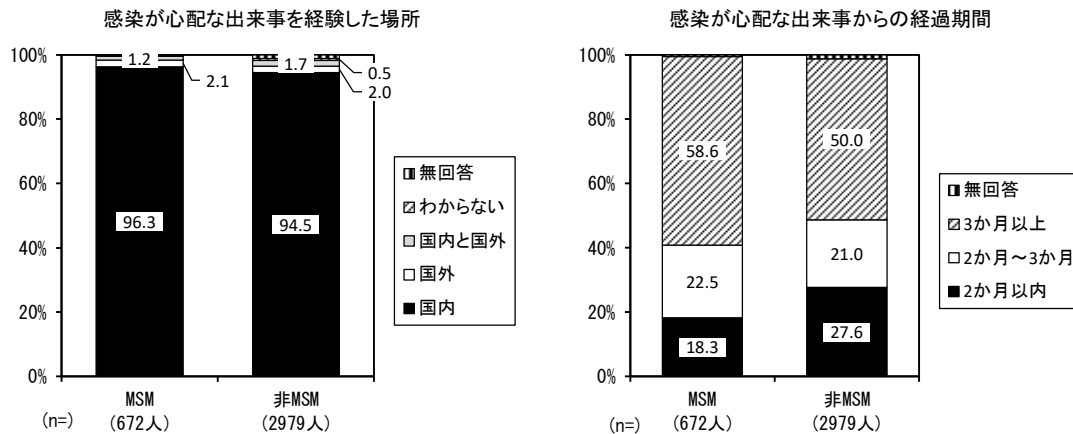


図 25. MSM・非 MSM 別－感染が心配な出来事を経験した場所及び経過期間

過去の HIV／性感染症検査の受検経験をみると、受検経験が「ある」人の割合は、MSM が 76.5%、非 MSM が 51.1%であり、MSM の方が 25.4 ポイント高かった（図 26 左）。

過去に HIV／性感染症検査を受検したことが「ある」と回答した人（MSM：514 人、非 MSM：1,522 人）を対象に、最近 1 年以内の受検経験を尋ねたところ、受検したことが「ある」人の割合は、MSM が 59.1%、非 MSM が 51.9%であり、MSM の方が 7.2 ポイント高かった（図 26 右）。最近 1 年以内に受検したことがある人の割合を、回答者全体（MSM：672 人、非 MSM：2,979 人）を母数として算出すると、MSM が 45.2%、非 MSM が 26.5%であり、MSM の方が 18.7 ポイント高かった。

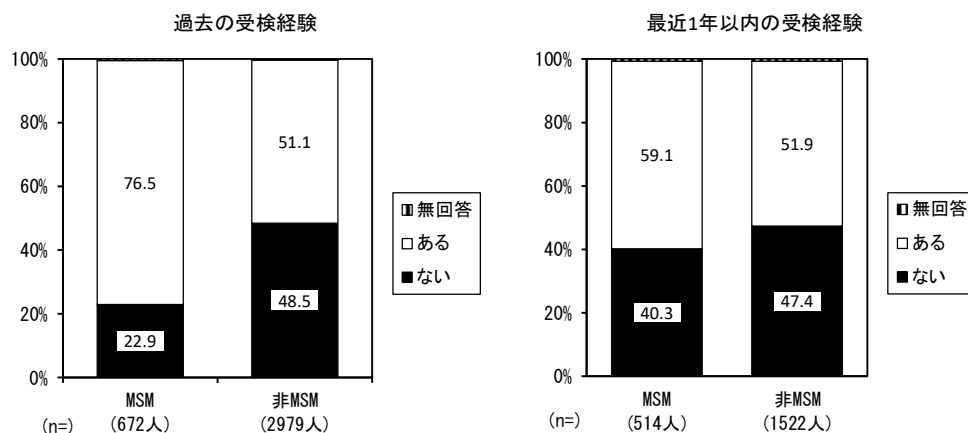


図 26. MSM・非 MSM 別－HIV／性感染症検査の受検経験

右上図（最近 1 年以内の受検経験）については、過去に受検経験がある人を母数として割合を算出した。

<まとめ>

- ・ 各年齢層とも、名古屋市ホームページから検査の情報を得た人の割合が最も高かった。
- ・ 回答者全体のうち、MSM の割合は 13.4%で、前年度より 8.7 ポイント低下した。
- ・ 感染の疑いがある出来事からの経過期間が 3 か月未満（ウインドウ期間に相当）であった人は、回答者全体の 45.6%であった。特に 10 歳代では 59.1%が 3 か月未満に受検していた。
- ・ 回答者全体のうち、過去に HIV／性感染症検査を受けたことがある人は 53.3%であった。
- ・ 回答者全体のうち、梅毒の既往歴がある人は 5.2%、性器クラミジア感染症の既往歴がある人は 19.2%であった。

HIV／性感染症検査を受けられる方へ

今回は、HIV／性感染症検査にご来所いただきありがとうございました。この質問票を参考に、検査の説明等をさせていただきます。また、HIV／性感染症検査をより良くするための統計用資料としても活用させていただきます。この質問によって、個人が特定されるようなことは決してありません。ご協力をお願いいたします。

問1. 性別

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 男性(2339人, 71.6%) | 2. 女性(893人, 27.4%) |
| 3. その他(12人, 0.4%) | 無回答 (21人, 0.6%) |

問2. 年代

- | | | |
|---------------------|----------------------|----------------------|
| 1. 10代(67人, 2.1%) | 2. 20代(1139人, 34.9%) | 3. 30代(904人, 27.7%) |
| 4. 40代(605人, 18.5%) | 5. 50代(337人, 10.3%) | 6. 60代以上(193人, 5.9%) |
| | | 無回答(20人, 0.6%) |

問3. お住まい

- | | |
|------------------------|------------------------------|
| 1. 名古屋市内(2266人, 69.4%) | 2. 愛知県内(名古屋市以外)(844人, 25.8%) |
| 3. 愛知県外(125人, 3.8%) | 無回答(30人, 0.9%) |

問4. 今回の検査はどのようにお知りになりましたか。(複数回答可)

- | | |
|--|---------------------------------|
| 1. 名古屋市ホームページ(2553人, 78.2%) | 2. 民間ホームページ(92人, 2.8%) |
| 3. 広報なごや(108人, 3.3%) | 4. 市役所・保健センターへの電話照会(169人, 5.2%) |
| 5. 友人・知人(198人, 6.1%) | |
| 6. インターネット広告(名古屋市ホームページへリンクしているもの)(139人, 4.3%) | |
| 7. 名古屋市地下鉄車両の広告(扉のステッカー等)(52人, 1.6%) | |
| 8. その他(102人, 3.1%) | 無回答(32人, 1.0%) |

問5. 今回、検査を受けられる理由をお教えてください。

- | | |
|---|----------------|
| 1. ただ単に感染の有無を知りたいから | (1529人, 46.8%) |
| 2. HIV／性感染症の情報にふれて感染が心配になったから | (657人, 20.1%) |
| 3. 体調に変化があり、HIV／性感染症の感染が心配になったから | (302人, 9.2%) |
| 4. 身近な人(パートナーなど)がHIV／性感染症に感染していることがわかったから | (164人, 5.0%) |
| 5. 定期的に検査を受けているから | (416人, 12.7%) |
| 6. 性感染症にかかったから | (107人, 3.3%) |
| 7. その他 | (65人, 2.0%) |
| 無回答 | (25人, 0.8%) |

問6. あなたにとって「感染が心配」だと考えられる出来事は、どの様なことでしたか。(複数回答可)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 異性との性的接触(2819人, 86.3%) | 2. 同性との性的接触(320人, 9.8%) |
| 3. 注射針の共用(42人, 1.3%) | 4. その他(115人, 3.5%) |
| | 無回答(75人, 2.3%) |

問7. 問6の出来事はどこで経験しましたか。

- | | | |
|---------------------|------------------|---------------------|
| 1. 国内(3018人, 92.4%) | 2. 国外(69人, 2.1%) | 3. 国内と国外(60人, 1.8%) |
| 4. わからない(13人, 0.4%) | 無回答 (105人, 3.2%) | |

問8. 「感染が心配」だと考えられる出来事から今日までに、どのくらいの期間がすぎましたか。

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 2か月以内(903人, 27.7%) | 2. 2か月～3か月(647人, 19.8%) |
| 3. 3か月以上(1610人, 49.3%) | 無回答(105人, 3.2%) |

問9. これまでに(今回の検査を除いて)HIV／性感染症検査を受けたことがありますか。

- | | |
|----------------------|----------|
| 1. ない(1564人, 47.9%)→ | (問11へ進む) |
| 2. ある(1677人, 51.4%)→ | (問10へ進む) |
| 無回答(24人, 0.7%) | |

問 10. 問9で「2. ある」と答えられた方について、お尋ねします。【回答者：1677 人】

10-1 この1年間に検査を受けましたか。

1. ない(765 人, 45.6%) 2. ある(898 人, 53.5%) 無回答(14 人, 0.8%)

10-2 この1年間に検査を受けた場所を教えてください。(複数回答可)【回答者：898 人】

1. 医療機関(354 人, 39.4%)
2. 名古屋市内の保健センター
 平日昼間(479 人, 53.3%) 平日夜間(38 人, 4.2%)
 土曜日(35 人, 3.9%) 日曜日(33 人, 3.7%)
3. 名古屋市以外の保健所(48 人, 5.3%)
4. 郵送検査キット(80 人, 8.9%)
5. 検査イベント (NLGR 検査会等) (21 人, 2.3%)
6. その他(6 人, 0.7%)
無回答(14 人, 1.6%)

10-3 この1年間に受けた検査項目を教えてください。(複数回答可)【回答者：898 人】

1. HIV(728 人, 81.1%) 2. 梅毒(684 人, 76.2%)
3. クラミジア(544 人, 60.6%) 4. 淋菌感染症(237 人, 26.4%)
5. B型肝炎ウイルス(147 人, 16.4%) 6. C型肝炎ウイルス(105 人, 11.7%)
7. その他(15 人, 1.7%) 無回答(4 人, 0.4%)

※問 11 及び問 12 について、HIV・梅毒検査を実施する会場では梅毒関連の質問を、HIV・梅毒・性器クラミジア検査を実施する会場では梅毒及び性器クラミジア感染症に関する質問を実施した。

問 11. 既往歴について

11-1 これまでに梅毒にかかったことはありますか。【回答者：3265 人】

1. ない(2944 人, 90.2%) 2. ある(162 人, 5.0%) 無回答(159 人, 4.9%)

11-2 これまでに性器クラミジア感染症にかかったことはありますか。【回答者：2049 人】

1. ない(1502 人, 73.3%) 2. ある(393 人, 19.2%) 無回答(154 人, 7.5%)

問 12. 性器クラミジア感染症検査について【回答者：2049 人】

12-1 最後の排尿から1時間以上経過していますか。

1. はい(1554 人, 75.8%)
2. いいえ (検査結果が正確に出ないことがあります) (282 人, 13.8%)
無回答(213 人, 10.4%)

12-2 現在、月経ですか。(女性のみ回答ください。)(【回答者：569 人】)

1. はい (検査結果が正確に出ないことがあります) (47 人, 8.3%)
2. いいえ(470 人, 82.6%)
無回答(52 人, 9.1%)

検査前の質問は以上です。ありがとうございました。

HIV 検査を受けられる方へ

今回は、HIV 検査にご来所いただきありがとうございました。この質問票を参考に、検査の説明等をさせていただきます。また、HIV 検査をより良くするための統計用資料としても活用させていただきます。この質問によって、個人が特定されるようなことは決してありません。ご協力をお願いいたします。

問1. 性別

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 男性(164人, 79.2%) | 2. 女性(42人, 20.3%) |
| 3. その他(0人, 0.0%) | 無回答(1人, 0.5%) |

問2. 年代

- | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 10代(4人, 1.9%) | 2. 20代(76人, 36.7%) | 3. 30代(70人, 33.8%) |
| 4. 40代(31人, 15.0%) | 5. 50代(22人, 10.6%) | 6. 60代以上(1人, 0.5%) |
| | | 無回答(3人, 1.4%) |

問3. お住まい

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| 1. 名古屋市内(141人, 68.1%) | 2. 愛知県内(名古屋市以外)(53人, 25.6%) |
| 3. 愛知県外(12人, 5.8%) | 無回答(1人, 0.5%) |

問4. 今回の検査はどのようにお知りになりましたか。(複数回答可)

- | | |
|--|-------------------------------|
| 1. 名古屋市ホームページ(171人, 82.6%) | 2. 民間ホームページ(6人, 2.9%) |
| 3. 広報なごや(4人, 1.9%) | 4. 市役所・保健センターへの電話照会(8人, 3.9%) |
| 5. 友人・知人(14人, 6.8%) | |
| 6. インターネット広告(名古屋市ホームページへリンクしているもの)(6人, 2.9%) | |
| 7. 名古屋市地下鉄車両の広告(扉のステッカー等)(4人, 1.9%) | |
| 8. その他(5人, 2.4%) | 無回答(1人, 0.5%) |

問5. 今回、検査を受けられる理由をお教えてください。

- | | |
|---|--------------|
| 1. ただ単に感染の有無を知りたいから | (89人, 43.0%) |
| 2. HIV/性感染症の情報にふれて感染が心配になったから | (43人, 20.8%) |
| 3. 体調に変化があり、HIV/性感染症の感染が心配になったから | (21人, 10.1%) |
| 4. 身近な人(パートナーなど)がHIV/性感染症に感染していることがわかったから | (4人, 1.9%) |
| 5. 定期的に検査を受けているから | (22人, 10.6%) |
| 6. 性感染症にかかったから | (15人, 7.2%) |
| 7. その他 | (11人, 5.3%) |
| 無回答 | (2人, 1.0%) |

問6. あなたにとって「感染が心配」だと考えられる出来事は、どの様なことでしたか。(複数回答可)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 異性との性的接触(140人, 67.6%) | 2. 同性との性的接触(59人, 28.5%) |
| 3. 注射針の共用(1人, 0.5%) | 4. その他(7人, 3.4%) |
| | 無回答(7人, 3.4%) |

問7. 問6の出来事はどこで経験しましたか。

- | | | |
|--------------------|-----------------|--------------------|
| 1. 国内(183人, 88.4%) | 2. 国外(5人, 2.4%) | 3. 国内と国外(7人, 3.4%) |
| 4. わからない(1人, 0.5%) | 無回答(11人, 5.3%) | |

問8. 「感染が心配」だと考えられる出来事から今日までに、どのくらいの期間がすぎましたか。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 2か月以内(35人, 16.9%) | 2. 2か月～3か月(42人, 20.3%) |
| 3. 3か月以上(122人, 58.9%) | 無回答(8人, 3.9%) |

問9. これまでに(今回の検査を除いて)HIV検査/性感染症検査を受けたことがありますか。

- | | |
|---------------------|----------|
| 1. ない(91人, 44.0%)→ | (問11へ進む) |
| 2. ある(114人, 55.1%)→ | (問10へ進む) |
| 無回答(2人, 1.0%) | |

問 10. 問9で「2. ある」と答えられた方について、お尋ねします。【回答者：114 人】

10-1 この1年間に検査を受けましたか。

1. ない(55 人, 48.2%) 2. ある(57 人, 50.0%) 無回答(2 人, 1.8%)

10-2 この1年間に検査を受けた場所を教えてください。(複数回答可)【回答者：57 人】

1. 医療機関(17 人, 29.8%)
2. 名古屋市内の保健センター
 平日昼間(13 人, 22.8%) 平日夜間(7 人, 12.3%)
 土曜日(6 人, 10.5%) 日曜日(8 人, 14.0%)
3. 名古屋市以外の保健所(4 人, 7.0%)
4. 郵送検査キット(6 人, 10.5%)
5. 検査イベント (NLGR 検査会等) (1 人, 1.8%)
6. その他(1 人, 1.8%)
無回答(0 人, 0.0%)

10-3 この1年間に受けた検査項目を教えてください。(複数回答可)【回答者：57 人】

1. HIV(48 人, 84.2%) 2. 梅毒(28 人, 49.1%)
3. クラミジア(17 人, 29.8%) 4. 淋菌感染症(12 人, 21.1%)
5. B型肝炎ウイルス(3 人, 5.3%) 6. C型肝炎ウイルス(2 人, 3.5%)
7. その他(0 人, 0.0%) 無回答(1 人, 1.8%)

検査前の質問は以上です。ありがとうございました。

HIV／性感染症検査を受けられる方へ

今回は、HIV／性感染症検査にご来所いただきありがとうございました。この質問票を参考に、検査の説明等をさせていただきます。また、HIV／性感染症検査をより良くするための統計用資料としても活用させていただきます。この質問によって、個人が特定されるようなことは決してありません。ご協力をお願いいたします。

問1. 性別

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 男性(578人, 80.8%) | 2. 女性(134人, 18.7%) |
| 3. その他(3人, 0.4%) | 無回答(0人, 0.0%) |

問2. 年代

- | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|
| 1. 10代(5人, 0.7%) | 2. 20代(274人, 38.3%) | 3. 30代(216人, 30.2%) |
| 4. 40代(141人, 19.7%) | 5. 50代(57人, 8.0%) | 6. 60代以上(20人, 2.8%) |
| | | 無回答(2人, 0.3%) |

問3. お住まい

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| 1. 名古屋市内(427人, 59.7%) | 2. 愛知県内(名古屋市以外)(249人, 34.8%) |
| 3. 愛知県外(37人, 5.2%) | 無回答(2人, 0.3%) |

問4. 今回の検査はどのようにお知りになりましたか。(複数回答可)

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1. 名古屋市ホームページ(548人, 76.6%) | 2. 民間ホームページ(45人, 6.3%) |
| 3. 広報なごや(6人, 0.8%) | 4. 市役所・保健センターへの電話照会(13人, 1.8%) |
| 5. 友人・知人(44人, 6.2%) | |
| 6. インターネット広告(名古屋市ホームページへリンクしているもの)(47人, 6.6%) | |
| 7. 名古屋市地下鉄車両の広告(扉のステッカー等)(18人, 2.5%) | |
| 8. その他(23人, 3.2%) | 無回答(1人, 0.1%) |

問5. 今回、検査を受けられる理由をお教えてください。

- | | |
|---|---------------|
| 1. ただ単に感染の有無を知りたいから | (383人, 53.6%) |
| 2. HIV／性感染症の情報にふれて感染が心配になったから | (136人, 19.0%) |
| 3. 体調に変化があり、HIV／性感染症の感染が心配になったから | (58人, 8.1%) |
| 4. 身近な人(パートナーなど)がHIV／性感染症に感染していることがわかったから | (13人, 1.8%) |
| 5. 定期的に検査を受けているから | (81人, 11.3%) |
| 6. 性感染症にかかったから | (30人, 4.2%) |
| 7. その他 | (14人, 2.0%) |
| 無回答 | (0人, 0.0%) |

問6. あなたにとって「感染が心配」だと考えられる出来事は、どの様なことでしたか。(複数回答可)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 異性との性的接触(575人, 80.4%) | 2. 同性との性的接触(140人, 19.6%) |
| 3. 注射針の共用(2人, 0.3%) | 4. その他(20人, 2.8%) |
| | 無回答(3人, 0.4%) |

問7. 問6の出来事はどこで経験しましたか。

- | | | |
|--------------------|------------------|--------------------|
| 1. 国内(685人, 95.8%) | 2. 国外(11人, 1.5%) | 3. 国内と国外(7人, 1.0%) |
| 4. わからない(2人, 0.3%) | 無回答(10人, 1.4%) | |

問8. 「感染が心配」だと考えられる出来事から今日までに、どのくらいの期間がすぎましたか。

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 2か月以内(141人, 19.7%) | 2. 2か月～3か月(165人, 23.1%) |
| 3. 3か月以上(397人, 55.5%) | 無回答(12人, 1.7%) |

問9. これまでに(今回の検査を除いて)HIV／性感染症検査を受けたことがありますか。

- | | |
|---------------------|----------|
| 1. ない(319人, 44.6%)→ | (問11へ進む) |
| 2. ある(395人, 55.2%)→ | (問10へ進む) |
| 無回答(1人, 0.1%) | |

問 10. 問9で「2. ある」と答えられた方について、お尋ねします。【回答者：395 人】

10-1 この1年間に検査を受けましたか。

1. ない(173 人, 43.8%) 2. ある(221 人, 55.9%) 無回答(1 人, 0.3%)

10-2 この1年間に検査を受けた場所を教えてください。(複数回答可)【回答者：221 人】

1. 医療機関(78 人, 35.3%)
2. 名古屋市内の保健センター
 平日昼間(28 人, 12.7%) 平日夜間(4 人, 1.8%)
 土曜日(78 人, 35.3%) 日曜日(33 人, 14.9%)
3. 名古屋市以外の保健所(16 人, 7.2%)
4. 郵送検査キット(18 人, 8.1%)
5. 検査イベント(NLGR 検査会等)(6 人, 2.7%)
6. その他(1 人, 0.5%)
無回答(2 人, 0.9%)

10-3 この1年間に受けた検査項目を教えてください。(複数回答可)【回答者：221 人】

1. HIV(187 人, 84.6%) 2. 梅毒(145 人, 65.6%)
3. クラミジア(74 人, 33.5%) 4. 淋菌感染症(49 人, 22.2%)
5. B型肝炎ウイルス(33 人, 14.9%) 6. C型肝炎ウイルス(23 人, 10.4%)
7. その他(6 人, 2.7%) 無回答(0 人, 0.0%)

問 11. これまでに梅毒にかかったことはありますか。【回答者：715 人】

1. ない(664 人, 92.9%) 2. ある(43 人, 6.0%) 無回答(8 人, 1.1%)

検査前の質問は以上です。ありがとうございました。

HIV／性感染症検査を受けられる方へ

今回は、HIV／性感染症検査にご来所いただきありがとうございました。この質問票を参考に、検査の説明等をさせていただきます。また、HIV／性感染症検査をより良くするための統計用資料としても活用させていただきます。この質問によって、個人が特定されるようなことは決してありません。ご協力をお願いいたします。

問1. 性別

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 男性(628人, 76.9%) | 2. 女性(185人, 22.6%) |
| 3. その他(3人, 0.4%) | 無回答(1人, 0.1%) |

問2. 年代

- | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|
| 1. 10代(12人, 1.5%) | 2. 20代(287人, 35.1%) | 3. 30代(274人, 33.5%) |
| 4. 40代(141人, 17.3%) | 5. 50代(82人, 10.0%) | 6. 60代以上(18人, 2.2%) |
| | | 無回答(3人, 0.4%) |

問3. お住まい

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| 1. 名古屋市内(487人, 59.6%) | 2. 愛知県内(名古屋市以外)(266人, 32.6%) |
| 3. 愛知県外(60人, 7.3%) | 無回答(4人, 0.5%) |

問4. 今回の検査はどのようにお知りになりましたか。(複数回答可)

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1. 名古屋市ホームページ(608人, 74.4%) | 2. 民間ホームページ(47人, 5.8%) |
| 3. 広報なごや(13人, 1.6%) | 4. 市役所・保健センターへの電話照会(23人, 2.8%) |
| 5. 友人・知人(52人, 6.4%) | |
| 6. インターネット広告(名古屋市ホームページへリンクしているもの)(55人, 6.7%) | |
| 7. 名古屋市地下鉄車両の広告(扉のステッカー等)(45人, 5.5%) | |
| 8. その他(25人, 3.1%) | 無回答(2人, 0.2%) |

問5. 今回、検査を受けられる理由をお教えてください。

- | | |
|---|---------------|
| 1. ただ単に感染の有無を知りたいから | (444人, 54.3%) |
| 2. HIV／性感染症の情報にふれて感染が心配になったから | (135人, 16.5%) |
| 3. 体調に変化があり、HIV／性感染症の感染が心配になったから | (41人, 5.0%) |
| 4. 身近な人(パートナーなど)がHIV／性感染症に感染していることがわかったから | (12人, 1.5%) |
| 5. 定期的に検査を受けているから | (138人, 16.9%) |
| 6. 性感染症にかかったから | (30人, 3.7%) |
| 7. その他 | (15人, 1.8%) |
| 無回答 | (2人, 0.2%) |

問6. あなたにとって「感染が心配」だと考えられる出来事は、どの様なことでしたか。(複数回答可)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 異性との性的接触(629人, 77.0%) | 2. 同性との性的接触(178人, 21.8%) |
| 3. 注射針の共用(11人, 1.3%) | 4. その他(31人, 3.8%) |
| | 無回答(13人, 1.6%) |

問7. 問6の出来事はどこで経験しましたか。

- | | | |
|--------------------|-----------------|---------------------|
| 1. 国内(773人, 94.6%) | 2. 国外(9人, 1.1%) | 3. 国内と国外(14人, 1.7%) |
| 4. わからない(2人, 0.2%) | 無回答(19人, 2.3%) | |

問8. 「感染が心配」だと考えられる出来事から今日までに、どのくらいの期間がすぎましたか。

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 2か月以内(194人, 23.7%) | 2. 2か月～3か月(153人, 18.7%) |
| 3. 3か月以上(445人, 54.5%) | 無回答(25人, 3.1%) |

問9. これまでに(今回の検査を除いて)HIV／性感染症検査を受けたことがありますか。

- | | |
|---------------------|----------|
| 1. ない(334人, 40.9%)→ | (問11へ進む) |
| 2. ある(480人, 58.8%)→ | (問10へ進む) |
| 無回答(3人, 0.4%) | |

問 10. 問9で「2. ある」と答えられた方について、お尋ねします。【回答者：480 人】

10-1 この1年間に検査を受けましたか。

1. ない(204 人, 42.5%) 2. ある(273 人, 56.9%) 無回答(3 人, 0.6%)

10-2 この1年間に検査を受けた場所を教えてください。(複数回答可)【回答者：273 人】

1. 医療機関(77 人, 28.2%)
2. 名古屋市内の保健センター
 平日昼間(49 人, 17.9%) 平日夜間(6 人, 2.2%)
 土曜日(37 人, 13.6%) 日曜日(103 人, 37.7%)
3. 名古屋市以外の保健所(17 人, 6.2%)
4. 郵送検査キット(19 人, 7.0%)
5. 検査イベント (NLGR 検査会等) (11 人, 4.0%)
6. その他(0 人, 0.0%)
無回答(5 人, 1.8%)

10-3 この1年間に受けた検査項目を教えてください。(複数回答可)【回答者：273 人】

1. HIV(231 人, 84.6%) 2. 梅毒(185 人, 67.8%)
3. クラミジア(112 人, 41.0%) 4. 淋菌感染症(67 人, 24.5%)
5. B型肝炎ウイルス(35 人, 12.8%) 6. C型肝炎ウイルス(31 人, 11.4%)
7. その他(3 人, 1.1%) 無回答(0 人, 0.0%)

問 11. これまでに梅毒にかかったことはありますか。【回答者：817 人】

1. ない(770 人, 94.2%) 2. ある(44 人, 5.4%) 無回答(3 人, 0.4%)

検査前の質問は以上です。ありがとうございました。

○附属機関の会議開催状況（令和４年度）

１ 名古屋市感染症予防協議会

新型コロナウイルス感染症の流行により、書面開催とした。

開催日時：令和４年９月１日から令和４年９月３０日まで（書面による審議期間）

２ 名古屋市感染症診査協議会感染症部会

年４回の定例開催を実施した。

(1) 令和４年４月１５日

腸管出血性大腸菌感染症の就業制限（１件）。

新型コロナウイルス感染症の就業制限及び入院勧告等の事例あり。

(2) 令和４年７月１５日

新型コロナウイルス感染症の就業制限及び入院勧告等の事例あり。

(3) 令和４年１０月２１日

他に新型コロナウイルス感染症の就業制限及び入院勧告等の事例あり。

(4) 令和５年１月２０日

腸管出血性大腸菌感染症の就業制限（１件）。

他に新型コロナウイルス感染症の就業制限及び入院勧告等の事例あり。

３ 関係条例等

(1) 名古屋市感染症予防協議会条例

(2) 名古屋市感染症診査協議会条例

(3) 名古屋市感染症診査協議会に置く感染症部会等に関する規則

(4) 名古屋市感染症予防協議会委員名簿

(5) 名古屋市感染症診査協議会感染症部会委員名簿

(1) 名古屋市感染症予防協議会条例

(設置)

第1条 感染症の予防に関する重要事項を調査審議するため、本市に市長の附属機関として、名古屋市感染症予防協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 協議会は、市長の諮問に応じ、次に掲げる事項に関する技術的又は専門的事項について調査審議し、その結果を市長に答申する。

- (1) 感染症の発生の予防及びまん延の防止のための施策に関すること。
- (2) 緊急時における感染症の発生の予防及びまん延の防止並びに医療の提供のための施策に関すること。

2 協議会は、前項各号に掲げる事項について、必要があると認めるときは、市長に意見を述べることができる。

(組織)

第3条 協議会は、委員30人以内をもって組織する。

- 2 特別の事項を調査審議するため必要があるときは、協議会に臨時委員を置くことができる。

(委員)

第4条 委員は、感染症の予防のための施策及び感染症の患者の医療に関し学識経験のある者及び関係行政機関の職員のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

- 2 委員の任期は2年とし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 3 委員は、再任されることができる。

(臨時委員)

第5条 臨時委員は、感染症の予防のための施策若しくは感染症の患者の医療に関し学識経験のある者又は関係行政機関の職員のうちから、調査審議事項を明示して市長が委嘱し、又は任命する。

- 2 臨時委員は、当該事項に関する調査審議が終了したときに解嘱され、又は解任されるものとする。

(会長)

第6条 協議会に会長を置き、委員の互選によって定める。

- 2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- 3 会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、委員のうちから会長があらかじめ指名する者がその職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会の会議は、会長が招集する。

- 2 協議会は、その委員の過半数の者の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによ

る。

(部会)

第8条 協議会には、必要に応じ、委員（その調査審議事項に係る臨時委員を含む。以下同じ。）の一部をもって部会を置くことができる。

2 協議会は、前項の規定により部会を置いた場合においては、あらかじめ協議会の定めるところにより、当該部会の議決をもって協議会の議決とすることができる。

3 部会に属すべき委員は、会長が指名する。

4 部会に部会長を置き、会長が指名する。

5 部会長は、会務を総理し、部会の会議の議長となる。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、健康福祉局において処理する。

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則

1 この条例は、平成19年4月1日から施行する。

2 この条例の施行の際現に名古屋市結核予防協議会の委員である者は、この条例の施行の日
に、この条例による改正後の名古屋市感染症予防協議会条例第4条第1項の規定により、名古屋市感染症予防協議会の委員として委嘱され、又は任命されたものとみなす。この場合において、その委嘱され、又は任命されたものとみなされる者の任期は、平成21年3月31日までとする。

附 則（平成27年条例第18号）

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

(2) 名古屋市感染症診査協議会条例

(趣旨)

第1条 この条例は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第24条第6項の規定に基づき、名古屋市感染症診査協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 協議会は、委員35人以内をもって組織する。

2 委員の任期は2年とし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

(会長)

第3条 協議会に会長を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第4条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長がこれを招集し、会長はその議長となる。

2 協議会は、その委員の過半数の者の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(関係者の出席)

第5条 協議会は、議事について必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(部会)

第6条 協議会には、専門の事項を審議させるため、部会を置くことができる。

2 協議会は、前項の規定により部会を置いた場合においては、あらかじめ協議会の定めるところにより、当該部会の議決をもって協議会の議決とすることができる。

3 前2項に定めるもののほか、部会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、健康福祉局において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この条例は、平成11年4月1日から施行する。

附 則（平成11年条例第31号）抄

(施行期日)

1 この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成19年条例第4号）

1 この条例は、平成19年4月1日から施行する。

2 結核診査協議会条例（昭和26年名古屋市条例第44号）は、廃止する。

附 則（平成30年条例第29号）

この条例は、平成30年4月1日から施行する。

(3) 名古屋市感染症診査協議会に置く感染症部会等に関する規則

(趣旨)

第1条 この規則は、名古屋市感染症診査協議会条例（平成11年名古屋市条例第15号。以下「条例」という。）第6条第3項の規定に基づき、名古屋市感染症診査協議会（以下「協議会」という。）に置く部会の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(部会の設置、名称及び所管区域)

第2条 条例第6条第1項の規定に基づき、協議会に、感染症部会及び4の結核部会（以下「部会」と総称する。）を置く。

2 結核部会の名称及び所管区域は、次の表のとおりとする。

名称	所管区域
第1結核部会	千種区、昭和区、瑞穂区及び名東区
第2結核部会	西区、中村区、熱田区及び中川区
第3結核部会	東区、北区、中区及び守山区
第4結核部会	港区、南区、緑区及び天白区

(所掌事務)

第3条 感染症部会は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号。以下「法」という。）第24条第3項に掲げる事務のうち、結核以外の感染症に係る案件を取り扱う。

2 結核部会は、法第24条第3項に掲げる事務のうち、当該部会の所管区域内に居住地を有する結核患者に係る案件を取り扱う。

(組織)

第4条 部会は、委員6人をもって組織する。

2 部会に属すべき委員（以下「部会委員」という。）は、協議会の会長が指名する。

(部会長)

第5条 部会に部会長を置き、部会委員の互選によって定める。

2 部会長は、会務を総理し、部会を代表する。

3 部会長に事故があるときは、あらかじめ部会長の指名する部会委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 部会の会議（以下「会議」という。）は、部会長がこれを招集し、部会長はその議長となる。

2 部会は、その部会委員の半数の者の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席部会委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(関係者の出席)

第7条 部会は、議事について必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 感染症部会の庶務は健康福祉局新型コロナウイルス感染症対策部感染症対策室において、第1結核部会の庶務は名古屋市千種区役所保健福祉センター保健予防課において、第2結核部会の庶務は名古屋市中村区役所保健福祉センター保健予防課において、第3結核部会の庶務は名古屋市中区役所保健福祉センター保健予防課において、第4結核部会の庶務は名古屋市中南区役所保健福祉センター保健予防課において処理する。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、部会の組織及び運営に関し必要な事項は、部会長が部会に諮って定める。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成23年規則第19号）抄

1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成30年規則第45号）抄

1 この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（令和2年規則第128号）抄

1 この規則は、令和2年12月14日から施行する。

(4) 名古屋市感染症予防協議会委員名簿（令和5年3月31日時点）

任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日

区 分	職 名	氏 名	備 考
学 識	岐阜保健大学 教授	石 井 英 子	
〃	名古屋大学 名誉教授	太 田 美 智 男	
〃	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター病院長	大 手 信 之	
〃	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター病院長	大 原 弘 隆	
〃	東名古屋病院 医療顧問	小 川 賢 二	
〃	名古屋大学 教授	柴 山 恵 吾	
〃	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院感染管理室長	富 田 ゆ う か	
〃	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院第一新生児科部長	田 中 太 平	
〃	名古屋市立大学病院感染制御室長	中 村 敦	
〃	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター感染症センター長	長谷川 千尋	
〃	名古屋掖済会病院小児科部長	星 野 伸	
〃	大同病院 副院長	水 野 美 穂 子	-R4.11.30
〃	大同病院 副院長	浅 井 雅 美	R4.12.1-
〃	名鉄病院 予防接種センター顧問	宮 津 光 伸	
〃	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター小児科部長	森 川 治 子	-R4.6.30
〃	〃	服 部 文 子	R4.7.1-
〃	名古屋大学医学部附属病院 中央感染制御部長	八 木 哲 也	
〃	名古屋医療センター エイズ総合診療部長	横 幕 能 行	
〃	社会医療法人宏潤会 名誉理事長	吉 川 公 章	
団 体	名古屋市医師会 副会長	足 立 昌 由	-R4.6.30
〃	〃	西 村 賢 二	R4.7.1-
〃	名古屋市医師会 理事	森 亮 太	-R4.6.30
〃	〃	竹 中 基 晃	R4.7.1-
〃	名古屋市眼科医会 監事	鈴 木 聡	
〃	愛知県皮膚科医会 理事	福 井 良 昌	
行政機関	厚生労働省東海北陸厚生局長	桐 生 康 生	-R3.9.13
〃	〃	西 辻 浩	R3.9.14- R4.6.27
〃	〃	佐々木 健	R4.6.28-
〃	名古屋検疫所長	大 森 豊 緑	
〃	愛知県保健医療局感染症対策局感染症対策課医療体制整備室長	今 井 勇 治	-R4.3.31
〃	〃	兼 子 利 雄	R4.4.1-
〃	愛知県衛生研究所長	榑 原 徹	-R3.7.31
〃	〃	奥 田 健 司	R3.8.1- R4.3.31
〃	〃	栗 木 雅 洋	R4.4.1- R4.7.15
〃	〃	木 下 昌 洋	R4.7.16-

(5) 名古屋市感染症診査協議会感染症部会委員名簿（令和5年3月31日時点）

任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日

所 属	役 職 等	氏 名
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院	感染管理室長	富田 ゆうか
名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	感染症センター長	長谷川 千尋
名古屋市医師会	理事	森 亮太
名古屋学芸大学	教授	五十里 明
弁護士	—	長谷川 桂子
人権擁護委員	—	宮前 隆文